

# 御杖村むらづくりアンケート 調査結果報告書

## 目次

|   |                        |    |
|---|------------------------|----|
| 1 | 調査概要.....              | 1  |
| 2 | 結果の見方.....             | 1  |
| 3 | 調査結果.....              | 2  |
|   | （1）あなた自身について.....      | 2  |
|   | （2）村の住み良さについて.....     | 7  |
|   | （3）健康・医療・福祉について.....   | 20 |
|   | （4）生活環境について.....       | 26 |
|   | （5）産業振興について.....       | 46 |
|   | （6）子育て・教育について.....     | 52 |
|   | （7）村の財政・むらづくりについて..... | 56 |
|   | （8）自由記述.....           | 58 |

令和7年1月

## 1 調査概要

- ◇調査対象者：村内在住の 16～85 歳の方
- ◇調査期間：令和 6 年 7 月 8 日（月）～8 月 2 日（金）
- ◇調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式
- ◇配布数：1,104 件
- ◇有効回収数：528 件
- ◇有効回収率：47.8%

## 2 結果の見方

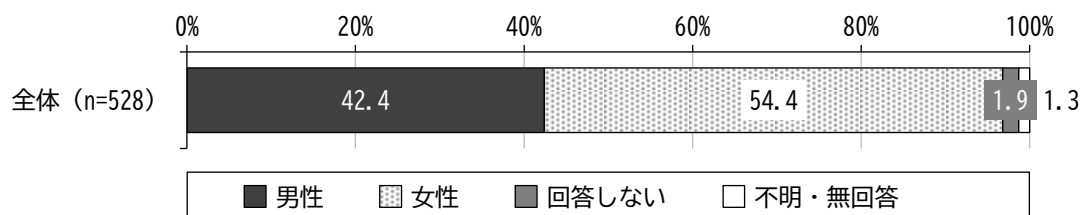
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of cases)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

### 3 調査結果

#### (1) あなた自身について

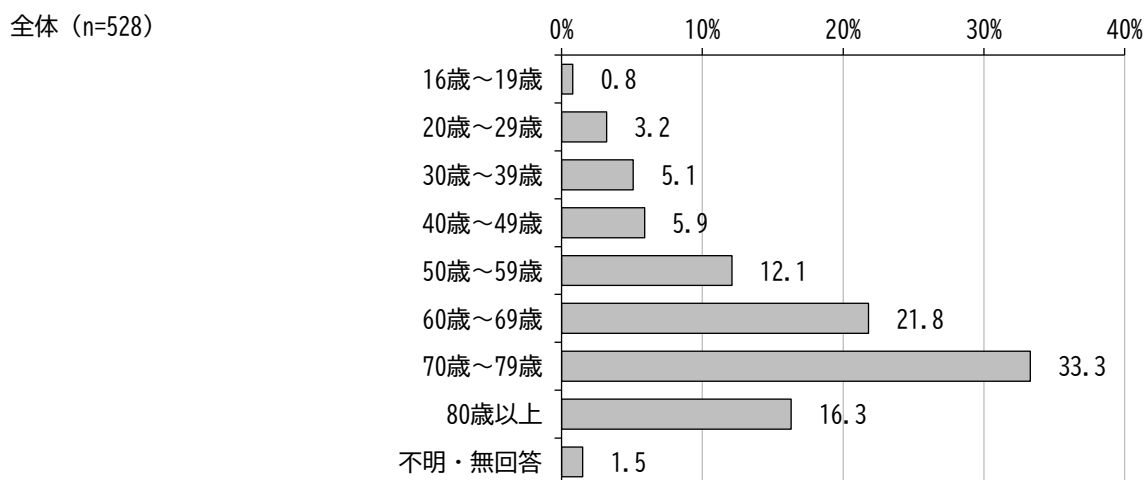
問1 あなたの性別はどちらですか。【○は1つだけ】

「女性」が54.4%と最も高く、次いで「男性」が42.4%、「回答しない」が1.9%となっています。



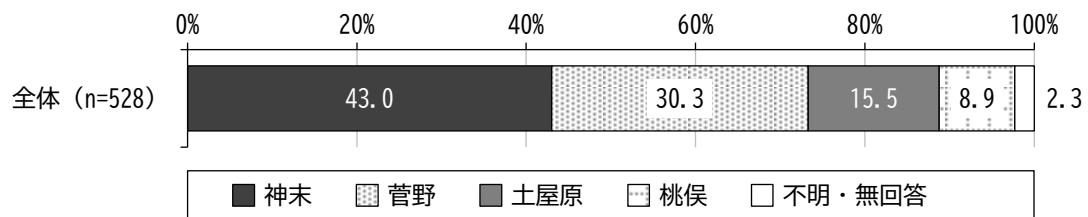
問2 あなたの現在の年齢はどれに該当しますか。【○は1つだけ】

「70歳～79歳」が33.3%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が21.8%、「80歳以上」が16.3%となっています。



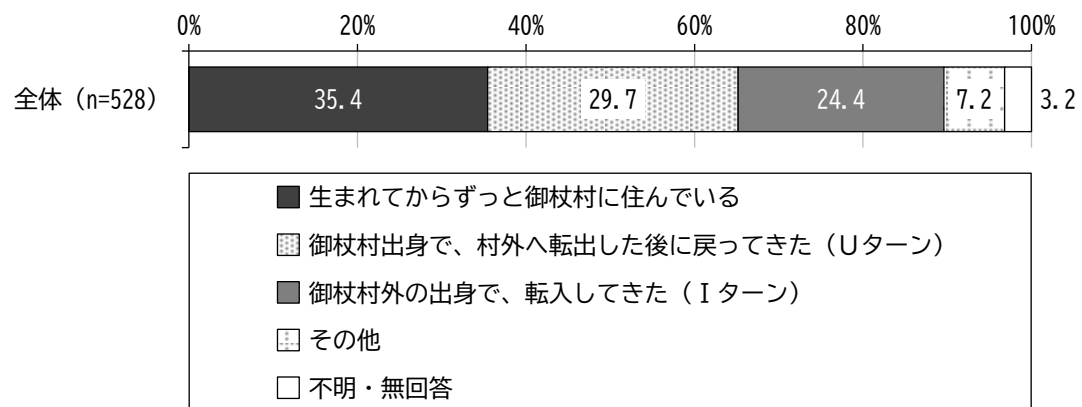
問3 あなたのお住まいはどの大字ですか。【○は1つだけ】

「神末」が43.0%と最も高く、次いで「菅野」が30.3%、「土屋原」が15.5%となっています。



問4 あなたの御杖村でのお住まいはどれに該当しますか。【○は1つだけ】

「生まれてからずっと御杖村に住んでいる」が35.4%と最も高く、次いで「御杖村出身で、村外へ転出した後に戻ってきた（Uターン）」が29.7%、「御杖村外の出身で、転入してきた（Iターン）」が24.4%となっています。

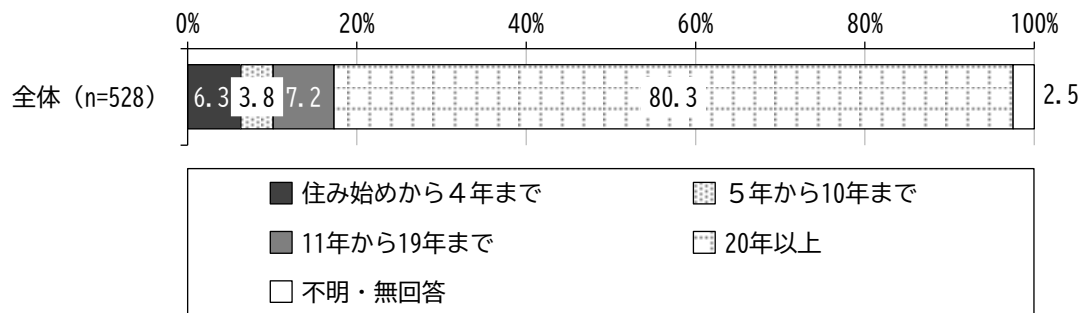


【その他回答】

- |                    |                   |           |
|--------------------|-------------------|-----------|
| ・結婚後（3）            | ・嫁に来た（2）          | ・2024年4月～ |
| ・20年前移住、週半分        | ・休日のみ生活しています      |           |
| ・結婚して御杖に住んだ        | ・結婚して御杖村へ         | ・結婚してから   |
| ・結婚して転入            | ・結婚により            |           |
| ・結婚により御杖村に住むようになった | ・結婚の為             |           |
| ・高校以降学生時は他市町へ      | ・村外から結婚           | ・他村から嫁に   |
| ・ときどき御杖に戻る         | ・嫁いできた            | ・嫁ぎ先      |
| ・マ・ミャンマー           | ・マンション住まい 行ったり来たり |           |
| ・村外出身 移住           | ・村外出生、子供の頃転入      | ・養子       |
| ・嫁入り               |                   |           |

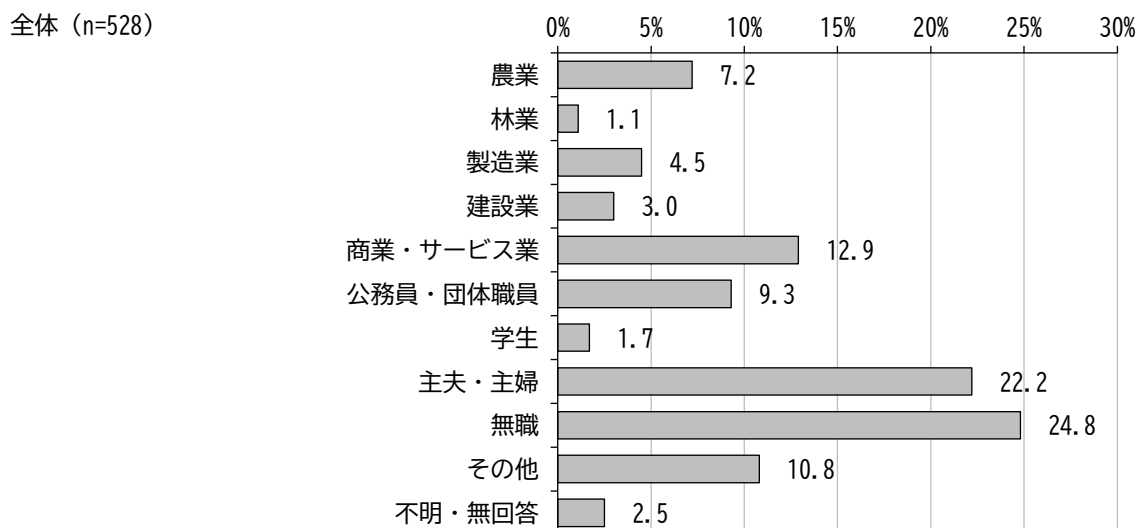
問5 あなたは、御杖村に通算で何年くらい住んでいますか。【○は1つだけ】

「20年以上」が80.3%と最も高く、次いで「11年から19年まで」が7.2%、「住み始めから4年まで」が6.3%となっています。



問6 あなたの職業（主なもの）はどれですか。【○は1つだけ】

「無職」が24.8%と最も高く、次いで「主夫・主婦」が22.2%、「商業・サービス業」が12.9%となっています。

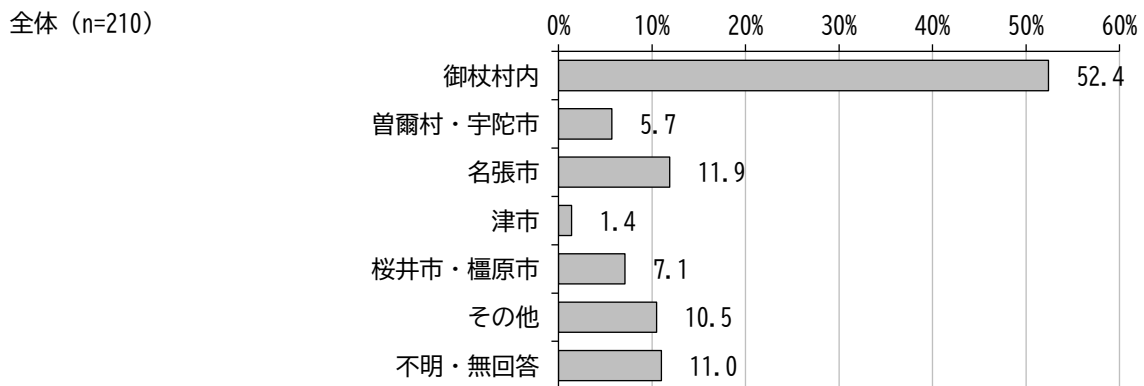


#### 【その他回答】

- ・パート（8）
- ・会社員（7）
- ・アルバイト（3）
- ・介護（2）
- ・飲食
- ・介護職
- ・期間雇用社員
- ・銀行員
- ・ゲストハウス休業中
- ・サービス・インフラ関係
- ・自営
- ・自営業（機械設計）
- ・自営手伝い
- ・施設パート
- ・スポーツトレーナー、ボディケア
- ・僧侶
- ・パート従業員

問7 働いている方、または学生の方にお聞きします。あなたの勤務先、通勤・通学先はどこですか。【○は1つだけ】

「御杖村内」が52.4%と最も高く、次いで「名張市」が11.9%、「桜井市・橿原市」が7.1%となっています。

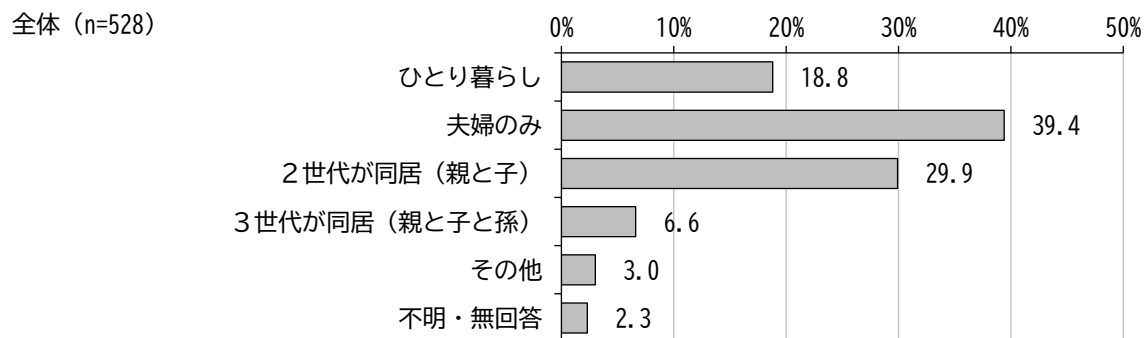


【その他回答】

- |              |         |           |      |
|--------------|---------|-----------|------|
| ・伊賀市 (3)     | ・大阪 (2) | ・大阪市 (2)  |      |
| ・決まっていない (2) | ・大阪府    | ・大阪府内     | ・上野  |
| ・宇陀市         | ・変わる    | ・県外 (大阪府) | ・広陵町 |
| ・堺市          | ・天理市    | ・複数       |      |
| ・御杖内、大阪、京都他  | ・大和郡山市  | ・大和高田     | ・山梨  |

問8 あなたの家族構成はどれに該当しますか。【○は1つだけ】

「夫婦のみ」が 39.4%と最も高く、次いで「2世代が同居（親と子）」が 29.9%、「ひとり暮らし」が 18.8%となっています。

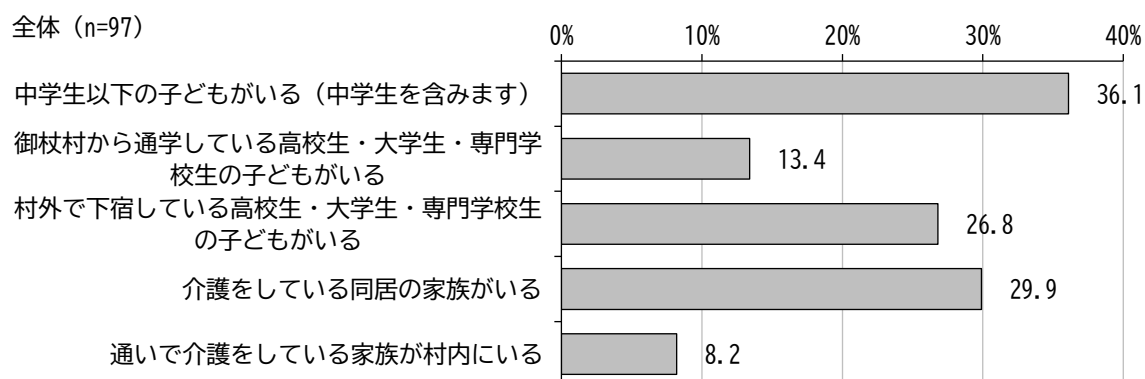


【その他回答】

- ・妹と娘
- ・きょうだい
- ・兄弟夫婦と同居
- ・祖母と孫
- ・妻と子は別居（奈良市）親と同居
- ・友人と同居
- ・友達と一緒に
- ・姪

問9 あなたの家族に次の方がいらっしゃいますか。【○はいくつでも】

「中学生以下の子どもがいる（中学生を含みます）」が 36.1%と最も高く、次いで「介護をしている同居の家族がいる」が 29.9%、「村外で下宿している高校生・大学生・専門学校生の子どもがいる」が 26.8%となっています。

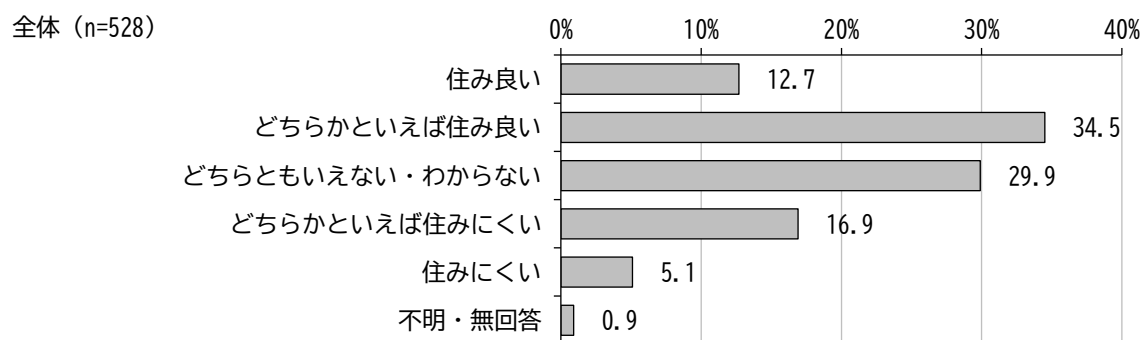


※不明・無回答除く

## （２）村の住み良さについて

問 10-1 御杖村の住み良さはいかがですか。【○は１つだけ】

「どちらかといえば住み良い」が 34.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない・わからない」が 29.9%、「どちらかといえば住みにくい」が 16.9%となっています。





性別でみると、男性では「どちらかといえば住み良い」、女性では「どちらともいえない・わからない」が最も高くなっており、『住み良い』（「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」の合計）は女性より男性が高くなっています。

年代別でみると、60歳代では「どちらともいえない・わからない」、その他の年代では「どちらかといえば住み良い」が最も高くなっており、『住み良い』は40歳代で他の年代に比べて高くなっています。

地域別でみると、菅野では「どちらともいえない・わからない」、その他の地域では「どちらかといえば住み良い」が最も高くなっており、『住み良い』は菅野で他の地域に比べて低くなっています。

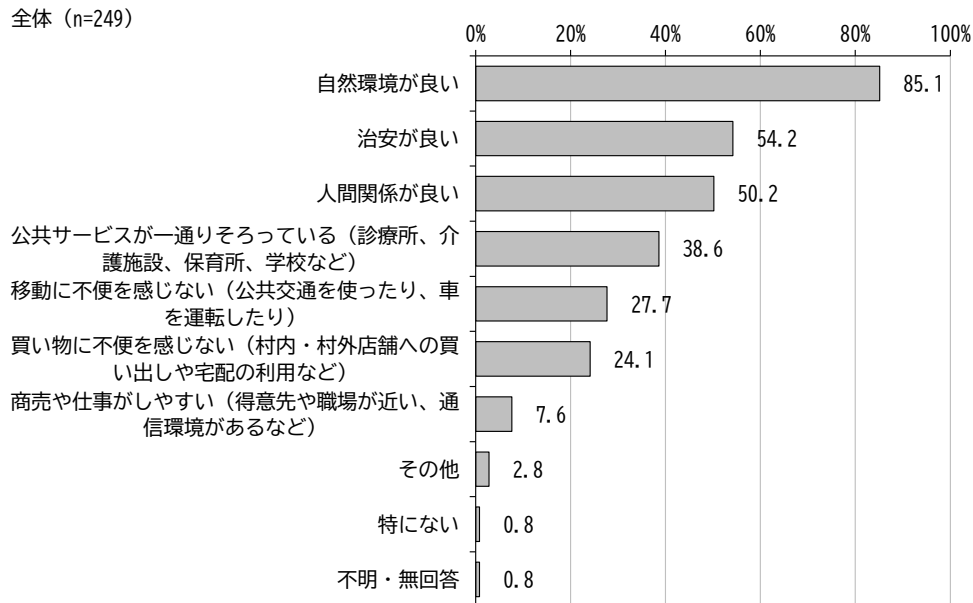
居住年数別でみると、〔11年から19年まで〕では「どちらともいえない・わからない」、その他の年数では「どちらかといえば住み良い」が最も高くなっており、『住み良い』は〔5年から10年まで〕で他の年数に比べて高くなっています。

| 単位：％                  |                  | 住<br>み<br>良<br>い | 住<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | い<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>も<br>い<br>え<br>な<br>い | 住<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | 住<br>み<br>に<br>く<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-----------------------|------------------|------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 全体（n=528）             |                  | 12.7             | 34.5                                      | 29.9                                                | 16.9                                      | 5.1                   | 0.9                        |
| 性<br>別                | 男性（n=224）        | 13.8             | 40.2                                      | 25.0                                                | 15.2                                      | 4.5                   | 1.3                        |
|                       | 女性（n=287）        | 11.5             | 31.7                                      | 34.5                                                | 17.1                                      | 4.5                   | 0.7                        |
| 年<br>代<br>別           | 10歳代・20歳代（n=21）  | 4.8              | 38.1                                      | 28.6                                                | 19.0                                      | 9.5                   | 0.0                        |
|                       | 30歳代（n=27）       | 11.1             | 37.0                                      | 29.6                                                | 7.4                                       | 14.8                  | 0.0                        |
|                       | 40歳代（n=31）       | 16.1             | 54.8                                      | 9.7                                                 | 12.9                                      | 3.2                   | 3.2                        |
|                       | 50歳代（n=64）       | 10.9             | 34.4                                      | 28.1                                                | 20.3                                      | 6.3                   | 0.0                        |
|                       | 60歳代（n=115）      | 11.3             | 27.8                                      | 40.0                                                | 19.1                                      | 1.7                   | 0.0                        |
|                       | 70歳代（n=176）      | 14.8             | 35.2                                      | 29.0                                                | 16.5                                      | 4.0                   | 0.6                        |
|                       | 80歳以上（n=86）      | 12.8             | 34.9                                      | 29.1                                                | 15.1                                      | 5.8                   | 2.3                        |
| 地<br>域<br>別           | 神末（n=227）        | 15.0             | 36.1                                      | 26.9                                                | 15.9                                      | 5.3                   | 0.9                        |
|                       | 菅野（n=160）        | 11.9             | 30.6                                      | 34.4                                                | 18.1                                      | 5.0                   | 0.0                        |
|                       | 土屋原（n=82）        | 8.5              | 39.0                                      | 29.3                                                | 18.3                                      | 3.7                   | 1.2                        |
|                       | 桃保（n=47）         | 10.6             | 38.3                                      | 31.9                                                | 12.8                                      | 4.3                   | 2.1                        |
| 居<br>住<br>年<br>数<br>別 | 住み始めから4年まで（n=33） | 18.2             | 33.3                                      | 27.3                                                | 9.1                                       | 12.1                  | 0.0                        |
|                       | 5年から10年まで（n=20）  | 25.0             | 45.0                                      | 5.0                                                 | 20.0                                      | 5.0                   | 0.0                        |
|                       | 11年から19年まで（n=38） | 10.5             | 23.7                                      | 36.8                                                | 21.1                                      | 7.9                   | 0.0                        |
|                       | 20年以上（n=424）     | 11.6             | 35.6                                      | 30.9                                                | 16.7                                      | 4.2                   | 0.9                        |

問 10-1 で「住み良い」「どちらかといえば住み良い」と答えた方

問 10-2 「住み良い」と回答した理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

「自然環境が良い」が 85.1%と最も高く、次いで「治安が良い」が 54.2%、「人間関係が良い」が 50.2%となっています。



【その他回答】

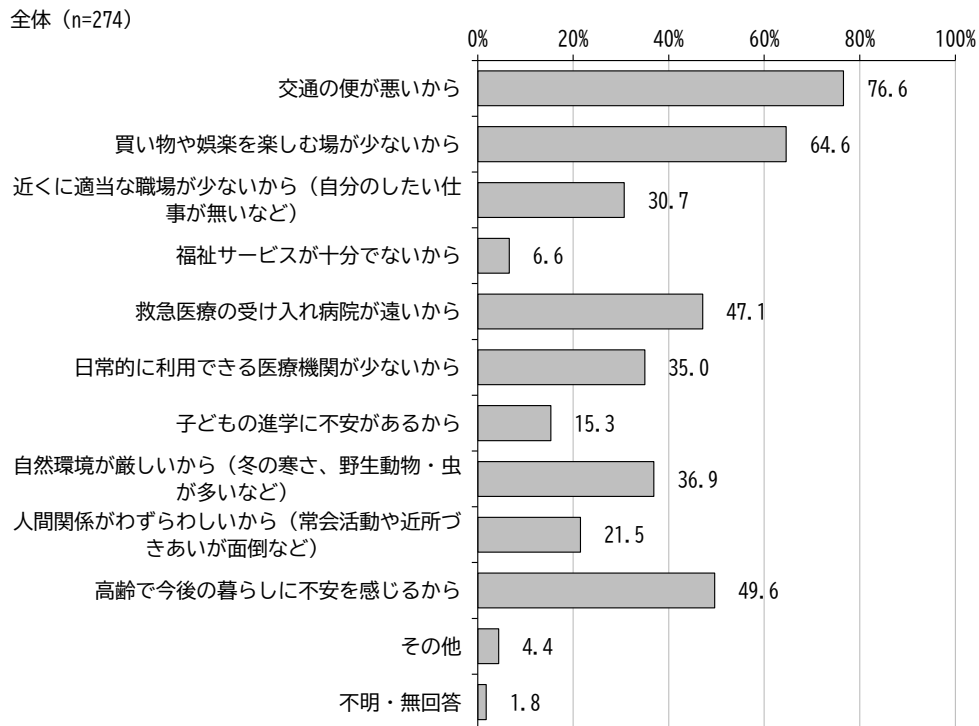
- ・ 近所との適度な距離
- ・ 災害が少ない
- ・ 福祉の面で相談しやすいし親切である
- ・ 町との距離が適切
- ・ 国道 369 号の通行量が多い
- ・ 住み慣れているので
- ・ 補助金や地域振興券がある
- ・ 村や常会の役が多い

問 10-1 で「どちらともいえない・わからない」「どちらかといえば住みにくい」と答えた方

問 10-3 「わからない」「住みにくい」と回答した理由を、次の中から選んでください。

【〇はいくつでも】

「交通の便が悪いから」が 76.6%と最も高く、次いで「買い物や娯楽を楽しむ場が少ないから」が 64.6%、「高齢で今後の暮らしに不安を感じるから」が 49.6%となっています。



#### 【その他回答】

- ・雨が多いので、家の湿度が高い
- ・教育にお金がかかり過ぎる。高、大学
- ・近所が居なくなってる
- ・自宅からスムーズに早く交通網の整備
- ・村内に雇用の場が限られている
- ・未来がない
- ・若者が暮らしにくい
- ・過疎化が進み将来性に希望が持てない
- ・行政サービス
- ・近隣が段々といなくなっている
- ・全てにメリットが何ひとつ今のままではないと感じる
- ・長野県のようにすずしければいいと思う。
- ・若い人や子供が少なくて将来に不安を感じる

問 11 あなたは、御杖村へ愛着や誇りを感じていますか。【○は1つだけ】

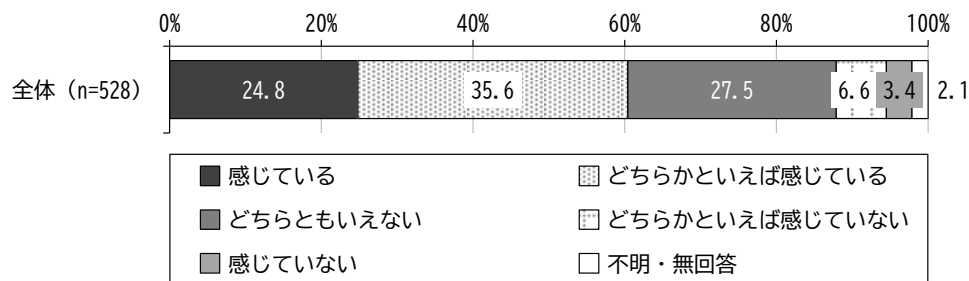
「どちらかといえば感じている」が 35.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.5%、「感じている」が 24.8%となっています。

性別でみると、男女ともに「どちらかといえば感じている」が最も高くなっており、『感じている』（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は男女ともに6割台となっています。

年代別でみると、40歳代では「感じている」、50歳代では「どちらともいえない」、その他の年代では「どちらかといえば感じている」が最も高くなっており、『感じている』は10歳代・20歳代、40歳代で他の年代に比べて高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「どちらかといえば感じている」が最も高くなっており、『感じている』は神末と桃俣で他の地域に比べて高くなっています。

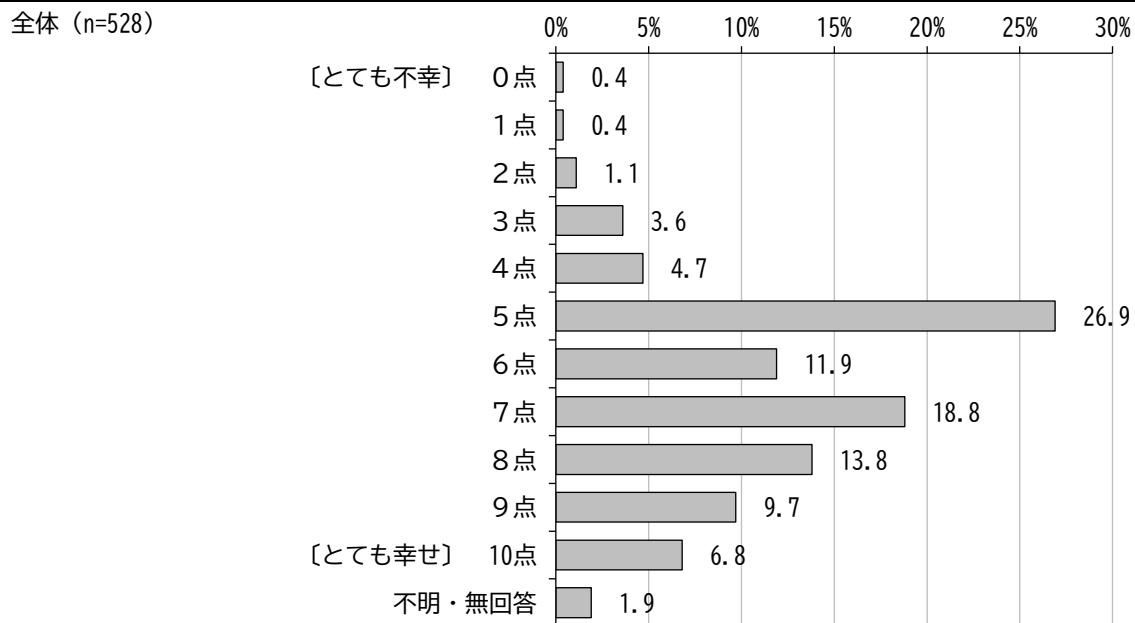
居住年数別でみると、〔住み始めてから4年まで〕では「感じている」、〔11年から19年まで〕では「どちらともいえない」、その他の年数では「どちらかといえば感じている」が最も高くなっており、『感じている』は〔11年から19年まで〕で他の年数に比べて低くなっています。



| 単位：%       |                   | 感じている | どちらかといえば感じている | どちらともいえない | どちらかといえば感じていない | 感じていない | 不明・無回答 |
|------------|-------------------|-------|---------------|-----------|----------------|--------|--------|
| 全体 (n=528) |                   | 24.8  | 35.6          | 27.5      | 6.6            | 3.4    | 2.1    |
| 性別         | 男性 (n=224)        | 22.3  | 38.4          | 25.9      | 8.5            | 2.7    | 2.2    |
|            | 女性 (n=287)        | 26.8  | 34.1          | 28.2      | 5.2            | 3.5    | 2.1    |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)  | 23.8  | 47.6          | 23.8      | 4.8            | 0.0    | 0.0    |
|            | 30歳代 (n=27)       | 29.6  | 37.0          | 25.9      | 0.0            | 7.4    | 0.0    |
|            | 40歳代 (n=31)       | 38.7  | 35.5          | 16.1      | 3.2            | 3.2    | 3.2    |
|            | 50歳代 (n=64)       | 20.3  | 31.3          | 34.4      | 12.5           | 1.6    | 0.0    |
|            | 60歳代 (n=115)      | 21.7  | 38.3          | 28.7      | 5.2            | 6.1    | 0.0    |
|            | 70歳代 (n=176)      | 26.1  | 31.3          | 28.4      | 8.0            | 2.3    | 4.0    |
|            | 80歳以上 (n=86)      | 23.3  | 41.9          | 24.4      | 4.7            | 3.5    | 2.3    |
| 地域別        | 神末 (n=227)        | 28.2  | 34.8          | 24.7      | 7.5            | 2.6    | 2.2    |
|            | 菅野 (n=160)        | 22.5  | 34.4          | 31.3      | 6.9            | 5.0    | 0.0    |
|            | 土屋原 (n=82)        | 20.7  | 36.6          | 29.3      | 6.1            | 4.9    | 2.4    |
|            | 桃俣 (n=47)         | 21.3  | 42.6          | 27.7      | 4.3            | 0.0    | 4.3    |
| 居住年数別      | 住み始めから4年まで (n=33) | 33.3  | 24.2          | 30.3      | 6.1            | 3.0    | 3.0    |
|            | 5年から10年まで (n=20)  | 25.0  | 40.0          | 20.0      | 15.0           | 0.0    | 0.0    |
|            | 11年から19年まで (n=38) | 23.7  | 23.7          | 34.2      | 7.9            | 10.5   | 0.0    |
|            | 20年以上 (n=424)     | 24.1  | 37.3          | 27.4      | 6.1            | 3.1    | 2.1    |

問 12 現在、あなたはどの程度幸せですか。【○は1つだけ】

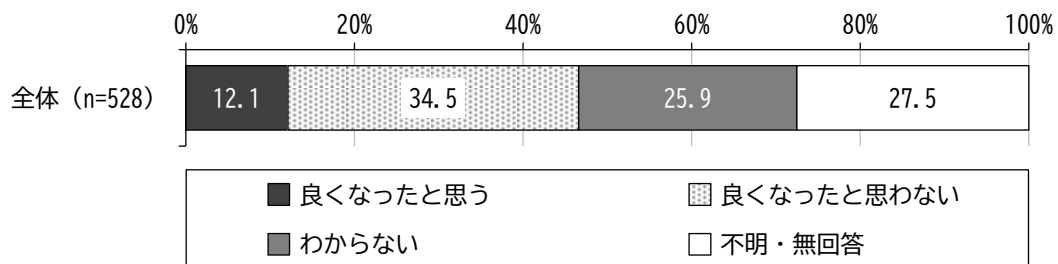
「5点」が26.9%と最も高く、次いで「7点」が18.8%、「8点」が13.8%となっています。



| 平均値  |
|------|
| 6.48 |

問 13 5年前と比べて、あなたは、御杖村が良くなったと思いますか。【○は1つだけ】

「良くなったと思わない」が34.5%と最も高く、次いで「わからない」が25.9%、「良くなったと思う」が12.1%となっています。



---

性別でみると、男性で「良くなったと思わない」が最も高くなっています。

年代別でみると、10 歳代・20 歳代、50 歳代では「良くなったと思わない」が4割台と他の年代に比べて高くなっています。

地域別でみると、菅野では「良くなったと思わない」が4割と他の地域に比べて高くなっています。

---

| 単位：％        |                 | 良<br>く<br>な<br>っ<br>た<br>と<br>思<br>う | な<br>良<br>く<br>な<br>っ<br>た<br>と<br>思<br>わ<br>ない | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|-----------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 全体（n=528）   |                 | 12.1                                 | 34.5                                            | 25.9                  | 27.5                       |
| 性<br>別      | 男性（n=224）       | 12.5                                 | 40.2                                            | 22.3                  | 25.0                       |
|             | 女性（n=287）       | 11.8                                 | 29.3                                            | 29.6                  | 29.3                       |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代（n=21） | 14.3                                 | 42.9                                            | 38.1                  | 4.8                        |
|             | 30歳代（n=27）      | 14.8                                 | 37.0                                            | 48.1                  | 0.0                        |
|             | 40歳代（n=31）      | 16.1                                 | 38.7                                            | 38.7                  | 6.5                        |
|             | 50歳代（n=64）      | 17.2                                 | 43.8                                            | 28.1                  | 10.9                       |
|             | 60歳代（n=115）     | 7.0                                  | 39.1                                            | 33.0                  | 20.9                       |
|             | 70歳代（n=176）     | 13.1                                 | 33.0                                            | 19.9                  | 34.1                       |
|             | 80歳以上（n=86）     | 10.5                                 | 19.8                                            | 15.1                  | 54.7                       |
| 地<br>域<br>別 | 神末（n=227）       | 15.0                                 | 29.5                                            | 29.1                  | 26.4                       |
|             | 菅野（n=160）       | 10.6                                 | 40.0                                            | 20.0                  | 29.4                       |
|             | 土屋原（n=82）       | 8.5                                  | 35.4                                            | 31.7                  | 24.4                       |
|             | 桃保（n=47）        | 12.8                                 | 36.2                                            | 27.7                  | 23.4                       |

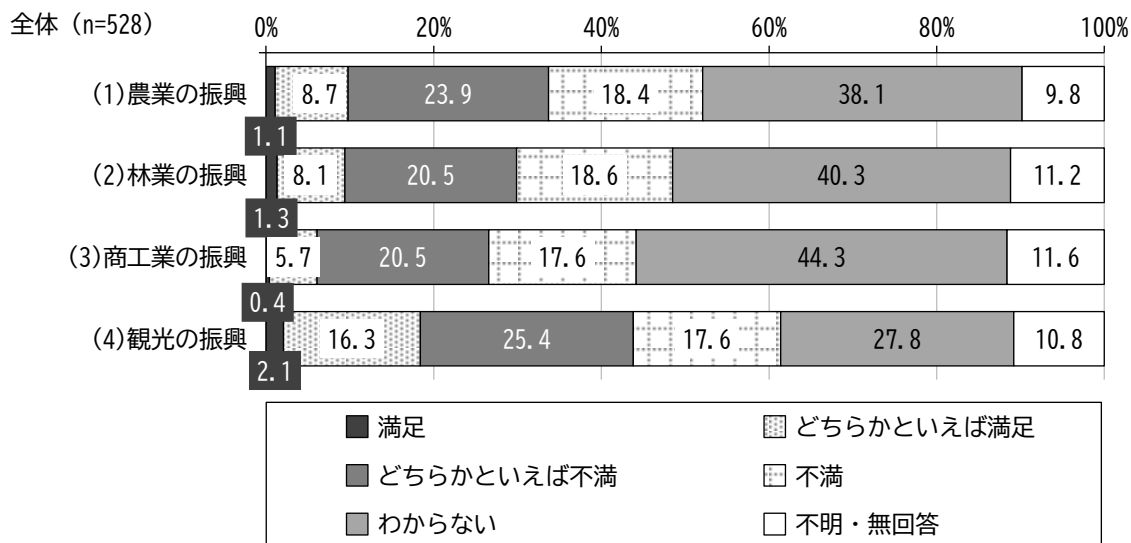
問 14 御杖村の現在のむらづくりの取り組みについて、「満足度」と「重要度」の、それぞれ、あてはまるものの番号に○をつけてください。

## 1 地域資源を活かした産業の振興

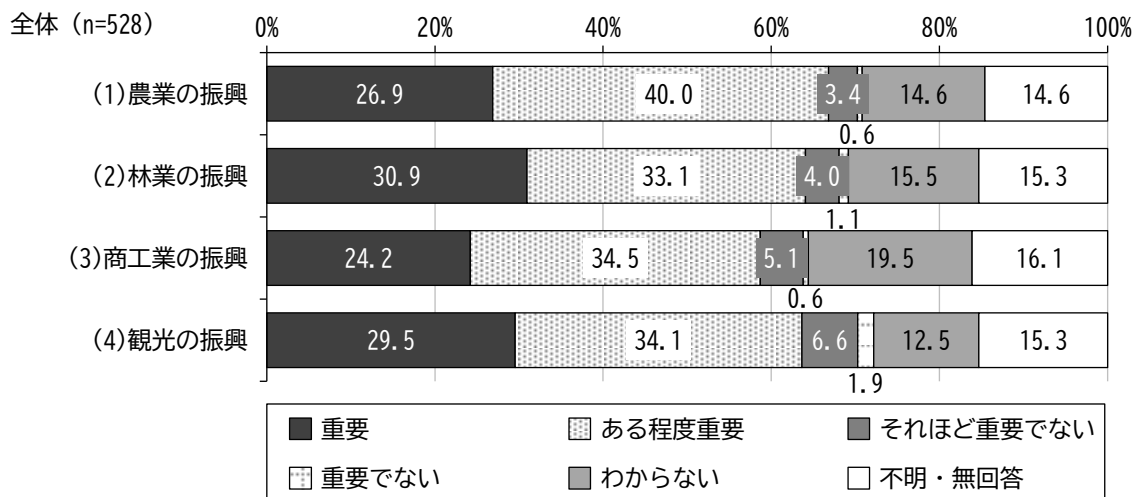
【満足度】ではすべての項目で『満足』（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）よりも『不満』（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）が高くなっています。

【重要度】では『重要』（「重要」と「ある程度重要」の合計）が〈(1)農業の振興〉〈(2)林業の振興〉〈(4)観光の振興〉で6割を超えています。

### 【満足度】



### 【重要度】

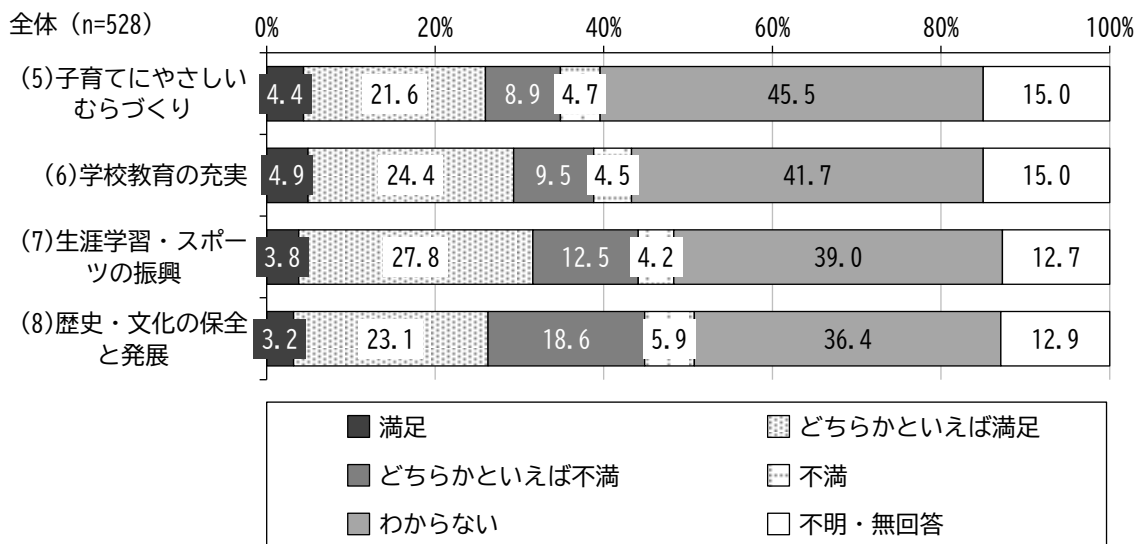


## 2 地域ぐるみの学び・育ちの推進

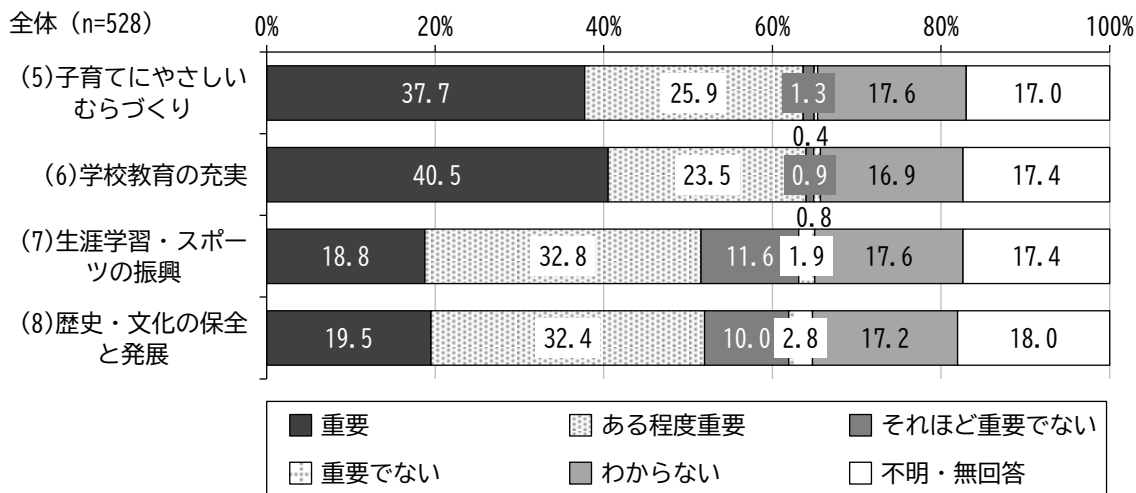
【満足度】ではすべての項目で『不満』よりも『満足』が高くなっています。

【重要度】では『重要』が〈(5)子育てにやさしいむらづくり〉〈(6)学校教育の充実〉で6割を超えています。

### 【満足度】



### 【重要度】



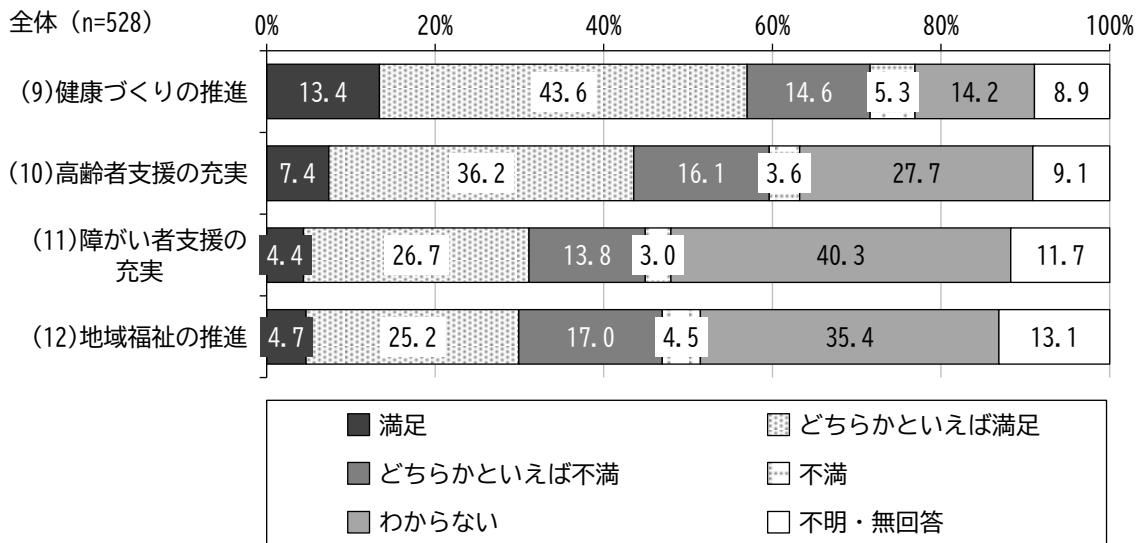


### 3 支えあう健康なむらづくりの推進

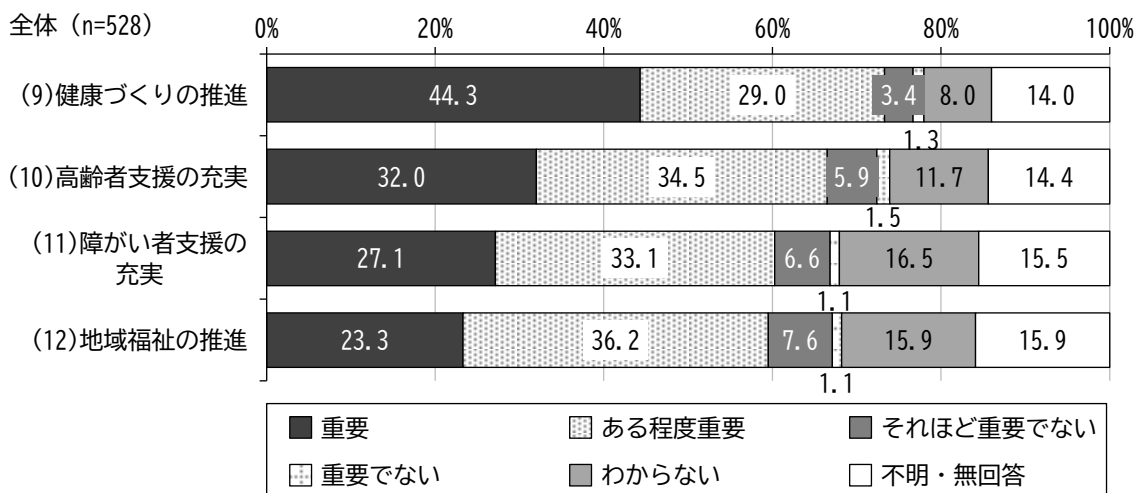
【満足度】ではすべての項目で『不満』よりも『満足』が高くなっています。

【重要度】では『重要』が〈(9)健康づくりの推進〉で7割を超えています。

#### 【満足度】



#### 【重要度】

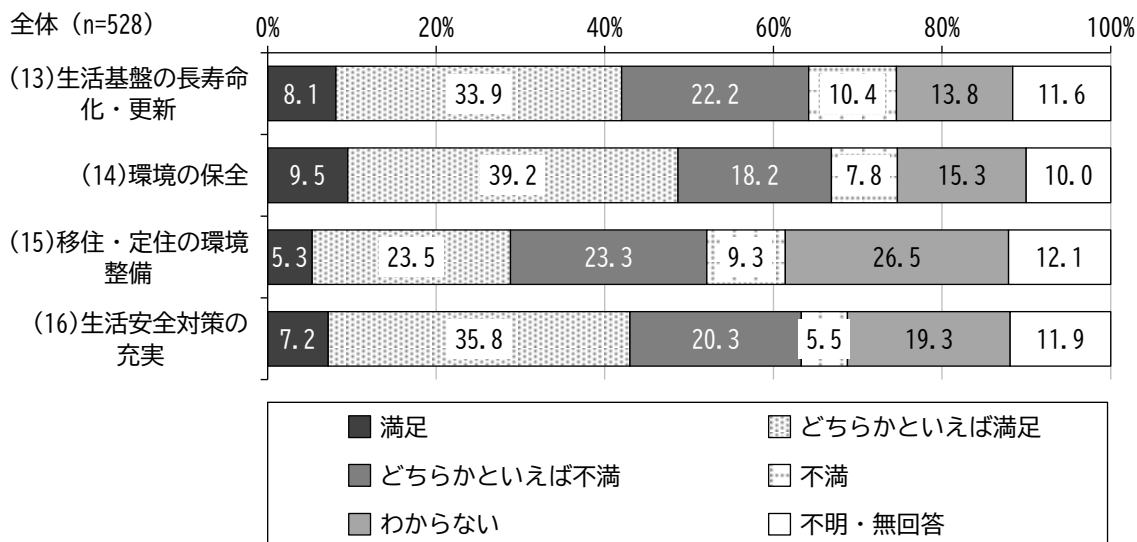


#### 4 安全で快適な暮らしの保障

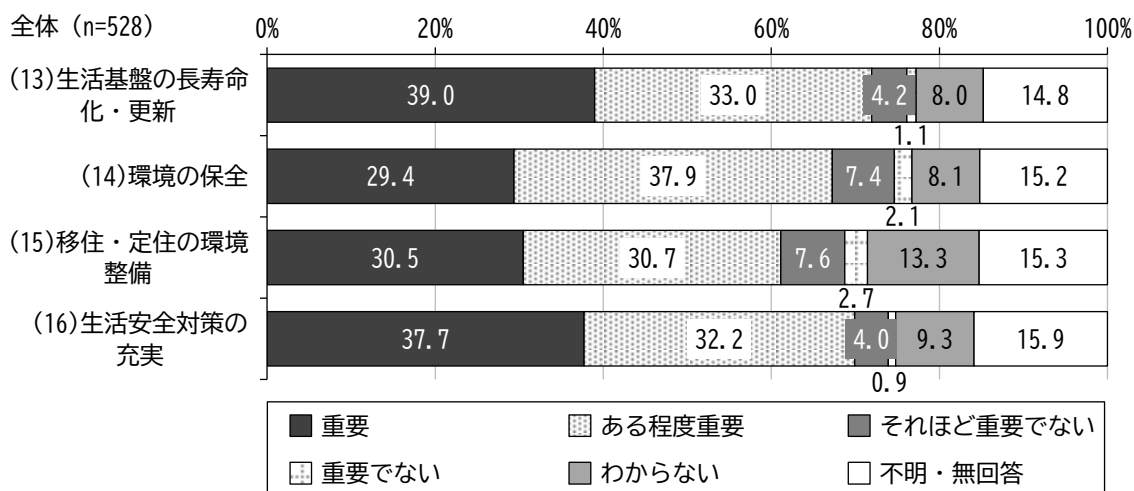
【満足度】では〈(15)移住・定住の環境整備〉を除いて『不満』よりも『満足』が高くなっています。

【重要度】では『重要』が〈(13)生活基盤の長寿命化・更新〉で7割を超えています。

##### 【満足度】



##### 【重要度】

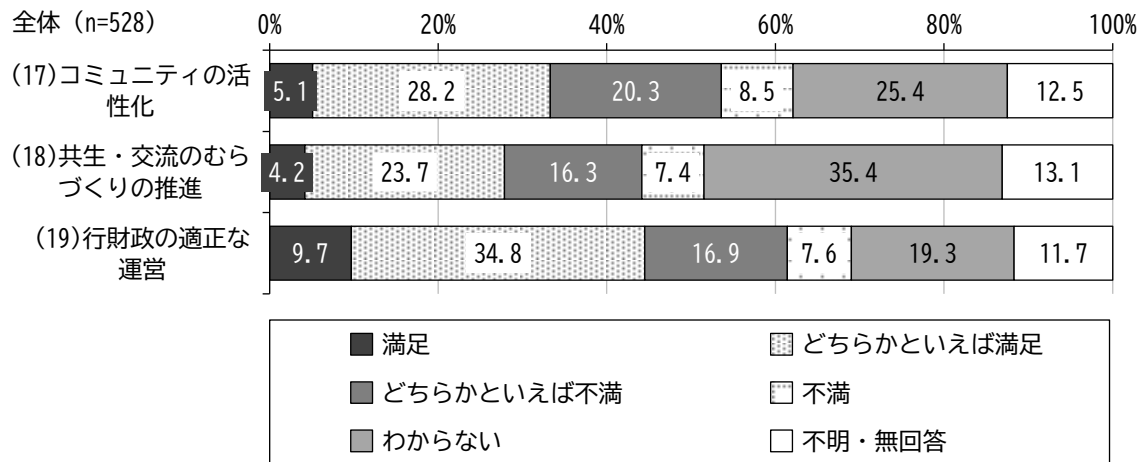


## 5 みんなで解決するむらづくりの推進

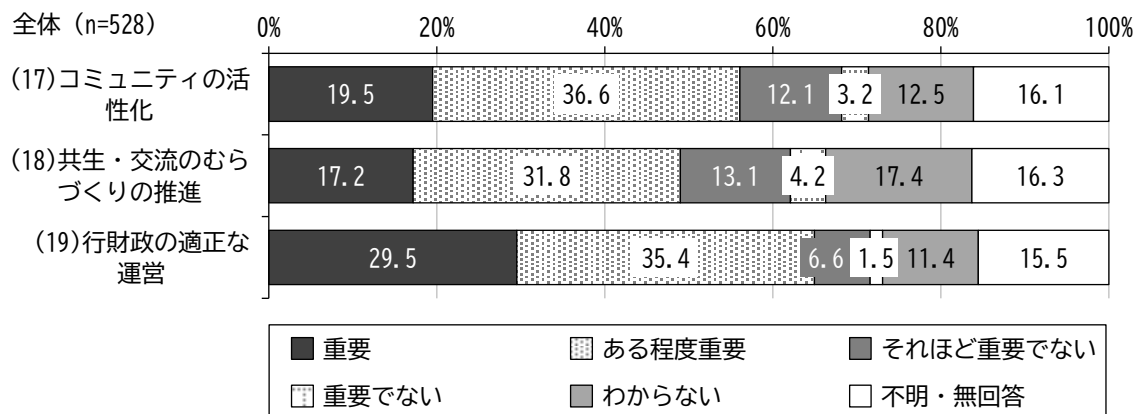
【満足度】ではすべての項目で『不満』よりも『満足』が高くなっています。

【重要度】では『重要』が〈(19)行財政の適正な運営〉で6割を超えています。

### 【満足度】



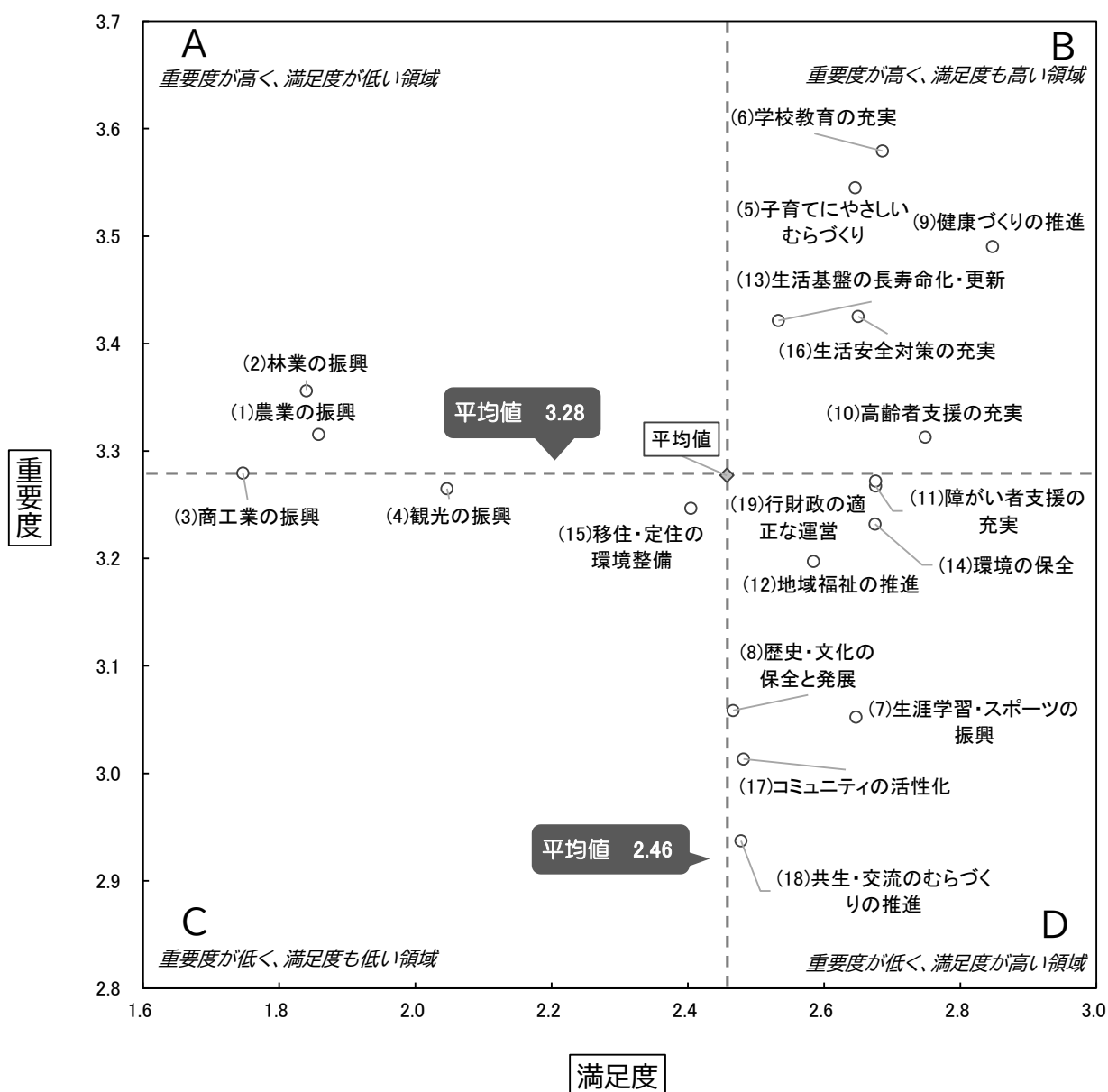
### 【重要度】



満足度と重要度について、それぞれ平均点を求めました。

【満足度】では〈(9)健康づくりの推進〉が2.85ポイントと最も高く、次いで〈(10)高齢者支援の充実〉が2.75ポイント、〈(6)学校教育の充実〉が2.69ポイントとなっています。

【重要度】では〈(6)学校教育の充実〉が3.58ポイントと最も高く、次いで〈(5)子育てにやさしいむらづくり〉が3.54ポイント、〈(9)健康づくりの推進〉が3.49ポイントとなっています。



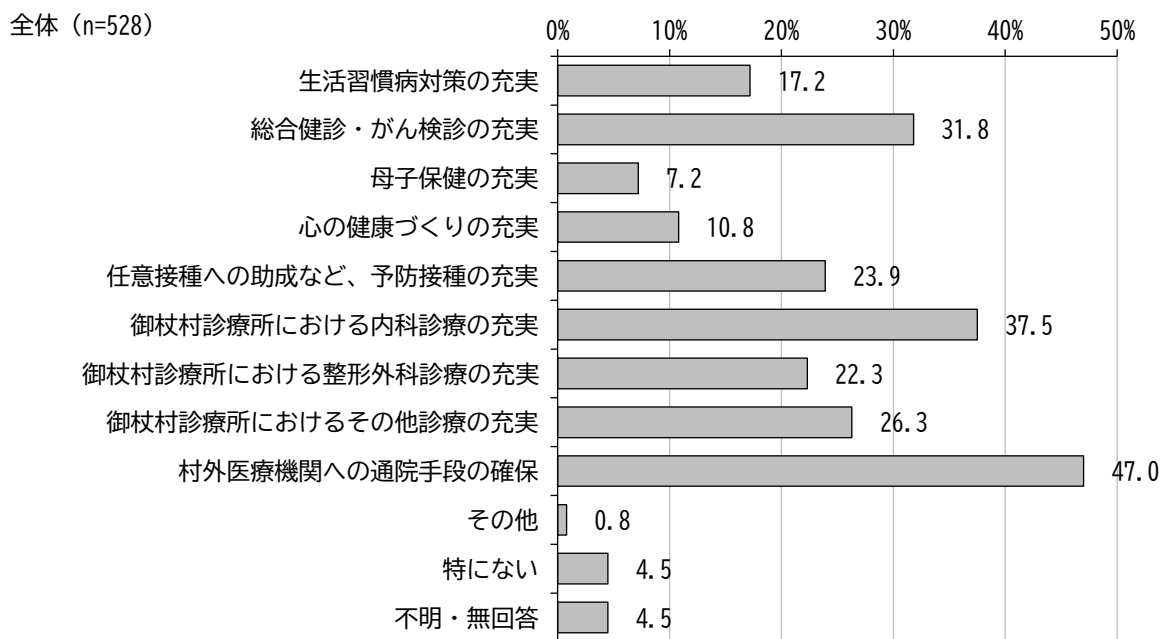
※平均点は「満足／重要：4点」「どちらかといえば満足／ある程度重要：3点」「どちらかといえば不満／それほど重要でない：2点」「不満／重要でない：1点」とし、「わからない」と「不明・無回答」を除き算出した。

### (3) 健康・医療・福祉について

問 15 あなたは、御杖村の保健衛生・医療で、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。

【〇は3つまで】

「村外医療機関への通院手段の確保」が 47.0%と最も高く、次いで「御杖村診療所における内科診療の充実」が 37.5%、「総合健診・がん検診の充実」が 31.8%となっています。



#### 【その他回答】

- ・安全な水道を維持する
- ・今は健康なので充実していると感じている
- ・往診とかはあるのか分からないが、そういったことも必要かなと思う
- ・観光客もいる事から休診日をなくす
- ・緊急医療の充実
- ・歯科・眼科等

年代別でみると、30 歳代では「御杖村診療所における内科診療の充実」「御杖村診療所における  
 その他診療の充実」、40 歳代では「御杖村診療所における内科診療の充実」、その他の年代では「村  
 外医療機関への通院手段の確保」が最も高くなっています。

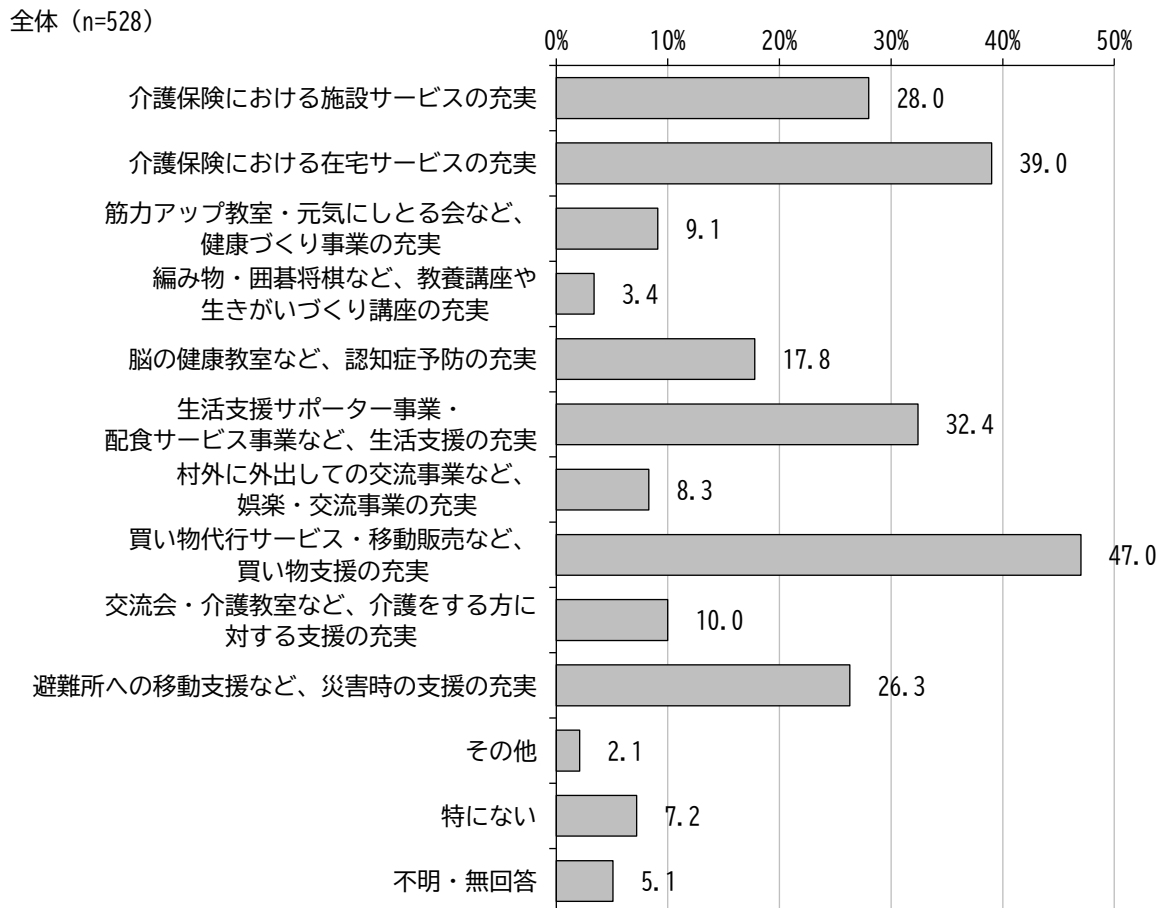
地域別でみると、土屋原では「総合健診・がん検診の充実」、その他の地域では「村外医療機関へ  
 の通院手段の確保」が最も高くなっています。

| 単位：％       |                  | 生活習慣病対策の充実 | 総合健診・がん検診の充実 | 母子保健の充実 | 心の健康づくりの充実 | 任意接種への助成など、予防接種の充実 | 御杖村診療所における内科診療の充実 | 御杖村診療所における整形外科診療の充実 | 御杖村診療所におけるその他診療の充実 | 村外医療機関への通院手段の確保 | その他 | 特になし | 不明・無回答 |
|------------|------------------|------------|--------------|---------|------------|--------------------|-------------------|---------------------|--------------------|-----------------|-----|------|--------|
| 全体 (n=528) |                  | 17.2       | 31.8         | 7.2     | 10.8       | 23.9               | 37.5              | 22.3                | 26.3               | 47.0            | 0.8 | 4.5  | 4.5    |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21) | 14.3       | 38.1         | 19.0    | 14.3       | 19.0               | 23.8              | 14.3                | 19.0               | 52.4            | 4.8 | 4.8  | 4.8    |
|            | 30歳代 (n=27)      | 14.8       | 18.5         | 25.9    | 11.1       | 3.7                | 40.7              | 33.3                | 40.7               | 25.9            | 0.0 | 11.1 | 0.0    |
|            | 40歳代 (n=31)      | 19.4       | 22.6         | 16.1    | 19.4       | 25.8               | 48.4              | 22.6                | 25.8               | 41.9            | 3.2 | 6.5  | 0.0    |
|            | 50歳代 (n=64)      | 14.1       | 23.4         | 3.1     | 14.1       | 29.7               | 40.6              | 25.0                | 26.6               | 59.4            | 1.6 | 0.0  | 3.1    |
|            | 60歳代 (n=115)     | 19.1       | 39.1         | 6.1     | 5.2        | 27.8               | 40.0              | 22.6                | 24.3               | 40.9            | 0.0 | 5.2  | 1.7    |
|            | 70歳代 (n=176)     | 18.8       | 34.7         | 6.3     | 14.2       | 25.6               | 33.0              | 19.9                | 29.0               | 49.4            | 0.0 | 4.0  | 5.7    |
|            | 80歳以上 (n=86)     | 16.3       | 29.1         | 2.3     | 5.8        | 18.6               | 39.5              | 23.3                | 20.9               | 50.0            | 0.0 | 4.7  | 9.3    |
| 地域別        | 神末 (n=227)       | 16.7       | 30.8         | 5.7     | 10.6       | 23.8               | 40.1              | 23.8                | 28.2               | 48.5            | 0.4 | 4.8  | 2.6    |
|            | 菅野 (n=160)       | 18.8       | 30.0         | 9.4     | 9.4        | 25.6               | 34.4              | 19.4                | 29.4               | 48.8            | 1.3 | 3.1  | 6.9    |
|            | 土屋原 (n=82)       | 20.7       | 41.5         | 6.1     | 12.2       | 26.8               | 36.6              | 15.9                | 19.5               | 39.0            | 0.0 | 7.3  | 2.4    |
|            | 桃俣 (n=47)        | 12.8       | 29.8         | 10.6    | 14.9       | 17.0               | 36.2              | 31.9                | 23.4               | 51.1            | 0.0 | 2.1  | 6.4    |

問 16 あなたは、高齢者福祉サービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。

【○は3つまで】

「買い物代行サービス・移動販売など、買い物支援の充実」が 47.0%と最も高く、次いで「介護保険における在宅サービスの充実」が 39.0%、「生活支援サポーター事業・配食サービス事業など、生活支援の充実」が 32.4%となっています。



#### 【その他回答】

- ・「コンビニ」の誘致
- ・介護施設へ入居する時身元引受人が居ない場合の対応
- ・期待していない
- ・高齢者へのDV対策
- ・在宅介護は大変だと思います。支援の充実をお願いします
- ・事業等に参加できる移動手段の充実
- ・収入に占める介護保険料、医療保険料過大
- ・村外への病院への送迎（介護タクシー等）
- ・他村が行っている移動販売と看護師の同行、安否確認がいいと思います

年代別でみると、70 歳代では「介護保険における在宅サービスの充実」、その他の年代では「買い物代行サービス・移動販売など、買い物支援の充実」が最も高くなっています。

地域別でみると、桃俣では「介護保険における在宅サービスの充実」、その他の地域では「買い物代行サービス・移動販売など、買い物支援の充実」が最も高くなっています。

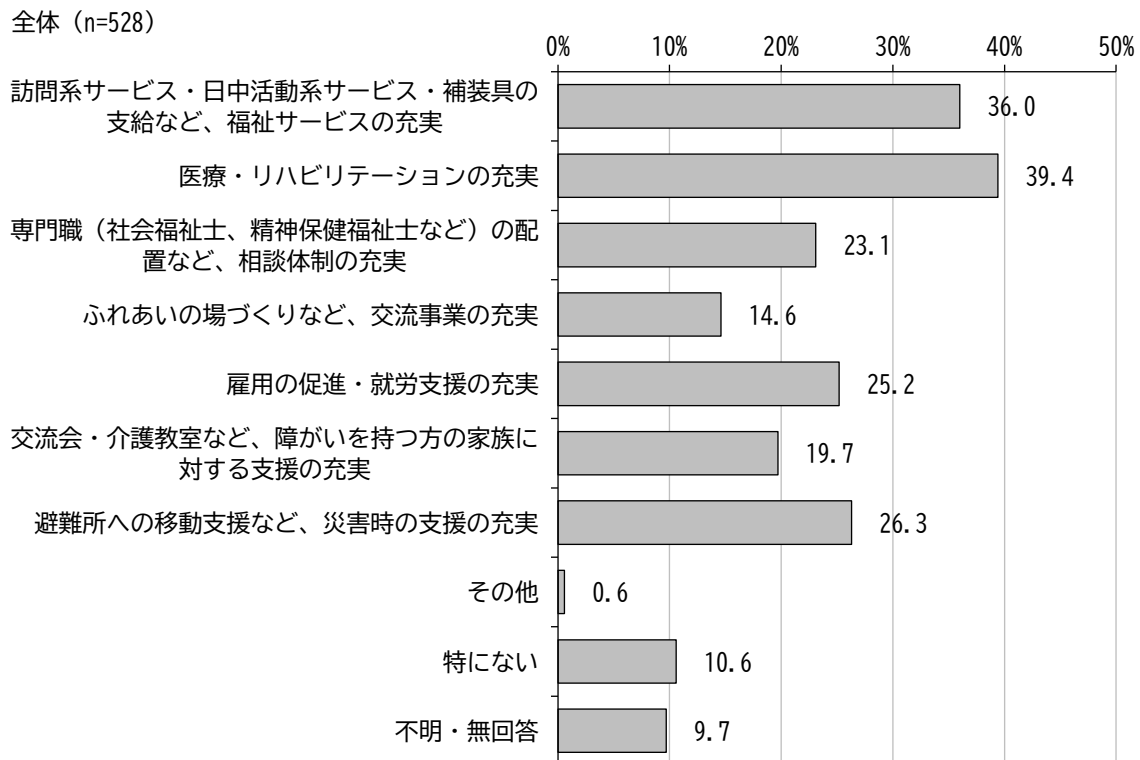
| 単位：％       |                  | 介護保険における施設サービスの充実 | 介護保険における在宅サービスの充実 | 筋力アップ教室・元気にしとる会など、健康づくり事業の充実 | 座や生きがいづくり講座の充実 | 編み物・囲碁将棋など、教養講座の充実 | 脳の健康教室など、認知症予防の充実 | 生活支援サービス事業など、生活支援の充実 | 生活支援サービス事業など、生活支援の充実 | 村外に外出しての交流事業など、娯楽・交流事業の充実 | 買い物代行サービス・移動販売など、買い物支援の充実 | 交流会・介護教室など、介護をする方に対する支援の充実 | 避難所への移動支援など、災害時の支援の充実 | その他 | 特になし | 不明・無回答 |
|------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------------------|----------------|--------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------|-----|------|--------|
| 全体 (n=528) |                  | 28.0              | 39.0              | 9.1                          | 3.4            | 17.8               | 32.4              | 8.3                  | 47.0                 | 10.0                      | 26.3                      | 2.1                        | 7.2                   | 5.1 |      |        |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21) | 33.3              | 14.3              | 19.0                         | 4.8            | 14.3               | 19.0              | 14.3                 | 47.6                 | 14.3                      | 23.8                      | 0.0                        | 14.3                  | 4.8 |      |        |
|            | 30歳代 (n=27)      | 25.9              | 29.6              | 14.8                         | 7.4            | 14.8               | 37.0              | 14.8                 | 40.7                 | 14.8                      | 25.9                      | 3.7                        | 14.8                  | 0.0 |      |        |
|            | 40歳代 (n=31)      | 32.3              | 41.9              | 9.7                          | 3.2            | 12.9               | 29.0              | 9.7                  | 51.6                 | 3.2                       | 19.4                      | 3.2                        | 19.4                  | 0.0 |      |        |
|            | 50歳代 (n=64)      | 31.3              | 31.3              | 12.5                         | 1.6            | 3.1                | 40.6              | 9.4                  | 54.7                 | 10.9                      | 28.1                      | 1.6                        | 3.1                   | 3.1 |      |        |
|            | 60歳代 (n=115)     | 32.2              | 32.2              | 8.7                          | 1.7            | 20.9               | 36.5              | 4.3                  | 49.6                 | 10.4                      | 26.1                      | 1.7                        | 7.0                   | 1.7 |      |        |
|            | 70歳代 (n=176)     | 28.4              | 51.1              | 7.4                          | 5.1            | 22.2               | 30.7              | 7.4                  | 42.0                 | 11.9                      | 22.7                      | 2.3                        | 5.1                   | 7.4 |      |        |
|            | 80歳以上 (n=86)     | 19.8              | 39.5              | 7.0                          | 2.3            | 19.8               | 27.9              | 10.5                 | 46.5                 | 5.8                       | 36.0                      | 2.3                        | 5.8                   | 8.1 |      |        |
| 地域別        | 神末 (n=227)       | 30.8              | 40.5              | 6.6                          | 3.1            | 17.2               | 33.0              | 8.8                  | 47.6                 | 11.5                      | 27.8                      | 2.2                        | 7.0                   | 3.1 |      |        |
|            | 菅野 (n=160)       | 25.6              | 36.3              | 11.3                         | 4.4            | 16.3               | 34.4              | 8.8                  | 48.1                 | 10.0                      | 23.1                      | 1.9                        | 8.1                   | 6.9 |      |        |
|            | 土屋原 (n=82)       | 25.6              | 32.9              | 11.0                         | 4.9            | 25.6               | 26.8              | 9.8                  | 46.3                 | 8.5                       | 29.3                      | 1.2                        | 8.5                   | 3.7 |      |        |
|            | 桃俣 (n=47)        | 29.8              | 57.4              | 12.8                         | 0.0            | 12.8               | 36.2              | 2.1                  | 40.4                 | 8.5                       | 27.7                      | 2.1                        | 2.1                   | 6.4 |      |        |



問 17 あなたは、障がい福祉サービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。

【〇は3つまで】

「医療・リハビリテーションの充実」が 39.4%と最も高く、次いで「訪問系サービス・日中活動系サービス・補装具の支給など、福祉サービスの充実」が 36.0%、「避難所への移動支援など、災害時の支援の充実」が 26.3%となっています。



【その他回答】

- ・親亡き後の生活に関する支援、成年後見制度の周知
- ・村民の障害者に対する理解の促進
- ・ヘルパーさんが少な過ぎる。ヘルパーの育成を考えるべき

年代別でみると、10 歳代・20 歳代では「交流会・介護教室など、障がいを持つ方の家族に対する支援の充実」、30 歳代、40 歳代では「雇用の促進・就労支援の充実」、50 歳代では「訪問系サービス・日中活動系サービス・補装具の支給など、福祉サービスの充実」「医療・リハビリテーションの充実」、60 歳代、70 歳代では「医療・リハビリテーションの充実」、80 歳以上では「訪問系サービス・日中活動系サービス・補装具の支給など、福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

地域別でみると、神末では「訪問系サービス・日中活動系サービス・補装具の支給など、福祉サービスの充実」、その他の地域では「医療・リハビリテーションの充実」が最も高くなっています。

| 単位：％      |                 | 訪問系サービス・補装具の支給など、福祉サービスの充実 | 医療・リハビリテーションの充実 | 専門職（社会福祉士、精神保健福祉士など）の配置など、相談体制の充実 | ふれあいの場づくりなど、交流事業の充実 | 雇用の促進・就労支援の充実 | 交流会・介護教室など、障がいを持つ方の家族に対する支援の充実 | 避難所への移動支援など、災害時の支援の充実 | その他 | 特になし | 不明・無回答 |
|-----------|-----------------|----------------------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------|---------------|--------------------------------|-----------------------|-----|------|--------|
| 全体（n=528） |                 | 36.0                       | 39.4            | 23.1                              | 14.6                | 25.2          | 19.7                           | 26.3                  | 0.6 | 10.6 | 9.7    |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21） | 33.3                       | 14.3            | 33.3                              | 19.0                | 19.0          | 42.9                           | 19.0                  | 0.0 | 23.8 | 4.8    |
|           | 30歳代（n=27）      | 33.3                       | 29.6            | 29.6                              | 14.8                | 37.0          | 18.5                           | 18.5                  | 0.0 | 14.8 | 3.7    |
|           | 40歳代（n=31）      | 22.6                       | 32.3            | 38.7                              | 12.9                | 41.9          | 25.8                           | 12.9                  | 6.5 | 19.4 | 6.5    |
|           | 50歳代（n=64）      | 42.2                       | 42.2            | 28.1                              | 15.6                | 26.6          | 17.2                           | 21.9                  | 0.0 | 10.9 | 6.3    |
|           | 60歳代（n=115）     | 35.7                       | 45.2            | 22.6                              | 13.0                | 34.8          | 15.7                           | 23.5                  | 0.0 | 10.4 | 6.1    |
|           | 70歳代（n=176）     | 35.8                       | 43.2            | 21.0                              | 15.9                | 23.9          | 23.3                           | 30.7                  | 0.6 | 9.1  | 11.4   |
|           | 80歳以上（n=86）     | 41.9                       | 37.2            | 15.1                              | 12.8                | 7.0           | 12.8                           | 33.7                  | 0.0 | 4.7  | 15.1   |
| 地域別       | 神末（n=227）       | 40.1                       | 38.3            | 22.9                              | 15.9                | 25.1          | 21.1                           | 27.8                  | 0.0 | 10.6 | 7.0    |
|           | 菅野（n=160）       | 33.1                       | 38.8            | 25.0                              | 13.1                | 27.5          | 17.5                           | 26.9                  | 1.3 | 12.5 | 11.3   |
|           | 土屋原（n=82）       | 35.4                       | 42.7            | 24.4                              | 14.6                | 20.7          | 22.0                           | 23.2                  | 1.2 | 8.5  | 9.8    |
|           | 桃保（n=47）        | 34.0                       | 46.8            | 19.1                              | 12.8                | 25.5          | 19.1                           | 23.4                  | 0.0 | 6.4  | 10.6   |

## (4) 生活環境について

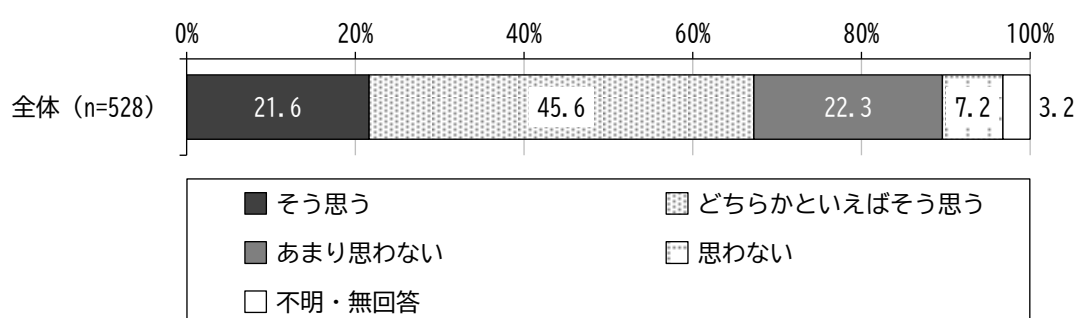
問 18-1 あなたは、お住まいの地域で次のことができていると思いますか。【それぞれ1つに○】

### ①隣近所でお互い助けあえる仕組みができている

「どちらかといえばそう思う」が45.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」が22.3%、「そう思う」が21.6%となっています。

年代別でみると、80歳以上では「あまり思わない」、その他の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、桃俣では5割台と他の地域に比べて高くなっています。



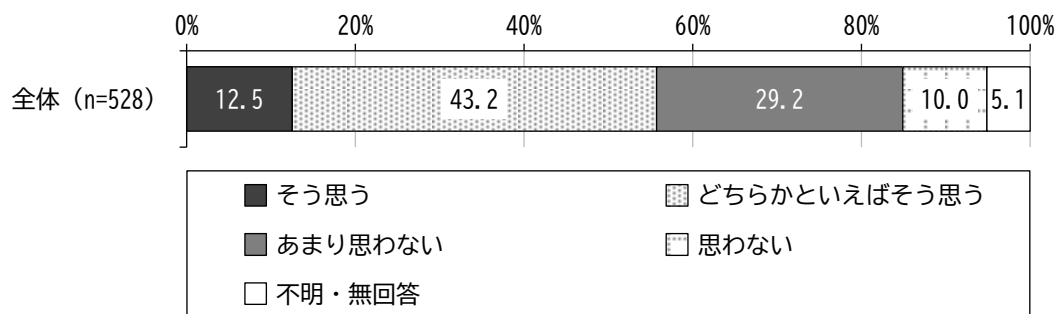
| 単位：%        |                  | そう<br>思う | そ<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|------------------|----------|-------------------------------------------|---------------------------------|------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528)  |                  | 21.6     | 45.6                                      | 22.3                            | 7.2              | 3.2                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代 (n=21) | 28.6     | 52.4                                      | 4.8                             | 9.5              | 4.8                        |
|             | 30歳代 (n=27)      | 29.6     | 48.1                                      | 14.8                            | 3.7              | 3.7                        |
|             | 40歳代 (n=31)      | 29.0     | 45.2                                      | 19.4                            | 6.5              | 0.0                        |
|             | 50歳代 (n=64)      | 12.5     | 57.8                                      | 20.3                            | 7.8              | 1.6                        |
|             | 60歳代 (n=115)     | 15.7     | 52.2                                      | 23.5                            | 7.0              | 1.7                        |
|             | 70歳代 (n=176)     | 25.0     | 44.9                                      | 21.0                            | 6.8              | 2.3                        |
|             | 80歳以上 (n=86)     | 22.1     | 29.1                                      | 31.4                            | 9.3              | 8.1                        |
| 地<br>域<br>別 | 神末 (n=227)       | 22.0     | 44.5                                      | 24.7                            | 7.5              | 1.3                        |
|             | 菅野 (n=160)       | 19.4     | 45.0                                      | 23.1                            | 8.1              | 4.4                        |
|             | 土屋原 (n=82)       | 23.2     | 48.8                                      | 18.3                            | 7.3              | 2.4                        |
|             | 桃俣 (n=47)        | 23.4     | 55.3                                      | 10.6                            | 4.3              | 6.4                        |

## ②隣近所で日頃から防犯のための目配りができている

「どちらかといえばそう思う」が43.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」が29.2%、「そう思う」が12.5%となっています。

年代別でみると、80歳以上では「あまり思わない」、その他の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、桃俣では5割台と他の地域に比べて高くなっています。



| 単位：%       |                  | そう<br>思う | そ<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|------------------|----------|-------------------------------------------|---------------------------------|------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                  | 12.5     | 43.2                                      | 29.2                            | 10.0             | 5.1                        |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21) | 14.3     | 42.9                                      | 23.8                            | 14.3             | 4.8                        |
|            | 30歳代 (n=27)      | 18.5     | 44.4                                      | 22.2                            | 7.4              | 7.4                        |
|            | 40歳代 (n=31)      | 9.7      | 48.4                                      | 32.3                            | 9.7              | 0.0                        |
|            | 50歳代 (n=64)      | 9.4      | 51.6                                      | 26.6                            | 10.9             | 1.6                        |
|            | 60歳代 (n=115)     | 5.2      | 47.0                                      | 34.8                            | 10.4             | 2.6                        |
|            | 70歳代 (n=176)     | 15.9     | 44.3                                      | 26.7                            | 9.1              | 4.0                        |
|            | 80歳以上 (n=86)     | 16.3     | 29.1                                      | 30.2                            | 11.6             | 12.8                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)       | 12.3     | 39.6                                      | 34.8                            | 9.7              | 3.5                        |
|            | 菅野 (n=160)       | 10.0     | 46.3                                      | 26.9                            | 11.3             | 5.6                        |
|            | 土屋原 (n=82)       | 19.5     | 42.7                                      | 22.0                            | 11.0             | 4.9                        |
|            | 桃俣 (n=47)        | 8.5      | 57.4                                      | 19.1                            | 6.4              | 8.5                        |

問 18-2 あなたは、災害に備えた取り組みについて、次のことができていると思いますか。

【それぞれ1つに○】

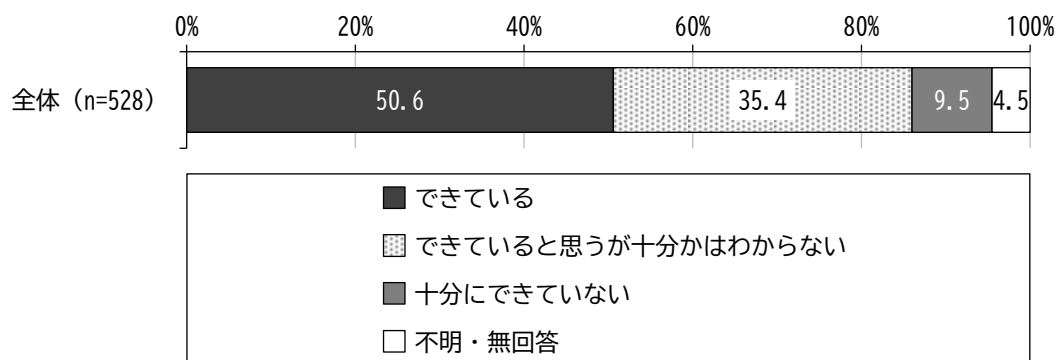
①災害が起きたときに避難する場所がわかっている

「できている」が50.6%と最も高く、次いで「できていると思うが十分かはわからない」が35.4%、「十分にできていない」が9.5%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代では「できていると思うが十分かはわからない」、その他の年代では「できている」が最も高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「できている」が最も高くなっており、桃保では7割台と他の地域に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「できていると思うが十分かはわからない」、その他の家族構成では「できている」が最も高くなっています。



| 単位：％       |                       | できている | かうで<br>らがき<br>な十<br>い分<br>に<br>で<br>き<br>て<br>い | な十<br>分に<br>で<br>き<br>て<br>い | 不明・<br>無回<br>答 |
|------------|-----------------------|-------|-------------------------------------------------|------------------------------|----------------|
| 全体 (n=528) |                       | 50.6  | 35.4                                            | 9.5                          | 4.5            |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)      | 28.6  | 52.4                                            | 14.3                         | 4.8            |
|            | 30歳代 (n=27)           | 51.9  | 37.0                                            | 7.4                          | 3.7            |
|            | 40歳代 (n=31)           | 54.8  | 41.9                                            | 3.2                          | 0.0            |
|            | 50歳代 (n=64)           | 46.9  | 45.3                                            | 6.3                          | 1.6            |
|            | 60歳代 (n=115)          | 47.0  | 41.7                                            | 8.7                          | 2.6            |
|            | 70歳代 (n=176)          | 59.1  | 26.1                                            | 9.7                          | 5.1            |
|            | 80歳以上 (n=86)          | 46.5  | 30.2                                            | 14.0                         | 9.3            |
| 地域別        | 神末 (n=227)            | 50.2  | 38.3                                            | 9.7                          | 1.8            |
|            | 菅野 (n=160)            | 49.4  | 36.3                                            | 7.5                          | 6.9            |
|            | 土屋原 (n=82)            | 47.6  | 36.6                                            | 13.4                         | 2.4            |
|            | 桃保 (n=47)             | 72.3  | 14.9                                            | 4.3                          | 8.5            |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)         | 38.4  | 43.4                                            | 12.1                         | 6.1            |
|            | 夫婦のみ (n=208)          | 55.8  | 28.8                                            | 10.6                         | 4.8            |
|            | 2世代が同居 (親と子) (n=158)  | 51.9  | 39.2                                            | 6.3                          | 2.5            |
|            | 3世代が同居 (親と子と孫) (n=35) | 60.0  | 28.6                                            | 5.7                          | 5.7            |

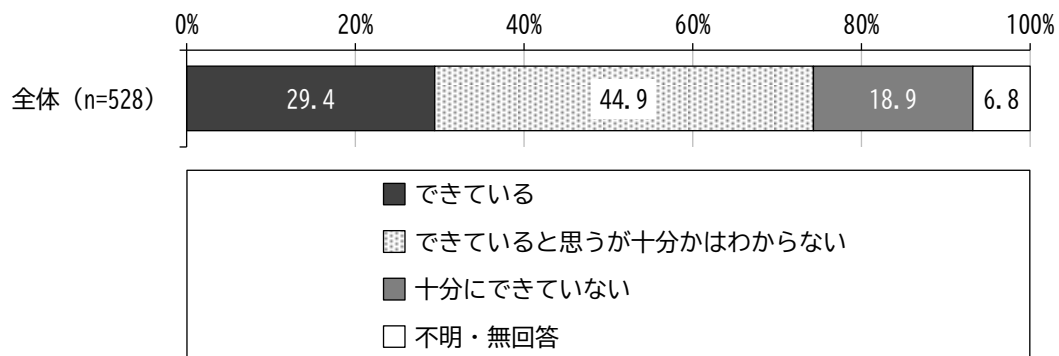
## ②災害が起きたときに家族や助けてくれる方との連絡手段が確認できている

「できていると思うが十分かはわからない」が44.9%と最も高く、次いで「できている」が29.4%、「十分にできていない」が18.9%となっています。

年代別でみると、すべての年代で「できていると思うが十分かはわからない」が最も高くなっています。

地域別でみると、桃俣では「できている」、その他の地域では「できていると思うが十分かはわからない」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、すべての家族構成で「できていると思うが十分かはわからない」が最も高くなっています。



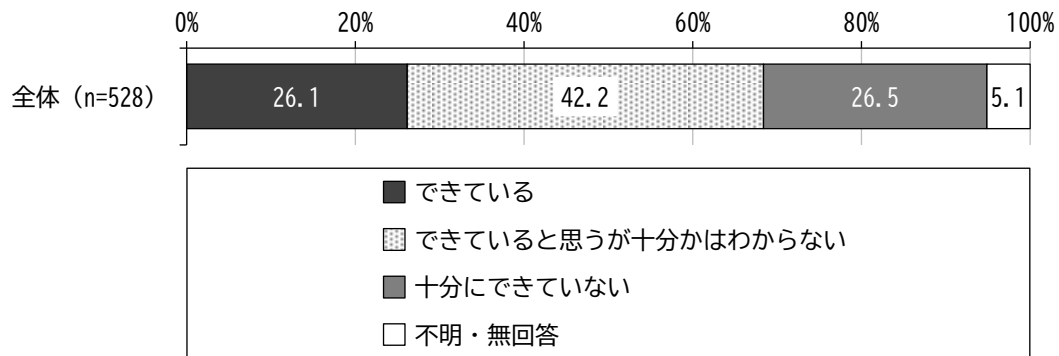
| 単位：%       |                      | できている | かうで<br>らがき<br>な十<br>い分<br>い<br>か<br>は<br>と<br>思<br>わ<br>い | な十<br>い分<br>に<br>で<br>き<br>て<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|----------------------|-------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                      | 29.4  | 44.9                                                      | 18.9                              | 6.8                        |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)     | 28.6  | 42.9                                                      | 23.8                              | 4.8                        |
|            | 30歳代 (n=27)          | 33.3  | 59.3                                                      | 3.7                               | 3.7                        |
|            | 40歳代 (n=31)          | 35.5  | 45.2                                                      | 19.4                              | 0.0                        |
|            | 50歳代 (n=64)          | 31.3  | 46.9                                                      | 20.3                              | 1.6                        |
|            | 60歳代 (n=115)         | 22.6  | 53.9                                                      | 20.0                              | 3.5                        |
|            | 70歳代 (n=176)         | 33.0  | 42.0                                                      | 18.8                              | 6.3                        |
|            | 80歳以上 (n=86)         | 27.9  | 33.7                                                      | 19.8                              | 18.6                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)           | 29.5  | 45.4                                                      | 21.1                              | 4.0                        |
|            | 菅野 (n=160)           | 23.1  | 51.2                                                      | 16.3                              | 9.4                        |
|            | 土屋原 (n=82)           | 30.5  | 40.2                                                      | 23.2                              | 6.1                        |
|            | 桃俣 (n=47)            | 48.9  | 31.9                                                      | 8.5                               | 10.6                       |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)        | 29.3  | 36.4                                                      | 22.2                              | 12.1                       |
|            | 夫婦のみ (n=208)         | 28.8  | 46.2                                                      | 18.3                              | 6.7                        |
|            | 2世代が同居（親と子） (n=158)  | 33.5  | 45.6                                                      | 17.1                              | 3.8                        |
|            | 3世代が同居（親と子と孫） (n=35) | 25.7  | 48.6                                                      | 20.0                              | 5.7                        |

### ③食料品の備蓄や停電時の対策(ラジオ、懐中電灯の準備など)をしている

「できていると思うが十分かはわからない」が42.2%と最も高く、次いで「十分にできていない」が26.5%、「できている」が26.1%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代、40歳代では「十分にできていない」、その他の年代では「できていると思うが十分かはわからない」が最も高くなっています。

地域別・家族構成別でみると、すべての区分で「できていると思うが十分かはわからない」が最も高くなっています。

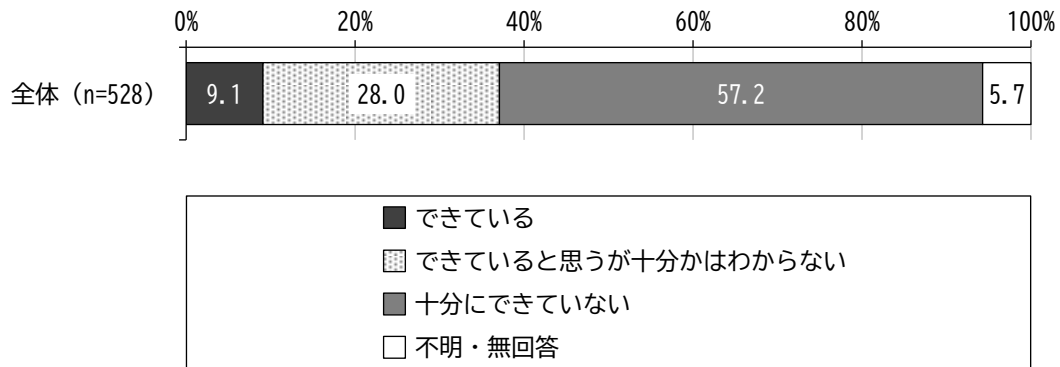


| 単位：%       |                       | できている | かうで<br>らがき<br>な十<br>てい<br>分い<br>か<br>は<br>と<br>思<br>わ<br>思 | な十<br>分<br>に<br>で<br>き<br>て<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|-----------------------|-------|------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                       | 26.1  | 42.2                                                       | 26.5                             | 5.1                        |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)      | 9.5   | 28.6                                                       | 57.1                             | 4.8                        |
|            | 30歳代 (n=27)           | 14.8  | 51.9                                                       | 29.6                             | 3.7                        |
|            | 40歳代 (n=31)           | 16.1  | 29.0                                                       | 54.8                             | 0.0                        |
|            | 50歳代 (n=64)           | 18.8  | 50.0                                                       | 29.7                             | 1.6                        |
|            | 60歳代 (n=115)          | 23.5  | 46.1                                                       | 28.7                             | 1.7                        |
|            | 70歳代 (n=176)          | 33.0  | 43.2                                                       | 20.5                             | 3.4                        |
|            | 80歳以上 (n=86)          | 33.7  | 37.2                                                       | 12.8                             | 16.3                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)            | 25.6  | 41.9                                                       | 29.1                             | 3.5                        |
|            | 菅野 (n=160)            | 25.0  | 41.9                                                       | 26.3                             | 6.9                        |
|            | 土屋原 (n=82)            | 28.0  | 45.1                                                       | 23.2                             | 3.7                        |
|            | 桃俣 (n=47)             | 31.9  | 46.8                                                       | 14.9                             | 6.4                        |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)         | 31.3  | 40.4                                                       | 20.2                             | 8.1                        |
|            | 夫婦のみ (n=208)          | 29.8  | 41.3                                                       | 23.6                             | 5.3                        |
|            | 2世代が同居 (親と子) (n=158)  | 20.3  | 44.9                                                       | 31.6                             | 3.2                        |
|            | 3世代が同居 (親と子と孫) (n=35) | 17.1  | 42.9                                                       | 34.3                             | 5.7                        |

#### ④住まいの家具の転倒防止対策ができていない

「十分にできていない」が 57.2%と最も高く、次いで「できていると思うが十分かはわからない」が 28.0%、「できている」が 9.1%となっています。

年代別・地域別・家族構成別でみると、すべての区分で「十分にできていない」が最も高くなっています。



| 単位：%       |                       | できている | できていると思うが十分かはわからない | 十分にできていない | 不明・無回答 |
|------------|-----------------------|-------|--------------------|-----------|--------|
| 全体 (n=528) |                       | 9.1   | 28.0               | 57.2      | 5.7    |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)      | 9.5   | 14.3               | 71.4      | 4.8    |
|            | 30歳代 (n=27)           | 14.8  | 22.2               | 59.3      | 3.7    |
|            | 40歳代 (n=31)           | 3.2   | 45.2               | 51.6      | 0.0    |
|            | 50歳代 (n=64)           | 4.7   | 21.9               | 71.9      | 1.6    |
|            | 60歳代 (n=115)          | 7.0   | 22.6               | 68.7      | 1.7    |
|            | 70歳代 (n=176)          | 9.7   | 31.8               | 53.4      | 5.1    |
|            | 80歳以上 (n=86)          | 12.8  | 31.4               | 39.5      | 16.3   |
| 地域別        | 神末 (n=227)            | 8.4   | 24.7               | 63.4      | 3.5    |
|            | 菅野 (n=160)            | 11.3  | 33.8               | 46.9      | 8.1    |
|            | 土屋原 (n=82)            | 9.8   | 28.0               | 57.3      | 4.9    |
|            | 桃俣 (n=47)             | 2.1   | 23.4               | 68.1      | 6.4    |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)         | 10.1  | 27.3               | 52.5      | 10.1   |
|            | 夫婦のみ (n=208)          | 7.7   | 30.3               | 57.2      | 4.8    |
|            | 2世代が同居 (親と子) (n=158)  | 10.8  | 24.7               | 60.1      | 4.4    |
|            | 3世代が同居 (親と子と孫) (n=35) | 0.0   | 31.4               | 62.9      | 5.7    |

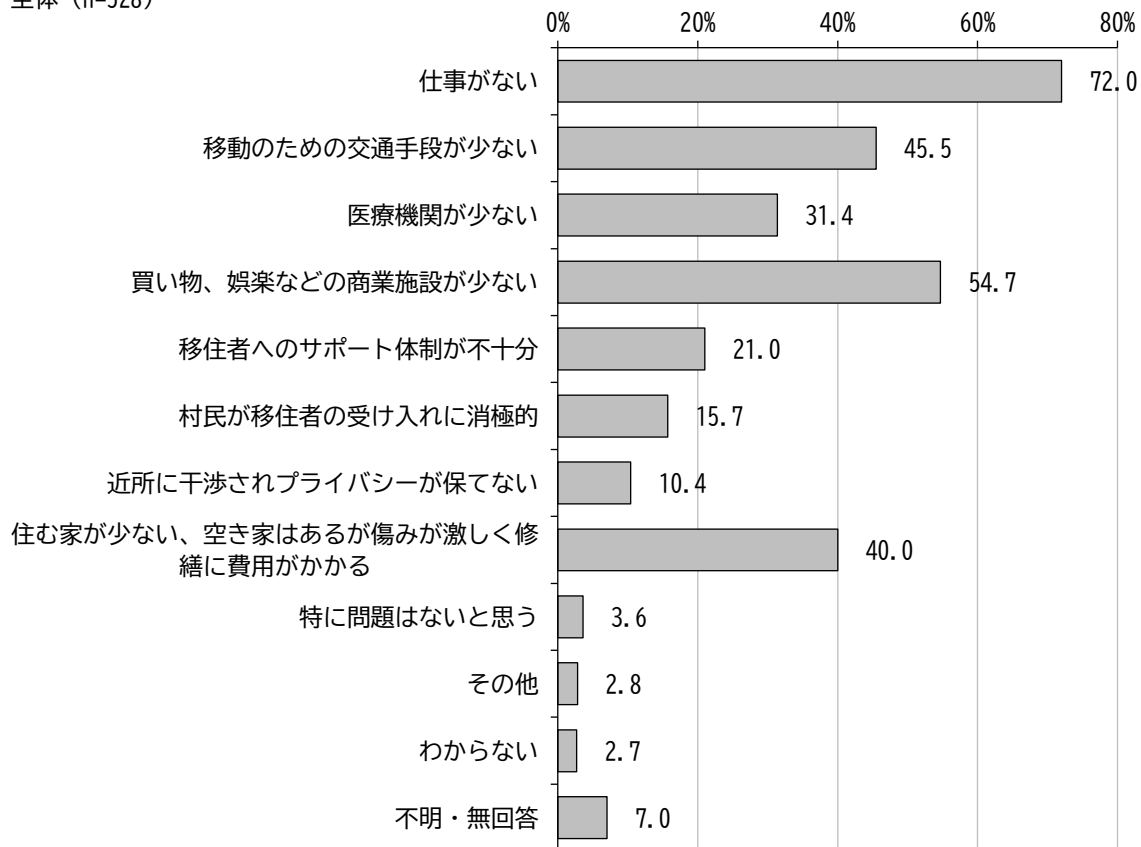


問 19 あなたは、村外から御杖村に移住する際の課題は何だと思いますか。

【〇はいくつでも】

「仕事がない」が 72.0%と最も高く、次いで「買い物、娯楽などの商業施設が少ない」が 54.7%、「移動のための交通手段が少ない」が 45.5%となっています。

全体 (n=528)



#### 【その他回答】

- ・①～⑧は他の市町村共通の課題ですが、進学などで街へ出て行かれた方に戻って来て頂く様な施策が必要かと思います
- ・移住情報が無い。近所付き合いを嫌う傾向
- ・移住できる村のアピールがたりない
- ・移住フェアに出展するなど、移住希望者へのアピールができていない
- ・傷みの激しい空き家が多く、集落が維持できていない。誰もボロボロの家ばかりの所に移住しようと思わない
- ・高校進学に対する支援がない。例えば交通の面や御杖村から通学するために必要な支援がない
- ・子育て世帯への金銭的援助が出来ていない
- ・子供の高校在学時費用、災害等による陸路遮断時の対応
- ・情報発信をもっとすべき
- ・ソーラーパネルの設置による環境破壊
- ・村長が移住者を歓迎していると思わない
- ・村おこし等月給が安過ぎ（観光関連の）
- ・良い人が積極的に移住者に関わらず、問題のある人が移住者にかみすぎている

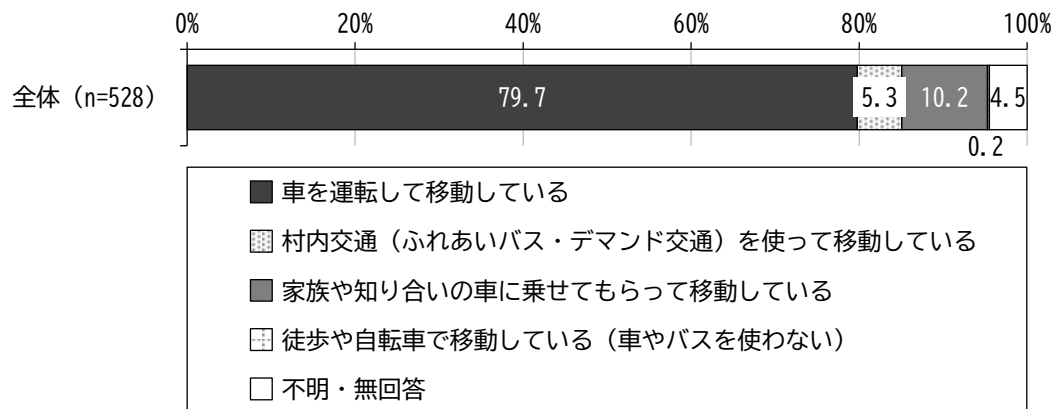
年代別でみると、10 歳代・20 歳代では「移動のための交通手段が少ない」「買い物、娯楽などの商業施設が少ない」、その他の年代では「仕事がない」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、すべての区分で「仕事がない」が最も高くなっています。また、「住み始めから4年まで」「5年から10年まで」では「移動のための交通手段が少ない」「移住者へのサポート体制が不十分」「住む家が少なく、空き家はあるが傷みが激しく修繕に費用がかかる」が他の区分に比べて高くなっています。

| 単位：％      |                  | 仕事がない | 移動のための交通手段が少ない | 医療機関が少ない | 買物、娯楽などの商業施設が少ない | 移住者へのサポート体制が不十分 | 村民が移住者の受け入れに消極的 | 近所に干渉されプライバシーが保てない | 住む家が少なく、修繕に費用がかかる | 特に問題はないと思う | その他  | わからない | 不明・無回答 |
|-----------|------------------|-------|----------------|----------|------------------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------|------------|------|-------|--------|
| 全体（n=528） |                  | 72.0  | 45.5           | 31.4     | 54.7             | 21.0            | 15.7            | 10.4               | 40.0              | 3.6        | 2.8  | 2.7   | 7.0    |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21）  | 57.1  | 66.7           | 33.3     | 66.7             | 14.3            | 33.3            | 14.3               | 38.1              | 0.0        | 0.0  | 4.8   | 4.8    |
|           | 30歳代（n=27）       | 77.8  | 40.7           | 40.7     | 44.4             | 37.0            | 22.2            | 7.4                | 55.6              | 0.0        | 7.4  | 3.7   | 0.0    |
|           | 40歳代（n=31）       | 64.5  | 35.5           | 25.8     | 58.1             | 12.9            | 22.6            | 16.1               | 51.6              | 0.0        | 9.7  | 0.0   | 0.0    |
|           | 50歳代（n=64）       | 75.0  | 53.1           | 32.8     | 57.8             | 28.1            | 20.3            | 15.6               | 54.7              | 1.6        | 4.7  | 0.0   | 0.0    |
|           | 60歳代（n=115）      | 79.1  | 46.1           | 33.9     | 51.3             | 18.3            | 17.4            | 9.6                | 42.6              | 5.2        | 0.9  | 6.1   | 6.1    |
|           | 70歳代（n=176）      | 76.7  | 48.9           | 29.0     | 58.5             | 22.2            | 10.8            | 10.8               | 39.2              | 2.3        | 2.3  | 0.6   | 7.4    |
|           | 80歳以上（n=86）      | 57.0  | 32.6           | 32.6     | 48.8             | 16.3            | 11.6            | 4.7                | 20.9              | 9.3        | 0.0  | 4.7   | 16.3   |
| 居住年数別     | 住み始めから4年まで（n=33） | 72.7  | 57.6           | 48.5     | 54.5             | 48.5            | 15.2            | 0.0                | 66.7              | 3.0        | 6.1  | 3.0   | 0.0    |
|           | 5年から10年まで（n=20）  | 75.0  | 70.0           | 35.0     | 50.0             | 30.0            | 10.0            | 5.0                | 60.0              | 0.0        | 5.0  | 0.0   | 0.0    |
|           | 11年から19年まで（n=38） | 60.5  | 47.4           | 26.3     | 50.0             | 23.7            | 31.6            | 10.5               | 39.5              | 2.6        | 10.5 | 0.0   | 5.3    |
|           | 20年以上（n=424）     | 73.3  | 43.2           | 30.7     | 55.7             | 18.6            | 14.9            | 11.3               | 37.5              | 4.0        | 1.4  | 3.1   | 7.5    |

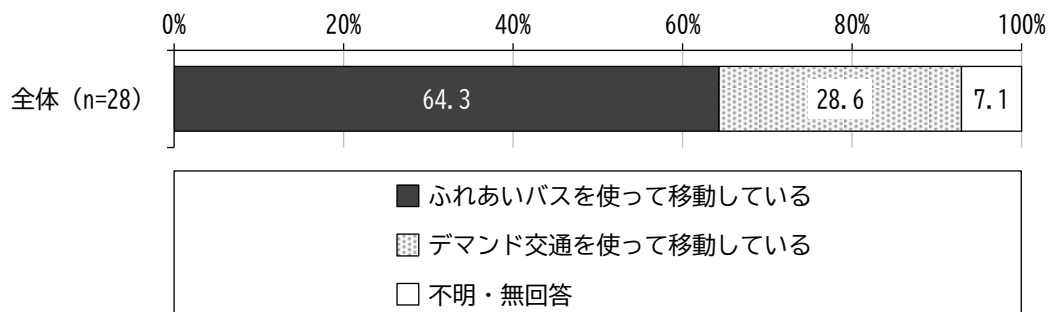
問 20-1 あなたの普段の主な移動手段は何ですか。【○は1つだけ】

「車を運転して移動している」が79.7%と最も高く、次いで「家族や知り合いの車に乗せてもらって移動している」が10.2%、「村内交通（ふれあいバス・デマンド交通）を使って移動している」が5.3%となっています。



問 20-2 村内交通は主にどちらの方法を使うことが多いですか。【○は1つだけ】

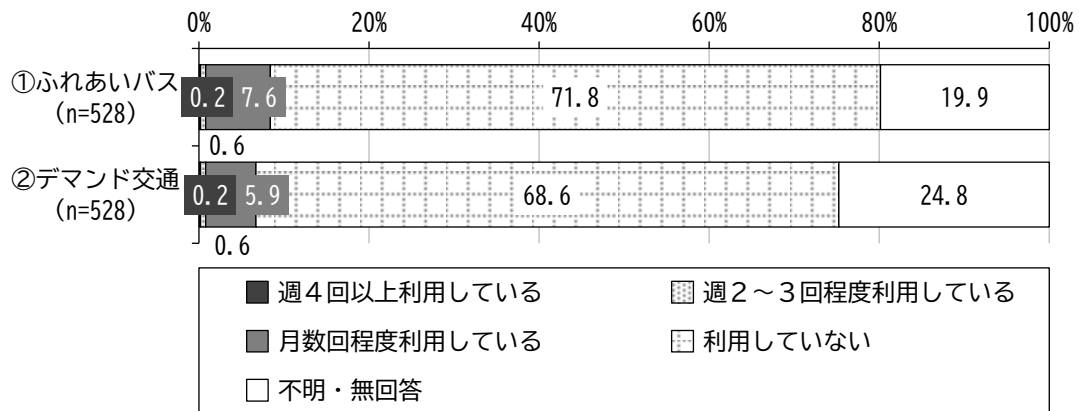
「ふれあいバスを使って移動している」が64.3%、「デマンド交通を使って移動している」が28.6%となっています。



問 21 村内交通の利用について、「利用頻度」と「便利さ」の、それぞれあてはまるものの番号に  
○をつけてください。【○は1つだけ】

【利用頻度】

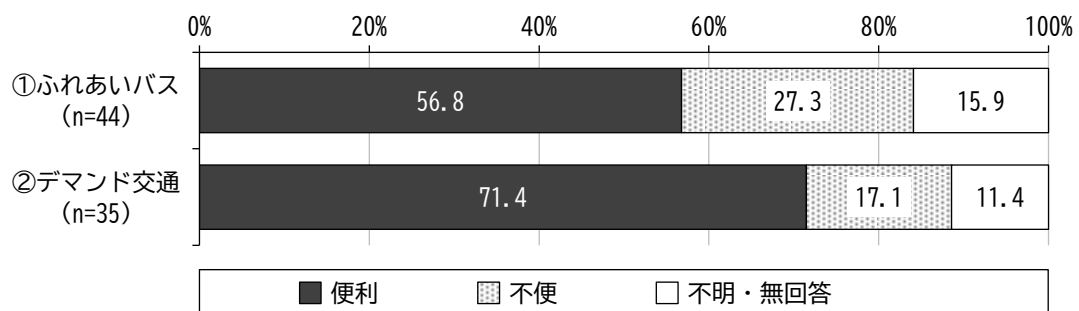
〔①ふれあいバス〕〔②デマンド交通〕ともに「利用していない」が最も高く、次いで「月数回程度利用している」、「週2～3回程度利用している」となっています。



各村内交通利用者の方

【便利さ】

〔①ふれあいバス〕利用者では「便利」が56.8%、「不便」が27.3%となっています。〔②デマンド交通〕利用者では「便利」が71.4%、「不便」が17.1%となっています。

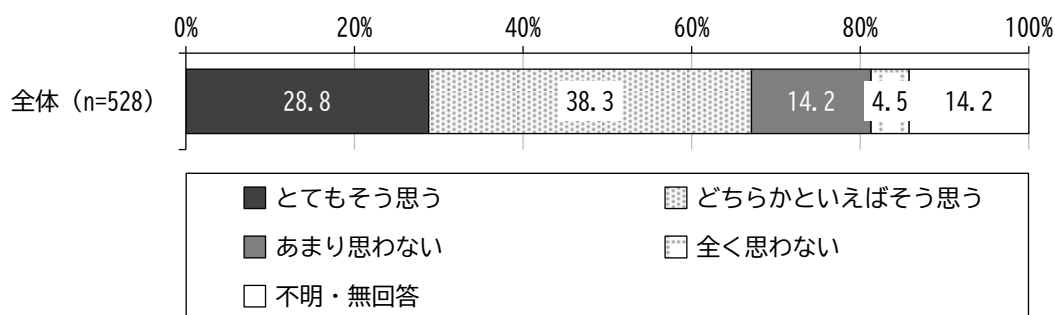


問 22 あなたは、村内交通に対して、次のことをどう思いますか。現在、車を運転している方は、将来車を手放したと仮定して、それぞれあてはまるものの番号に○をつけてください。  
【それぞれ1つに○】

①料金がかかっても、行きたい時間に村内を移動できるサービスを使いたい

「どちらかといえばそう思う」が38.3%と最も高く、次いで「とてもそう思う」が28.8%、「あまり思わない」が14.2%となっています。

年代別・地域別・家族構成別でみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、『そう思う』（「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は年代別では40歳代で8割台、地域別では神末で7割台、家族構成別では夫婦のみと3世代が同居で7割台と高くなっています。



| 単位：％                  |                      | とても<br>そう<br>思う | そ<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 全<br>く<br>思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-----------------------|----------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528)            |                      | 28.8            | 38.3                                      | 14.2                            | 4.5                        | 14.2                       |
| 年代<br>別               | 10歳代・20歳代 (n=21)     | 28.6            | 33.3                                      | 19.0                            | 9.5                        | 9.5                        |
|                       | 30歳代 (n=27)          | 25.9            | 33.3                                      | 25.9                            | 7.4                        | 7.4                        |
|                       | 40歳代 (n=31)          | 32.3            | 51.6                                      | 9.7                             | 3.2                        | 3.2                        |
|                       | 50歳代 (n=64)          | 28.1            | 43.8                                      | 21.9                            | 1.6                        | 4.7                        |
|                       | 60歳代 (n=115)         | 30.4            | 43.5                                      | 15.7                            | 2.6                        | 7.8                        |
|                       | 70歳代 (n=176)         | 29.5            | 35.8                                      | 10.2                            | 5.7                        | 18.8                       |
|                       | 80歳以上 (n=86)         | 25.6            | 32.6                                      | 12.8                            | 3.5                        | 25.6                       |
| 地<br>域<br>別           | 神末 (n=227)           | 30.8            | 39.6                                      | 15.9                            | 3.5                        | 10.1                       |
|                       | 菅野 (n=160)           | 29.4            | 35.6                                      | 13.8                            | 6.3                        | 15.0                       |
|                       | 土屋原 (n=82)           | 28.0            | 40.2                                      | 11.0                            | 3.7                        | 17.1                       |
|                       | 桃保 (n=47)            | 21.3            | 44.7                                      | 17.0                            | 2.1                        | 14.9                       |
| 家<br>族<br>構<br>成<br>別 | ひとり暮らし (n=99)        | 25.3            | 28.3                                      | 17.2                            | 8.1                        | 21.2                       |
|                       | 夫婦のみ (n=208)         | 33.2            | 38.9                                      | 9.6                             | 3.8                        | 14.4                       |
|                       | 2世代が同居（親と子） (n=158)  | 25.9            | 43.0                                      | 19.0                            | 3.2                        | 8.9                        |
|                       | 3世代が同居（親と子と孫） (n=35) | 28.6            | 45.7                                      | 11.4                            | 2.9                        | 11.4                       |

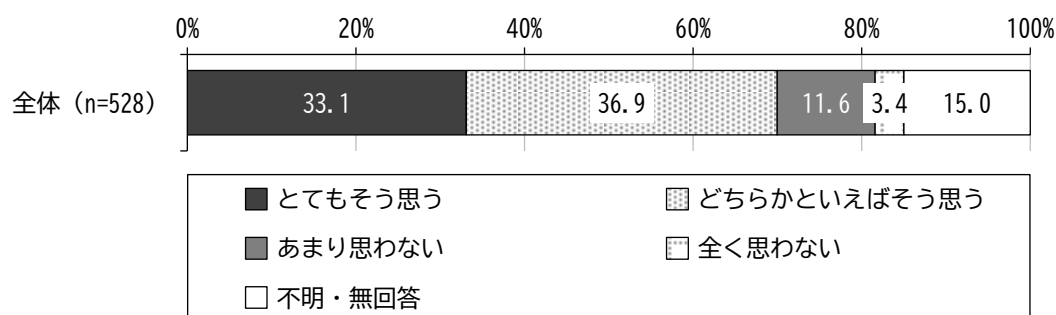
## ②料金がかかっても、買い物や娯楽を楽しむために村外に移動できるサービスを使いたい

「どちらかといえばそう思う」が36.9%と最も高く、次いで「とてもそう思う」が33.1%、「あまり思わない」が11.6%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代、40歳代、80歳以上では「とてもそう思う」、その他の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

地域別でみると、菅野では「とてもそう思う」、その他の地域では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、3世代が同居では「とてもそう思う」、その他の家族構成では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。



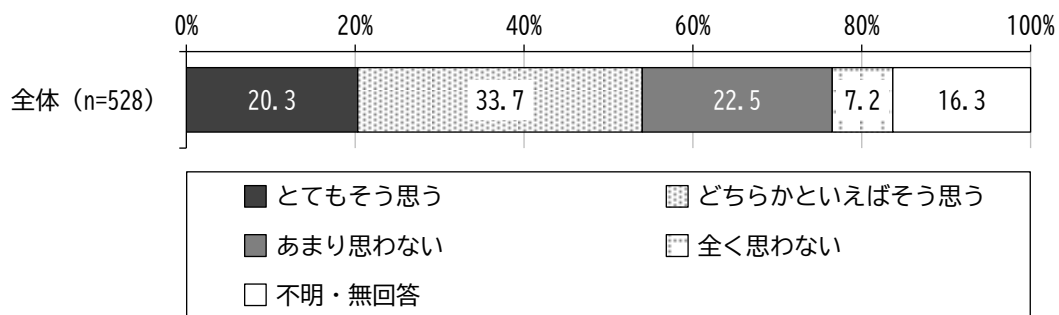
| 単位：%       |                       | とても<br>そう<br>思う | そ<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 全<br>く<br>思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|-----------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                       | 33.1            | 36.9                                      | 11.6                            | 3.4                        | 15.0                       |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)      | 33.3            | 28.6                                      | 19.0                            | 9.5                        | 9.5                        |
|            | 30歳代 (n=27)           | 29.6            | 48.1                                      | 7.4                             | 7.4                        | 7.4                        |
|            | 40歳代 (n=31)           | 45.2            | 41.9                                      | 6.5                             | 3.2                        | 3.2                        |
|            | 50歳代 (n=64)           | 37.5            | 42.2                                      | 17.2                            | 1.6                        | 1.6                        |
|            | 60歳代 (n=115)          | 35.7            | 43.5                                      | 9.6                             | 2.6                        | 8.7                        |
|            | 70歳代 (n=176)          | 31.8            | 36.4                                      | 11.9                            | 4.0                        | 15.9                       |
|            | 80歳以上 (n=86)          | 26.7            | 24.4                                      | 11.6                            | 1.2                        | 36.0                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)            | 34.4            | 36.6                                      | 15.4                            | 2.2                        | 11.5                       |
|            | 菅野 (n=160)            | 36.3            | 35.0                                      | 8.1                             | 5.0                        | 15.6                       |
|            | 土屋原 (n=82)            | 32.9            | 36.6                                      | 9.8                             | 2.4                        | 18.3                       |
|            | 桃保 (n=47)             | 21.3            | 51.1                                      | 10.6                            | 4.3                        | 12.8                       |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)         | 27.3            | 29.3                                      | 12.1                            | 5.1                        | 26.3                       |
|            | 夫婦のみ (n=208)          | 34.6            | 38.5                                      | 10.6                            | 2.4                        | 13.9                       |
|            | 2世代が同居 (親と子) (n=158)  | 32.3            | 40.5                                      | 14.6                            | 3.8                        | 8.9                        |
|            | 3世代が同居 (親と子と孫) (n=35) | 45.7            | 37.1                                      | 2.9                             | 2.9                        | 11.4                       |

### ③知人や近所の方と乗り合わせて移動できるサービスを使いたい

「どちらかといえばそう思う」が33.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」が22.5%、「とてもそう思う」が20.3%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代では「とてもそう思う」、その他の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

地域別・家族構成別でみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。



| 単位：%       |                       | とても<br>そう<br>思う | そ<br>う<br>思<br>う<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 全<br>く<br>思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|-----------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                       | 20.3            | 33.7                                      | 22.5                            | 7.2                        | 16.3                       |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)      | 38.1            | 28.6                                      | 14.3                            | 9.5                        | 9.5                        |
|            | 30歳代 (n=27)           | 7.4             | 48.1                                      | 14.8                            | 22.2                       | 7.4                        |
|            | 40歳代 (n=31)           | 22.6            | 41.9                                      | 29.0                            | 6.5                        | 0.0                        |
|            | 50歳代 (n=64)           | 21.9            | 37.5                                      | 31.3                            | 6.3                        | 3.1                        |
|            | 60歳代 (n=115)          | 20.0            | 38.3                                      | 29.6                            | 2.6                        | 9.6                        |
|            | 70歳代 (n=176)          | 18.8            | 31.8                                      | 21.6                            | 8.5                        | 19.3                       |
|            | 80歳以上 (n=86)          | 19.8            | 24.4                                      | 12.8                            | 7.0                        | 36.0                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)            | 23.3            | 38.3                                      | 19.4                            | 4.8                        | 14.1                       |
|            | 菅野 (n=160)            | 18.8            | 28.1                                      | 26.3                            | 11.3                       | 15.6                       |
|            | 土屋原 (n=82)            | 15.9            | 34.1                                      | 23.2                            | 8.5                        | 18.3                       |
|            | 桃保 (n=47)             | 17.0            | 34.0                                      | 29.8                            | 4.3                        | 14.9                       |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)         | 22.2            | 24.2                                      | 19.2                            | 10.1                       | 24.2                       |
|            | 夫婦のみ (n=208)          | 20.7            | 32.7                                      | 23.1                            | 7.2                        | 16.3                       |
|            | 2世代が同居 (親と子) (n=158)  | 19.0            | 38.6                                      | 24.7                            | 7.0                        | 10.8                       |
|            | 3世代が同居 (親と子と孫) (n=35) | 8.6             | 51.4                                      | 22.9                            | 2.9                        | 14.3                       |

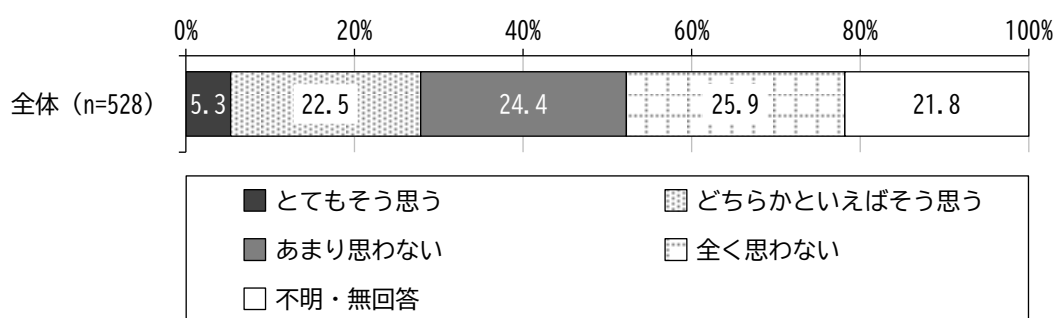
④現在の村内交通で不便を感じていないので、今のままで良い

「全く思わない」が25.9%と最も高く、次いで「あまり思わない」が24.4%、「どちらかといえばそう思う」が22.5%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代、40歳代では「あまり思わない」「全く思わない」、30歳代、50歳代では「全く思わない」、60歳代以上では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

地域別でみると、神末では「どちらかといえばそう思う」、桃俣では「あまり思わない」、その他の地域では「全く思わない」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「全く思わない」、夫婦のみでは「どちらかといえばそう思う」、2世代が同居では「あまり思わない」、3世代が同居では「あまり思わない」「全く思わない」が最も高くなっています。



| 単位：%       |                      | とても<br>そう<br>思う | そ<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば | あ<br>ま<br>り<br>思<br>わ<br>な<br>い | 全<br>く<br>思<br>わ<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|------------|----------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=528) |                      | 5.3             | 22.5                                      | 24.4                            | 25.9                       | 21.8                       |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21)     | 14.3            | 14.3                                      | 28.6                            | 28.6                       | 14.3                       |
|            | 30歳代 (n=27)          | 7.4             | 25.9                                      | 25.9                            | 33.3                       | 7.4                        |
|            | 40歳代 (n=31)          | 6.5             | 16.1                                      | 35.5                            | 35.5                       | 6.5                        |
|            | 50歳代 (n=64)          | 1.6             | 14.1                                      | 31.3                            | 45.3                       | 7.8                        |
|            | 60歳代 (n=115)         | 5.2             | 28.7                                      | 27.8                            | 24.3                       | 13.9                       |
|            | 70歳代 (n=176)         | 5.1             | 25.6                                      | 24.4                            | 21.0                       | 23.9                       |
|            | 80歳以上 (n=86)         | 5.8             | 19.8                                      | 10.5                            | 16.3                       | 47.7                       |
| 地域別        | 神末 (n=227)           | 5.7             | 30.0                                      | 23.3                            | 24.7                       | 16.3                       |
|            | 菅野 (n=160)           | 4.4             | 18.8                                      | 26.3                            | 29.4                       | 21.3                       |
|            | 土屋原 (n=82)           | 7.3             | 11.0                                      | 22.0                            | 26.8                       | 32.9                       |
|            | 桃俣 (n=47)            | 4.3             | 25.5                                      | 29.8                            | 17.0                       | 23.4                       |
| 家族構成別      | ひとり暮らし (n=99)        | 3.0             | 20.2                                      | 16.2                            | 27.3                       | 33.3                       |
|            | 夫婦のみ (n=208)         | 5.8             | 27.4                                      | 20.7                            | 24.0                       | 22.1                       |
|            | 2世代が同居（親と子） (n=158)  | 7.0             | 20.9                                      | 34.2                            | 24.1                       | 13.9                       |
|            | 3世代が同居（親と子と孫） (n=35) | 2.9             | 14.3                                      | 31.4                            | 31.4                       | 20.0                       |

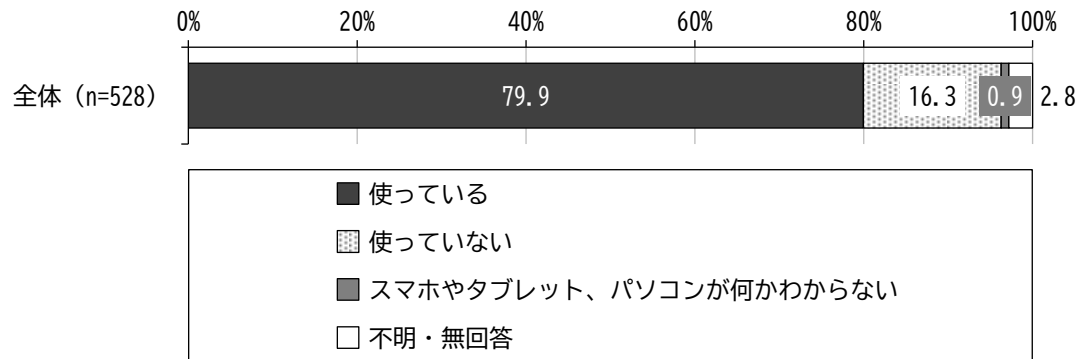


問 23-1 あなたは、スマートフォン（スマホ）やタブレット、パソコンを使っていますか。

【○は1つだけ】

「使っている」が 79.9%と最も高く、次いで「使っていない」が 16.3%、「スマホやタブレット、パソコンが何かわからない」が 0.9%となっています。

年代別でみると、80 歳以上では「使っていない」、その他の年代では「使っている」が最も高くなっており、「使っていない」は年代が上がるにつれて高くなっています。



| 単位：％        |                 | 使<br>っ<br>て<br>い<br>る | 使<br>っ<br>て<br>い<br>な<br>い | ソ<br>ス<br>マ<br>ホ<br>が<br>や<br>何<br>タ<br>ブ<br>レ<br>ッ<br>ト<br>、<br>パ<br>ソ<br>コ<br>ン<br>が<br>何<br>か<br>わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|-----------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 全体（n=528）   |                 | 79.9                  | 16.3                       | 0.9                                                                                                                       | 2.8                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代（n=21） | 100.0                 | 0.0                        | 0.0                                                                                                                       | 0.0                        |
|             | 30歳代（n=27）      | 96.3                  | 0.0                        | 0.0                                                                                                                       | 3.7                        |
|             | 40歳代（n=31）      | 100.0                 | 0.0                        | 0.0                                                                                                                       | 0.0                        |
|             | 50歳代（n=64）      | 95.3                  | 4.7                        | 0.0                                                                                                                       | 0.0                        |
|             | 60歳代（n=115）     | 93.9                  | 6.1                        | 0.0                                                                                                                       | 0.0                        |
|             | 70歳代（n=176）     | 75.6                  | 19.3                       | 1.7                                                                                                                       | 3.4                        |
|             | 80歳以上（n=86）     | 41.9                  | 47.7                       | 2.3                                                                                                                       | 8.1                        |

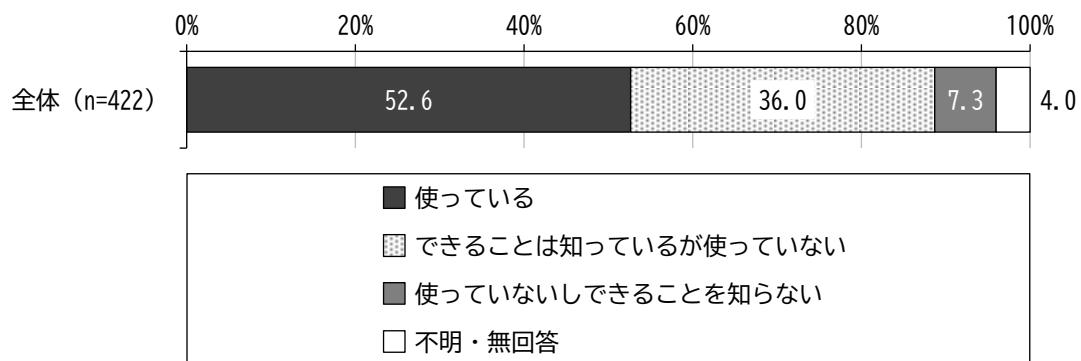
問 23-1 で「使っている」と答えた方

問 23-2 スマホやタブレット、パソコンで次の機能を使っていますか。【それぞれ1つに○】

①インターネットでの買い物（ネット通販）や公共料金の支払い

「使っている」が52.6%と最も高く、次いで「できることは知っているが使っていない」が36.0%、「使っていないしできることを知らない」が7.3%となっています。

年代別でみると、70歳代以上では「できることは知っているが使っていない」、その他の年代では「使っている」が最も高くなっています。また、「できることは知っているが使っていない」「使っていないしできることを知らない」は40歳代以上では年代が上がるにつれて高くなっています。

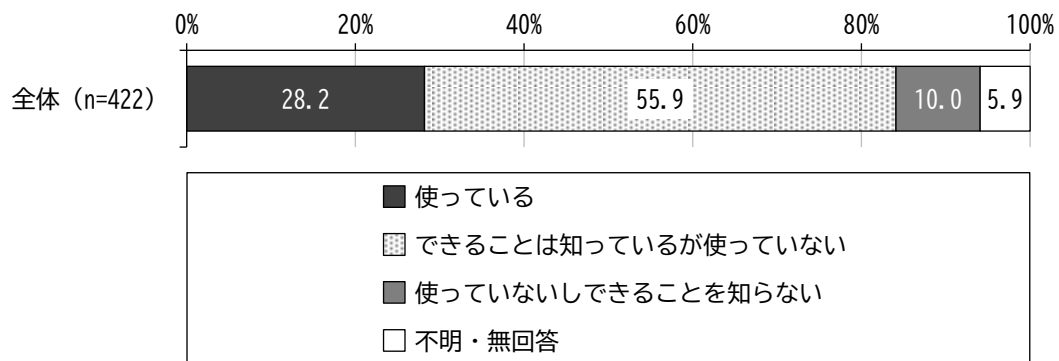


| 単位：%        |                 | 使<br>っ<br>て<br>い<br>る | が<br>で<br>き<br>っ<br>て<br>い<br>な<br>い<br>知<br>っ<br>て<br>い<br>る | と<br>使<br>っ<br>て<br>い<br>な<br>い<br>し<br>で<br>き<br>る<br>こ | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|-----------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------|
| 全体（n=422）   |                 | 52.6                  | 36.0                                                          | 7.3                                                      | 4.0                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代（n=21） | 90.5                  | 4.8                                                           | 4.8                                                      | 0.0                        |
|             | 30歳代（n=26）      | 100.0                 | 0.0                                                           | 0.0                                                      | 0.0                        |
|             | 40歳代（n=31）      | 87.1                  | 12.9                                                          | 0.0                                                      | 0.0                        |
|             | 50歳代（n=61）      | 78.7                  | 19.7                                                          | 1.6                                                      | 0.0                        |
|             | 60歳代（n=108）     | 49.1                  | 44.4                                                          | 5.6                                                      | 0.9                        |
|             | 70歳代（n=133）     | 33.8                  | 48.9                                                          | 10.5                                                     | 6.8                        |
|             | 80歳以上（n=36）     | 5.6                   | 55.6                                                          | 22.2                                                     | 16.7                       |

## ②レストランや美容室などお店の予約

「できることは知っているが使ってない」が55.9%と最も高く、次いで「使っている」が28.2%、「使っていないしできることを知らない」が10.0%となっています。

年代別でみると、60歳代以上では「できることは知っているが使ってない」、その他の年代では「使っている」が最も高くなっています。また、「使っていないしできることを知らない」は50歳代以上では年代が上がるにつれて高くなっています。

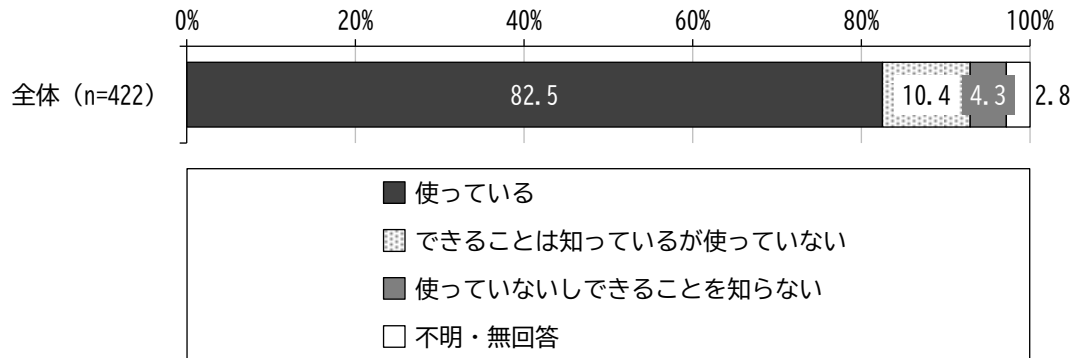


| 単位：%        |                  | 使<br>っ<br>て<br>い<br>る | が<br>で<br>き<br>る<br>こ<br>と<br>は<br>知<br>っ<br>て<br>い<br>る | と<br>使<br>っ<br>て<br>い<br>ない<br>し<br>で<br>き<br>る<br>こ | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=422)  |                  | 28.2                  | 55.9                                                     | 10.0                                                 | 5.9                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代 (n=21) | 76.2                  | 19.0                                                     | 4.8                                                  | 0.0                        |
|             | 30歳代 (n=26)      | 65.4                  | 26.9                                                     | 3.8                                                  | 3.8                        |
|             | 40歳代 (n=31)      | 58.1                  | 41.9                                                     | 0.0                                                  | 0.0                        |
|             | 50歳代 (n=61)      | 50.8                  | 45.9                                                     | 3.3                                                  | 0.0                        |
|             | 60歳代 (n=108)     | 18.5                  | 70.4                                                     | 10.2                                                 | 0.9                        |
|             | 70歳代 (n=133)     | 11.3                  | 63.9                                                     | 15.0                                                 | 9.8                        |
|             | 80歳以上 (n=36)     | 5.6                   | 52.8                                                     | 19.4                                                 | 22.2                       |

### ③メールや LINE、SNS を使った電話以外での人とのやりとり

「使っている」が82.5%と最も高く、次いで「できることは知っているが使っていない」が10.4%、「使っていないしできることを知らない」が4.3%となっています。

年代別でみると、すべての年代で「使っている」が最も高くなっています。また、「できることは知っているが使っていない」は40歳代以上では年代が上がるにつれて高くなっています。

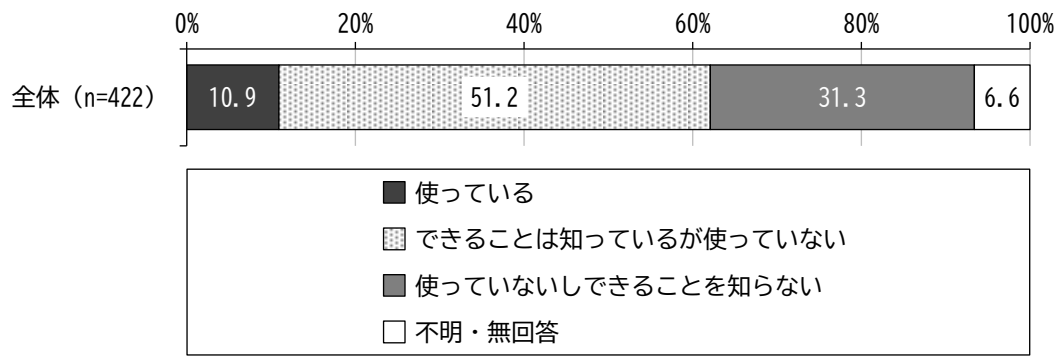


| 単位：%        |                  | 使<br>っ<br>て<br>い<br>る | が<br>で<br>き<br>る<br>こ<br>と<br>は<br>知<br>っ<br>て<br>い<br>る | と<br>使<br>っ<br>て<br>い<br>ない<br>し<br>で<br>き<br>る<br>こ<br>と<br>を<br>知<br>ら<br>ない | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 全体 (n=422)  |                  | 82.5                  | 10.4                                                     | 4.3                                                                            | 2.8                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代 (n=21) | 100.0                 | 0.0                                                      | 0.0                                                                            | 0.0                        |
|             | 30歳代 (n=26)      | 96.2                  | 3.8                                                      | 0.0                                                                            | 0.0                        |
|             | 40歳代 (n=31)      | 96.8                  | 3.2                                                      | 0.0                                                                            | 0.0                        |
|             | 50歳代 (n=61)      | 93.4                  | 3.3                                                      | 1.6                                                                            | 1.6                        |
|             | 60歳代 (n=108)     | 88.9                  | 7.4                                                      | 3.7                                                                            | 0.0                        |
|             | 70歳代 (n=133)     | 73.7                  | 18.8                                                     | 4.5                                                                            | 3.0                        |
|             | 80歳以上 (n=36)     | 47.2                  | 19.4                                                     | 19.4                                                                           | 13.9                       |

④AI(人工知能)やアプリを使った仕事や事務作業の効率化

「できることは知っているが使っていない」が51.2%と最も高く、次いで「使っていないしできることを知らない」が31.3%、「使っている」が10.9%となっています。

年代別でみると、10歳代・20歳代では「使っている」「できることは知っているが使っていない」、70歳代以上では「使っていないしできることを知らない」、その他の年代では「できることは知っているが使っていない」が最も高くなっています。



| 単位：％        |                 | 使<br>っ<br>て<br>い<br>る | が<br>で<br>き<br>る<br>こ<br>と<br>は<br>知<br>っ<br>て<br>い<br>る | と<br>使<br>っ<br>て<br>い<br>な<br>い<br>し<br>で<br>き<br>る<br>こ<br>と<br>を<br>知<br>ら<br>な<br>い | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|-------------|-----------------|-----------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 全体（n=422）   |                 | 10.9                  | 51.2                                                     | 31.3                                                                                   | 6.6                        |
| 年<br>代<br>別 | 10歳代・20歳代（n=21） | 42.9                  | 42.9                                                     | 14.3                                                                                   | 0.0                        |
|             | 30歳代（n=26）      | 34.6                  | 53.8                                                     | 7.7                                                                                    | 3.8                        |
|             | 40歳代（n=31）      | 16.1                  | 71.0                                                     | 12.9                                                                                   | 0.0                        |
|             | 50歳代（n=61）      | 13.1                  | 67.2                                                     | 18.0                                                                                   | 1.6                        |
|             | 60歳代（n=108）     | 8.3                   | 59.3                                                     | 31.5                                                                                   | 0.9                        |
|             | 70歳代（n=133）     | 4.5                   | 37.6                                                     | 46.6                                                                                   | 11.3                       |
|             | 80歳以上（n=36）     | 0.0                   | 33.3                                                     | 41.7                                                                                   | 25.0                       |

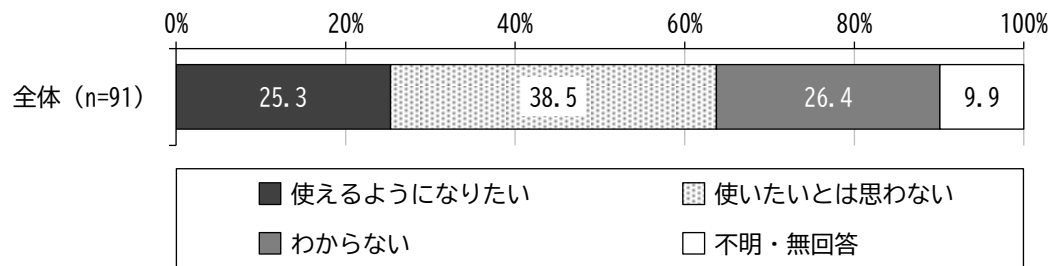
問 23-1 で「使っていない」「スマホやタブレット、パソコンが何かわからない」と答えた方

問 23-3 特にスマホやタブレットは電話以外にも様々な機能を備え、携帯電話に代わり全世界で普及しています。あなたは、スマホやタブレットを使えるようになりたいですか。

【○は1つだけ】

「使いたいとは思わない」が 38.5%と最も高く、次いで「わからない」が 26.4%、「使えるようになりたい」が 25.3%となっています。

年代別でみると、70 歳代以上では「使いたいとは思わない」が最も高くなっており、「使えるようになりたい」は 2 割台となっています。



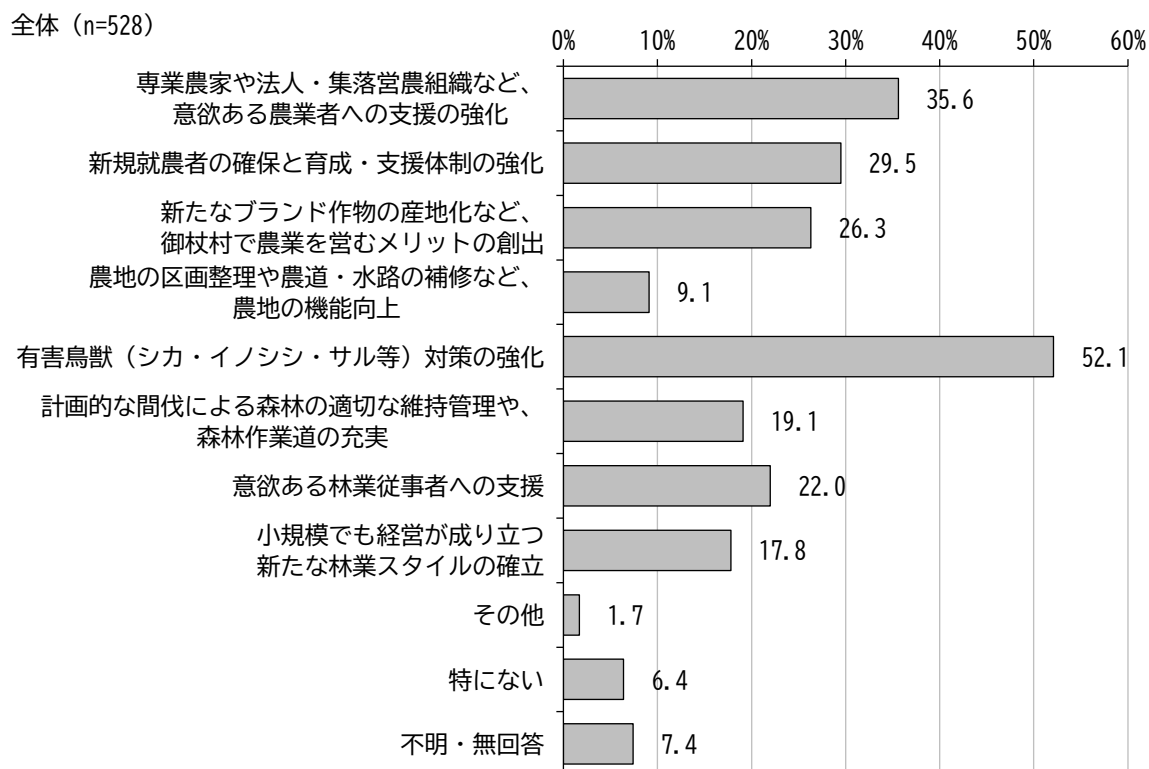
| 単位：%      |              | 使えるようになりたい | 使いたいとは思わない | わからない | 不明・無回答 |
|-----------|--------------|------------|------------|-------|--------|
| 全体 (n=91) |              | 25.3       | 38.5       | 26.4  | 9.9    |
| 年代別       | 50歳代 (n=3)   | 100.0      | 0.0        | 0.0   | 0.0    |
|           | 60歳代 (n=7)   | 14.3       | 28.6       | 57.1  | 0.0    |
|           | 70歳代 (n=37)  | 21.6       | 51.4       | 24.3  | 2.7    |
|           | 80歳以上 (n=43) | 23.3       | 32.6       | 25.6  | 18.6   |

※40 歳代以下は、n=0 のため省略。

## (5) 産業振興について

問 24 あなたは、御杖村の農林業を振興するためには、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇は3つまで】

「有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化」が52.1%と最も高く、次いで「専業農家や法人・集落営農組織など、意欲ある農業者への支援の強化」が35.6%、「新規就農者の確保と育成・支援体制の強化」が29.5%、「新規就農者の確保と育成・支援体制の強化」が29.5%となっています。



### 【その他回答】

- ・安心・安全な食材作り
- ・今現在有る物を生かした農林業の推進、村内従事者への手助け補助、お金
- ・会社、法人を設立し、統一感を持って業務をする団体の作成
- ・作業の効率化、省力化への支援強化
- ・森林税の使い方について、もっと詳しくして欲しい
- ・そもそも論になりますが、村内で生まれた方のほとんどの家に田畑があると思います。そこへ向けたUターン人材支援など必要かと思います
- ・村外から意欲のある若者を受け入れる
- ・農業なら有機農業や自然栽培・林業なら自伐林業など特色ある農林業を進めていく
- ・林業の活性化

性別でみると、男女ともに「有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化」が最も高くなっています。

年代別でみると、10 歳代・20 歳代では「新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出」、40 歳代では「専業農家や法人・集落営農組織など、意欲ある農業者への支援の強化」、その他の年代では「有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化」が最も高くなっています。

地域別でみると、すべての地域で「有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化」が最も高くなっています。

職業別でみると、農業、公務員・団体職員では「専業農家や法人・集落営農組織など、意欲ある農業者への支援の強化」、学生では「新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出」、その他の職業では「有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化」が最も高くなっています。

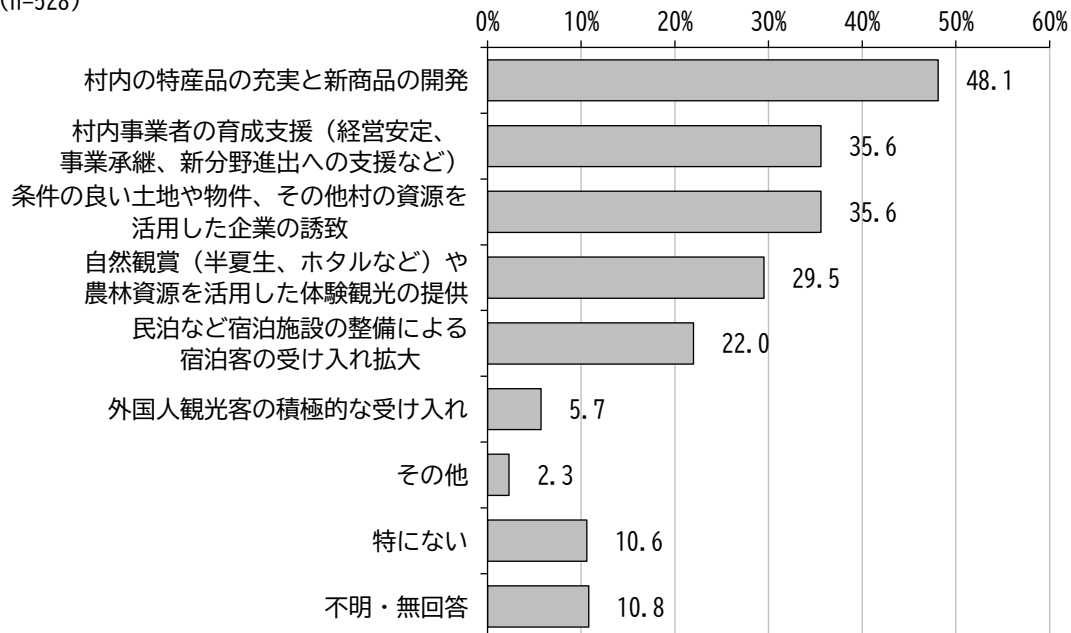
| 単位：%      |                 | 有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル等）対策の強化 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 専業農家や法人・集落営農組織など、意欲ある農業者への支援の強化 | 新規就農者の確保と育成・支援体制の強化 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | 新たなブランド作物の産地化など、御杖村で農業を営むメリットの創出 | その他  | 特になし | 不明・無回答 |
|-----------|-----------------|------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------|------|--------|
| 全体（n=528） |                 | 35.6                   | 29.5                             | 26.3                            | 9.1                 | 52.1                             | 19.1                             | 22.0                             | 17.8                             | 1.7                              | 6.4                              | 7.4  |      |        |
| 性別        | 男性（n=224）       | 38.8                   | 33.9                             | 32.1                            | 10.7                | 45.1                             | 21.4                             | 24.6                             | 19.2                             | 1.8                              | 6.7                              | 4.5  |      |        |
|           | 女性（n=287）       | 33.8                   | 25.8                             | 22.3                            | 7.0                 | 57.5                             | 16.7                             | 20.9                             | 17.1                             | 1.4                              | 6.6                              | 9.4  |      |        |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21） | 23.8                   | 23.8                             | 52.4                            | 4.8                 | 28.6                             | 14.3                             | 33.3                             | 19.0                             | 0.0                              | 9.5                              | 9.5  |      |        |
|           | 30歳代（n=27）      | 25.9                   | 25.9                             | 25.9                            | 11.1                | 48.1                             | 11.1                             | 29.6                             | 18.5                             | 3.7                              | 7.4                              | 7.4  |      |        |
|           | 40歳代（n=31）      | 51.6                   | 35.5                             | 45.2                            | 9.7                 | 29.0                             | 25.8                             | 35.5                             | 16.1                             | 3.2                              | 12.9                             | 0.0  |      |        |
|           | 50歳代（n=64）      | 35.9                   | 40.6                             | 43.8                            | 18.8                | 45.3                             | 15.6                             | 23.4                             | 17.2                             | 3.1                              | 1.6                              | 3.1  |      |        |
|           | 60歳代（n=115）     | 40.0                   | 35.7                             | 28.7                            | 9.6                 | 53.9                             | 20.0                             | 17.4                             | 21.7                             | 0.0                              | 6.1                              | 1.7  |      |        |
|           | 70歳代（n=176）     | 36.4                   | 24.4                             | 20.5                            | 7.4                 | 60.8                             | 21.6                             | 23.9                             | 19.3                             | 1.7                              | 5.7                              | 7.4  |      |        |
|           | 80歳以上（n=86）     | 29.1                   | 24.4                             | 9.3                             | 4.7                 | 52.3                             | 15.1                             | 14.0                             | 11.6                             | 1.2                              | 8.1                              | 19.8 |      |        |
| 地域別       | 神末（n=227）       | 38.3                   | 33.0                             | 26.0                            | 7.0                 | 55.9                             | 13.7                             | 23.8                             | 19.4                             | 0.4                              | 6.2                              | 4.4  |      |        |
|           | 菅野（n=160）       | 37.5                   | 26.9                             | 25.0                            | 10.0                | 50.6                             | 21.9                             | 19.4                             | 14.4                             | 1.9                              | 8.1                              | 8.1  |      |        |
|           | 土屋原（n=82）       | 26.8                   | 25.6                             | 31.7                            | 8.5                 | 48.8                             | 25.6                             | 23.2                             | 18.3                             | 2.4                              | 7.3                              | 7.3  |      |        |
|           | 桃俣（n=47）        | 34.0                   | 27.7                             | 25.5                            | 12.8                | 46.8                             | 21.3                             | 21.3                             | 23.4                             | 4.3                              | 2.1                              | 17.0 |      |        |
| 職業別       | 農業（n=38）        | 44.7                   | 26.3                             | 10.5                            | 18.4                | 31.6                             | 28.9                             | 7.9                              | 10.5                             | 5.3                              | 7.9                              | 13.2 |      |        |
|           | 林業（n=6）         | 33.3                   | 0.0                              | 33.3                            | 16.7                | 50.0                             | 33.3                             | 16.7                             | 0.0                              | 0.0                              | 16.7                             | 16.7 |      |        |
|           | 製造業（n=24）       | 41.7                   | 29.2                             | 37.5                            | 8.3                 | 45.8                             | 16.7                             | 33.3                             | 12.5                             | 4.2                              | 4.2                              | 4.2  |      |        |
|           | 建設業（n=16）       | 50.0                   | 25.0                             | 37.5                            | 18.8                | 62.5                             | 18.8                             | 18.8                             | 6.3                              | 0.0                              | 6.3                              | 0.0  |      |        |
|           | 商業・サービス業（n=68）  | 32.4                   | 19.1                             | 41.2                            | 8.8                 | 54.4                             | 17.6                             | 29.4                             | 13.2                             | 0.0                              | 8.8                              | 4.4  |      |        |
|           | 公務員・団体職員（n=49）  | 53.1                   | 30.6                             | 36.7                            | 10.2                | 26.5                             | 20.4                             | 24.5                             | 22.4                             | 2.0                              | 4.1                              | 6.1  |      |        |
|           | 学生（n=9）         | 11.1                   | 33.3                             | 55.6                            | 0.0                 | 33.3                             | 11.1                             | 44.4                             | 11.1                             | 11.1                             | 0.0                              | 11.1 |      |        |
|           | 主夫・主婦（n=117）    | 33.3                   | 29.9                             | 20.5                            | 6.8                 | 64.1                             | 14.5                             | 23.1                             | 19.7                             | 0.9                              | 2.6                              | 10.3 |      |        |
|           | 無職（n=131）       | 29.8                   | 29.8                             | 17.6                            | 5.3                 | 56.5                             | 19.1                             | 21.4                             | 16.8                             | 0.8                              | 9.9                              | 7.6  |      |        |



問 25 あなたは、御杖村の商工業・観光産業を振興するためには、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

「村内の特産品の充実と新商品の開発」が 48.1%と最も高く、次いで「村内事業者の育成支援（経営安定、事業承継、新分野進出への支援など）」「条件の良い土地や物件、その他村の資源を活用した企業の誘致」が 35.6%となっています。

全体（n=528）



#### 【その他回答】

- ・今までにある道の駅、旅行村、三季館、三峰山観光業への拡充しての取り組みが税収アップと雇用創出の近道だと思います
- ・御杖村の観光産業振興は無理と思う
- ・金を払ってでも来たくなる施設や観光地
- ・企業や大学等と連携した積極的なPR
- ・この村は外部からの事業者に対して排他的、村長の独断的判断に疑問
- ・ゴミ拾いや水・森林保全、草刈り
- ・ソーラーパネルの設置規制・国有林の雑木化
- ・村外からの観光客へのマナー、モラルの厳守（ゴミの持ち帰り、騒音、現地住民ファーストの考え方）
- ・村内各店舗での取り扱い商品（目玉商品）のチラシ作成支援
- ・販売経路拡大、確保に向けた取り組み

性別でみると、男女ともに「村内の特産品の充実と新商品の開発」が最も高くなっています。

年代別でみると、30歳代では「村内事業者の育成支援（経営安定、事業承継、新分野進出への支援など）」、40歳代では「民泊など宿泊施設の整備による宿泊客の受け入れ拡大」、その他の年代では「村内の特産品の充実と新商品の開発」が最も高くなっています。

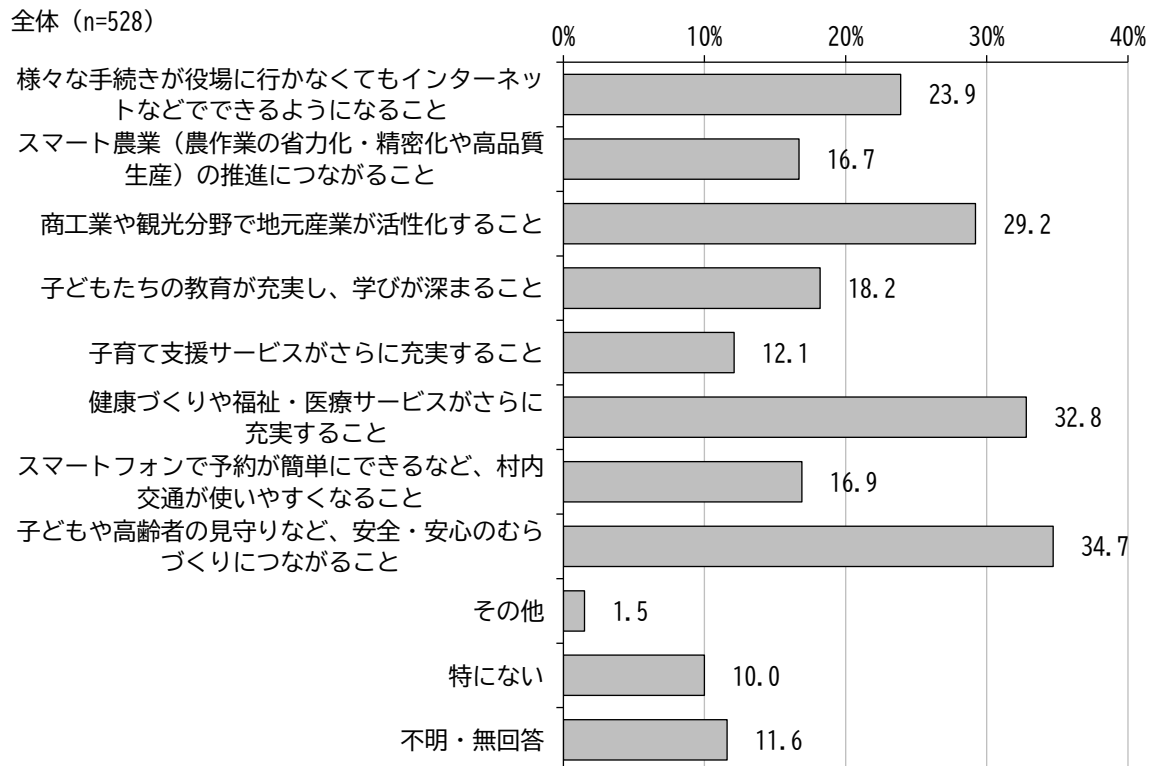
地域別でみると、すべての地域で「村内の特産品の充実と新商品の開発」が最も高くなっています。

職業別でみると、建設業では「村内の特産品の充実と新商品の開発」「村内事業者の育成支援（経営安定、事業承継、新分野進出への支援など）」、主夫・主婦では「条件の良い土地や物件、その他村の資源を活用した企業の誘致」、その他の職業では「村内の特産品の充実と新商品の開発」が最も高くなっています。

| 単位：％      |                 | 村内の特産品の充実と新商品の開発 | 村内事業者の育成支援（経営安定、事業承継、新分野進出への支援など） | 条件の良い土地や物件、その他村の資源を活用した企業の誘致 | 自然観賞（半夏生、ホタルなど）や農林資源を活用した体験観光の提供 | 民泊など宿泊施設の整備による宿泊客の受け入れ拡大 | 外国人観光客の積極的な受け入れ | その他  | 特にない | 不明・無回答 |
|-----------|-----------------|------------------|-----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------|-----------------|------|------|--------|
| 全体（n=528） |                 | 48.1             | 35.6                              | 35.6                         | 29.5                             | 22.0                     | 5.7             | 2.3  | 10.6 | 10.8   |
| 性別        | 男性（n=224）       | 55.4             | 37.9                              | 35.3                         | 26.8                             | 27.7                     | 7.6             | 2.7  | 11.6 | 6.7    |
|           | 女性（n=287）       | 42.2             | 33.8                              | 36.2                         | 31.7                             | 18.5                     | 4.5             | 2.1  | 10.1 | 13.6   |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21） | 71.4             | 19.0                              | 28.6                         | 42.9                             | 28.6                     | 23.8            | 0.0  | 9.5  | 9.5    |
|           | 30歳代（n=27）      | 40.7             | 48.1                              | 25.9                         | 37.0                             | 25.9                     | 3.7             | 7.4  | 11.1 | 0.0    |
|           | 40歳代（n=31）      | 48.4             | 38.7                              | 35.5                         | 45.2                             | 51.6                     | 9.7             | 6.5  | 9.7  | 3.2    |
|           | 50歳代（n=64）      | 62.5             | 42.2                              | 43.8                         | 35.9                             | 21.9                     | 10.9            | 0.0  | 6.3  | 3.1    |
|           | 60歳代（n=115）     | 47.8             | 47.0                              | 37.4                         | 30.4                             | 20.0                     | 5.2             | 2.6  | 12.2 | 2.6    |
|           | 70歳代（n=176）     | 47.2             | 33.0                              | 39.2                         | 25.0                             | 19.3                     | 4.0             | 2.3  | 11.4 | 11.9   |
|           | 80歳以上（n=86）     | 37.2             | 20.9                              | 25.6                         | 23.3                             | 18.6                     | 1.2             | 1.2  | 11.6 | 29.1   |
| 地域別       | 神末（n=227）       | 52.4             | 35.7                              | 38.3                         | 31.3                             | 18.5                     | 4.4             | 2.6  | 11.0 | 8.8    |
|           | 菅野（n=160）       | 47.5             | 35.6                              | 33.1                         | 29.4                             | 25.6                     | 7.5             | 3.1  | 11.3 | 11.3   |
|           | 土屋原（n=82）       | 42.7             | 36.6                              | 34.1                         | 24.4                             | 23.2                     | 7.3             | 1.2  | 13.4 | 9.8    |
|           | 桃俣（n=47）        | 42.6             | 36.2                              | 31.9                         | 34.0                             | 27.7                     | 4.3             | 0.0  | 4.3  | 14.9   |
| 職業別       | 農業（n=38）        | 31.6             | 21.1                              | 18.4                         | 18.4                             | 10.5                     | 2.6             | 5.3  | 21.1 | 26.3   |
|           | 林業（n=6）         | 50.0             | 0.0                               | 33.3                         | 16.7                             | 16.7                     | 0.0             | 16.7 | 16.7 | 16.7   |
|           | 製造業（n=24）       | 58.3             | 41.7                              | 20.8                         | 41.7                             | 25.0                     | 12.5            | 0.0  | 8.3  | 4.2    |
|           | 建設業（n=16）       | 56.3             | 56.3                              | 18.8                         | 43.8                             | 31.3                     | 6.3             | 0.0  | 6.3  | 6.3    |
|           | 商業・サービス業（n=68）  | 58.8             | 39.7                              | 38.2                         | 27.9                             | 22.1                     | 8.8             | 0.0  | 13.2 | 2.9    |
|           | 公務員・団体職員（n=49）  | 51.0             | 49.0                              | 38.8                         | 38.8                             | 36.7                     | 8.2             | 4.1  | 2.0  | 4.1    |
|           | 学生（n=9）         | 66.7             | 11.1                              | 22.2                         | 55.6                             | 22.2                     | 44.4            | 0.0  | 0.0  | 11.1   |
|           | 主夫・主婦（n=117）    | 40.2             | 30.8                              | 43.6                         | 30.8                             | 22.2                     | 4.3             | 0.0  | 6.0  | 13.7   |
|           | 無職（n=131）       | 45.0             | 32.1                              | 36.6                         | 23.7                             | 19.1                     | 3.1             | 3.1  | 17.6 | 13.7   |

問 26 現在、全国的に情報通信の技術を活用して、様々な分野でデジタル化が進んでいます。デジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。【〇は3つまで】

「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のむらづくりにつながること」が 34.7%と最も高く、次いで「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」が 32.8%、「商工業や観光分野で地元産業が活性化すること」が 29.2%となっています。



#### 【その他回答】

- ・移住者・企業誘致の為の通信環境の整備
- ・雇用の促進、多様化
- ・診療所が予約出来ると良い
- ・デジタル化が全て良い事だとは思わない
- ・天気や交通情報の配信
- ・何でもデジタル化しないでほしい。アナログな部分を残すべき

性別でみると、男性では「様々な手続きが役場に行かなくてもインターネットなどですることになること」、女性では「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のむらづくりにつながること」が最も高くなっています。

年代別でみると、40歳代では「商工業や観光分野で地元産業が活性化すること」、60歳代、80歳以上では「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のむらづくりにつながること」、70歳代では「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」、その他の年代では「様々な手続きが役場に行かなくてもインターネットなどですることになること」が最も高くなっています。

地域別でみると、神末、菅野では「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のむらづくりにつながること」、土屋原、桃俣では「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」が最も高くなっています。

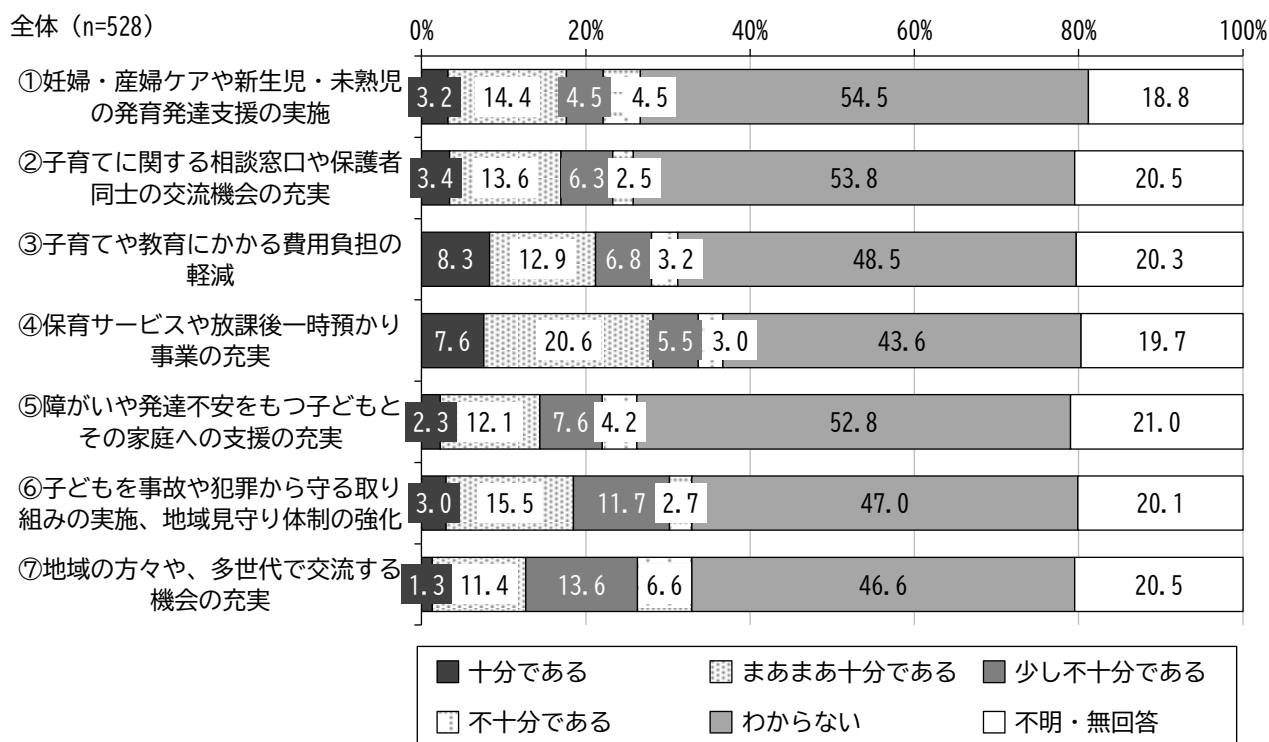
| 単位：％      |                 | 子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のむらづくりにつながる | スマートフォンで予約が簡単にできるなど、村内交通が使いやすい | 健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること | 子育て支援サービスがさらに充実すること | 子どもたちの教育が充実し、学びが深まる | 商工業や観光分野で地元産業が活性化 | スマート農業（農作業の省力化・精密化や高品質生産）の推進につながる | 様々な手続きが役場に行かなくてもインターネットなどですることになる |
|-----------|-----------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 全体（n=528） |                 | 34.7                           | 16.9                           | 32.8                      | 12.1                | 18.2                | 29.2              | 16.7                              | 23.9                              |
| 性別        | 男性（n=224）       | 29.9                           | 21.9                           | 31.7                      | 12.9                | 17.0                | 33.5              | 22.8                              | 33.9                              |
|           | 女性（n=287）       | 39.4                           | 12.5                           | 34.8                      | 11.8                | 19.2                | 26.1              | 12.2                              | 16.4                              |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21） | 14.3                           | 38.1                           | 19.0                      | 33.3                | 14.3                | 38.1              | 14.3                              | 52.4                              |
|           | 30歳代（n=27）      | 33.3                           | 14.8                           | 7.4                       | 18.5                | 40.7                | 11.1              | 14.8                              | 48.1                              |
|           | 40歳代（n=31）      | 38.7                           | 25.8                           | 29.0                      | 16.1                | 35.5                | 48.4              | 19.4                              | 35.5                              |
|           | 50歳代（n=64）      | 32.8                           | 23.4                           | 34.4                      | 12.5                | 21.9                | 32.8              | 20.3                              | 37.5                              |
|           | 60歳代（n=115）     | 39.1                           | 20.0                           | 30.4                      | 11.3                | 15.7                | 24.3              | 20.9                              | 27.0                              |
|           | 70歳代（n=176）     | 36.4                           | 12.5                           | 43.8                      | 8.0                 | 19.3                | 31.8              | 17.0                              | 15.3                              |
|           | 80歳以上（n=86）     | 32.6                           | 9.3                            | 27.9                      | 12.8                | 4.7                 | 25.6              | 8.1                               | 9.3                               |
| 地域別       | 神末（n=227）       | 37.4                           | 15.9                           | 32.6                      | 11.0                | 21.1                | 27.8              | 15.0                              | 25.6                              |
|           | 菅野（n=160）       | 36.3                           | 16.3                           | 32.5                      | 12.5                | 15.6                | 31.3              | 15.6                              | 23.1                              |
|           | 土屋原（n=82）       | 31.7                           | 22.0                           | 39.0                      | 11.0                | 13.4                | 32.9              | 19.5                              | 25.6                              |
|           | 桃俣（n=47）        | 25.5                           | 12.8                           | 29.8                      | 19.1                | 23.4                | 23.4              | 23.4                              | 19.1                              |

## (6) 子育て・教育について

問 27 あなたは、御杖村の子育て支援について、次のことをどう感じていますか。

【それぞれ1つに○】

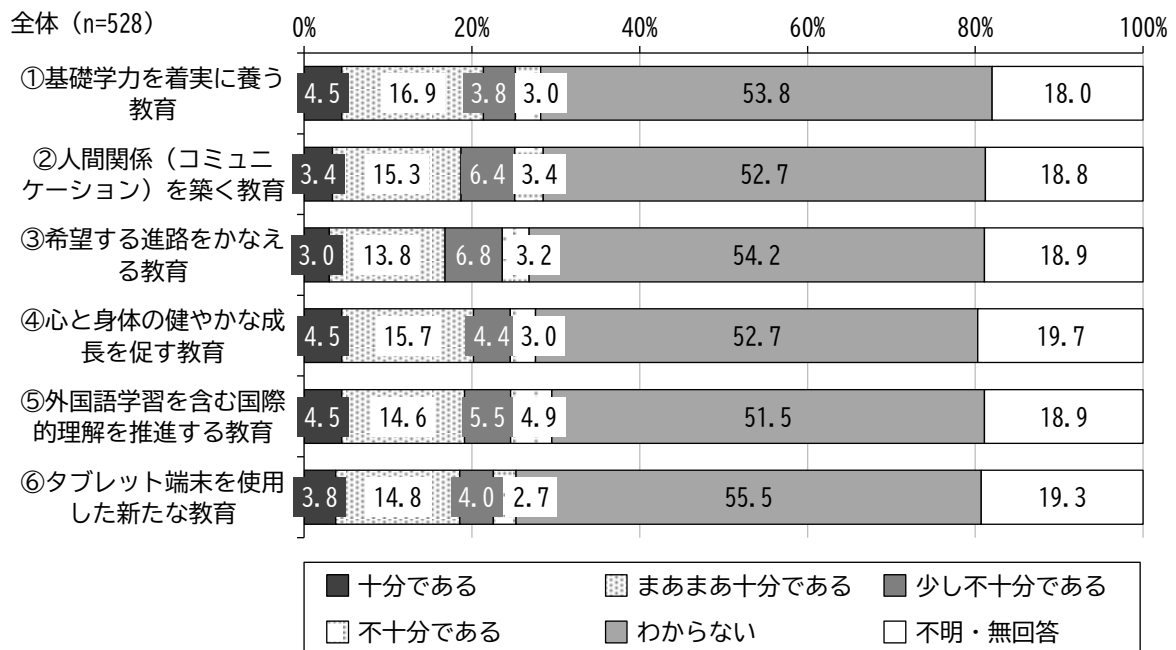
『十分』（「十分である」と「まあまあ十分である」の合計）は〔③子育てや教育にかかる費用負担の軽減〕〔④保育サービスや放課後一時預かり事業の充実〕で2割台と他の項目より高くなっています。一方、『不十分』（「不十分である」と「少し不十分である」の合計）は〔⑦地域の方々の、多世代で交流する機会の充実〕で2割台と他の項目より高くなっています。



問 28 あなたは、御杖村の小中学校の教育活動について、次のことをどう感じていますか。

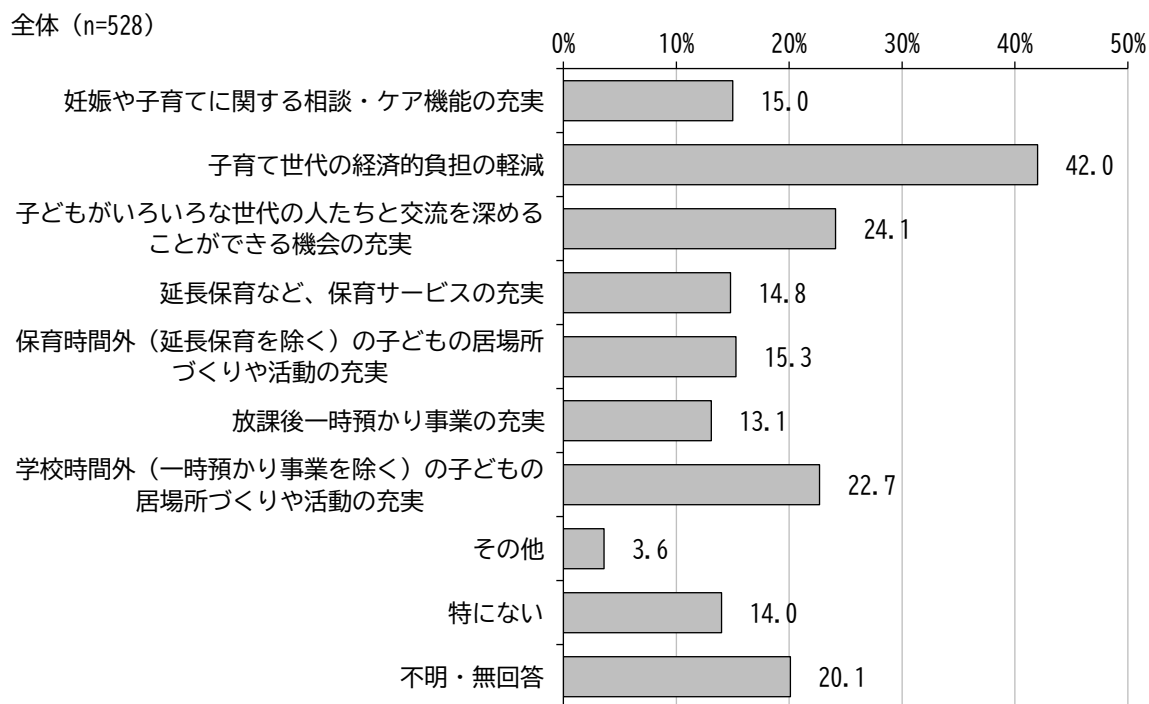
【それぞれ1つに○】

『十分』（「十分である」と「まあまあ十分である」の合計）は〔①基礎学力を着実に養う教育〕〔④心と身体の健やかな成長を促す教育〕で2割台と他の項目より高くなっています。一方、『不十分』（「不十分である」と「少し不十分である」の合計）は〔③希望する進路をかなえる教育〕〔⑤外国語学習を含む国際的理解を推進する教育〕で1割台と他の項目より高くなっています。



問 29 あなたは、御杖村での子育て・教育をより充実させるためには、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

「子育て世代の経済的負担の軽減」が 42.0%と最も高く、次いで「子どもがいろいろな世代の人たちと交流を深めることができる機会の充実」が 24.1%、「学校時間外（一時預かり事業を除く）の子どもの居場所づくりや活動の充実」が 22.7%となっています。



#### 【その他回答】

- ・外国語学習の時間はあるが活用出来るか疑問
- ・可能性をひろげる教育
- ・子供がいないのでわかりません
- ・保育士の増員
- ・有機栽培の野菜や米を使った給食の実施
- ・高校からの通学手段の確保
- ・A I や S N S など多くのツールは便利な物ではあってもリスクも抱えている。正しく使うことが大事であるし、その研修は子供たちに教えておかないと駄目だと思います
- ・子育て世代が暮らしやすくする環境作り、特に働く場所
- ・修学旅行などは海外へ行かせてやってはいいと思います。子供が少ないのだから
- ・塾通いの為の交通手段の整備
- ・そもそも子供が増えていこうにならないといけないと思う
- ・村内子育て世代の話、要望、不満を聞き、解決策を考えるべきでは！
- ・中学校卒業後の子ども及び家庭への支援
- ・発達支援専門職員の配置、図書館などの充実
- ・2人目、3人目を育てやすい環境作り。例：産前産後預かりの期間の延長
- ・学校に於ける教科学習、道徳教育の充実
- ・近隣市町村との合併による児童生徒の増加
- ・子供が身近に居ないので何もわかりません
- ・保育所小学校中学校一貫
- ・若い人がいない

性別・年代別でみると、すべての区分で「子育て世代の経済的負担の軽減」が最も高くなっています。また、子育て世代である 30 歳代では「子どもがいろいろな世代の人たちと交流を深めることができる機会の充実」、40 歳代、50 歳代では「学校時間外（一時預かり事業を除く）の子どもの居場所づくりや活動の充実」が次いで高くなっています。

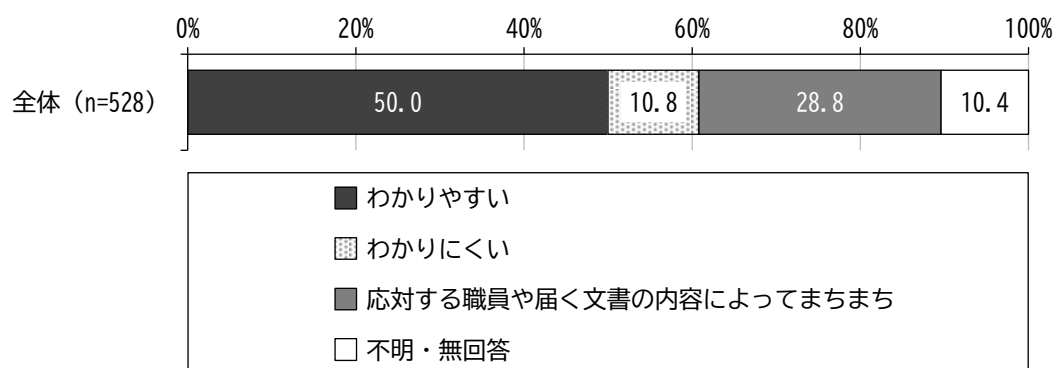
| 単位：％      |                 | 妊娠・出産機能の充実 | 子育て世代の経済的負担の軽減 | 子どもがいろいろな世代の人たちと交流を深めることができる機会の充実 | 延長保育など、保育サービスの充実 | の子ども（学校時間外・延長保育を除く）の居場所づくりや活動の充実 | 放課後一時預かり事業の充実 | 学校時間外（一時預かり事業を除く）の子ども（学校時間外・一時預かり事業を除く）の居場所づくりや活動の充実 | その他  | 特になし | 不明・無回答 |
|-----------|-----------------|------------|----------------|-----------------------------------|------------------|----------------------------------|---------------|------------------------------------------------------|------|------|--------|
| 全体（n=528） |                 | 15.0       | 42.0           | 24.1                              | 14.8             | 15.3                             | 13.1          | 22.7                                                 | 3.6  | 14.0 | 20.1   |
| 性別        | 男性（n=224）       | 17.0       | 48.2           | 25.0                              | 17.4             | 16.1                             | 13.4          | 25.4                                                 | 2.7  | 15.2 | 15.2   |
|           | 女性（n=287）       | 13.9       | 37.3           | 23.0                              | 12.5             | 15.0                             | 12.2          | 22.0                                                 | 4.2  | 13.2 | 23.3   |
| 年代別       | 10歳代・20歳代（n=21） | 28.6       | 66.7           | 19.0                              | 28.6             | 19.0                             | 19.0          | 33.3                                                 | 0.0  | 9.5  | 9.5    |
|           | 30歳代（n=27）      | 14.8       | 51.9           | 37.0                              | 14.8             | 18.5                             | 25.9          | 11.1                                                 | 7.4  | 11.1 | 3.7    |
|           | 40歳代（n=31）      | 12.9       | 54.8           | 29.0                              | 9.7              | 16.1                             | 19.4          | 32.3                                                 | 12.9 | 19.4 | 6.5    |
|           | 50歳代（n=64）      | 12.5       | 43.8           | 18.8                              | 20.3             | 25.0                             | 17.2          | 32.8                                                 | 6.3  | 14.1 | 7.8    |
|           | 60歳代（n=115）     | 15.7       | 44.3           | 20.9                              | 14.8             | 17.4                             | 11.3          | 30.4                                                 | 2.6  | 18.3 | 13.0   |
|           | 70歳代（n=176）     | 15.9       | 42.0           | 27.3                              | 14.2             | 14.2                             | 10.2          | 19.9                                                 | 2.8  | 12.5 | 23.9   |
|           | 80歳以上（n=86）     | 12.8       | 26.7           | 20.9                              | 11.6             | 7.0                              | 11.6          | 10.5                                                 | 0.0  | 11.6 | 40.7   |



## (7) 村の財政・むらづくりについて

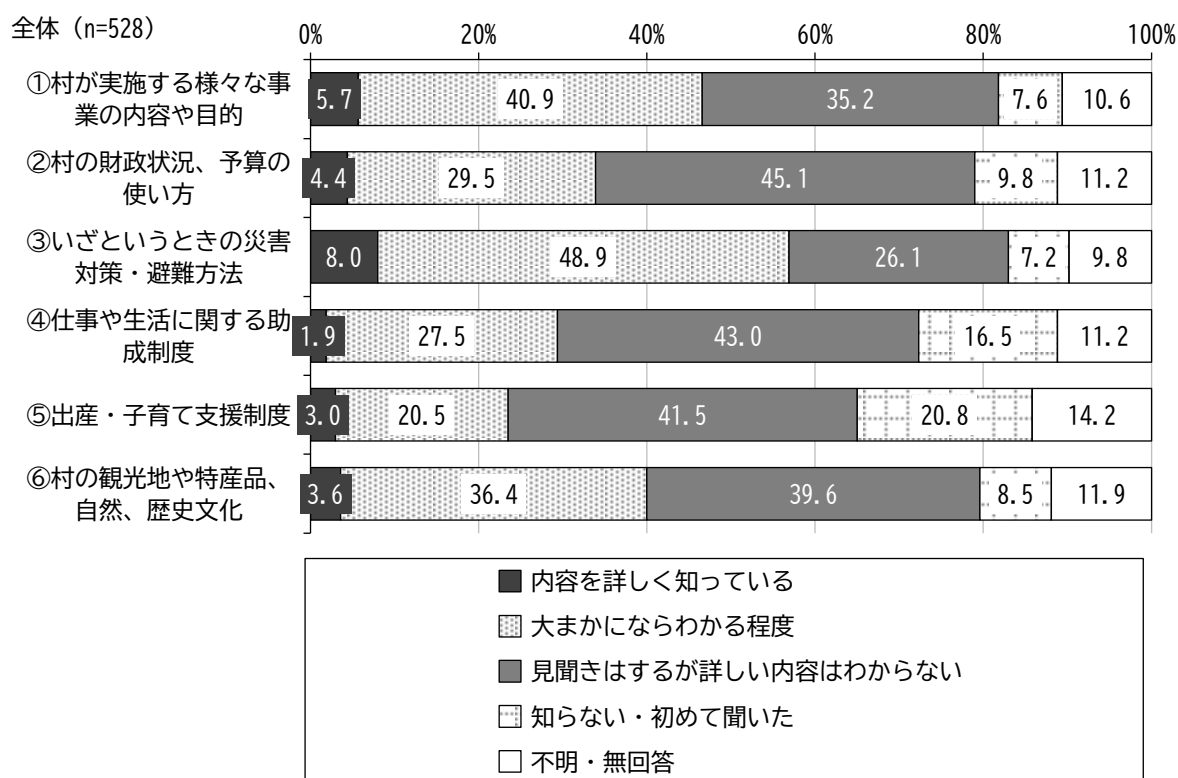
問 30 役場での手続きや、役場から届く案内文書はわかりやすいですか。【○は1つだけ】

「わかりやすい」が50.0%と最も高く、次いで「対応する職員や届く文書の内容によってまちまち」が28.8%、「わかりにくい」が10.8%となっています。



問 31 御杖村が実施する事業や財政状況について、村民の皆さまに広く知っていただけるように、広報誌やホームページなどでの広報周知に努めていますが、あなたは、次のことがどのくらいわかりますか。【それぞれ1つに○】

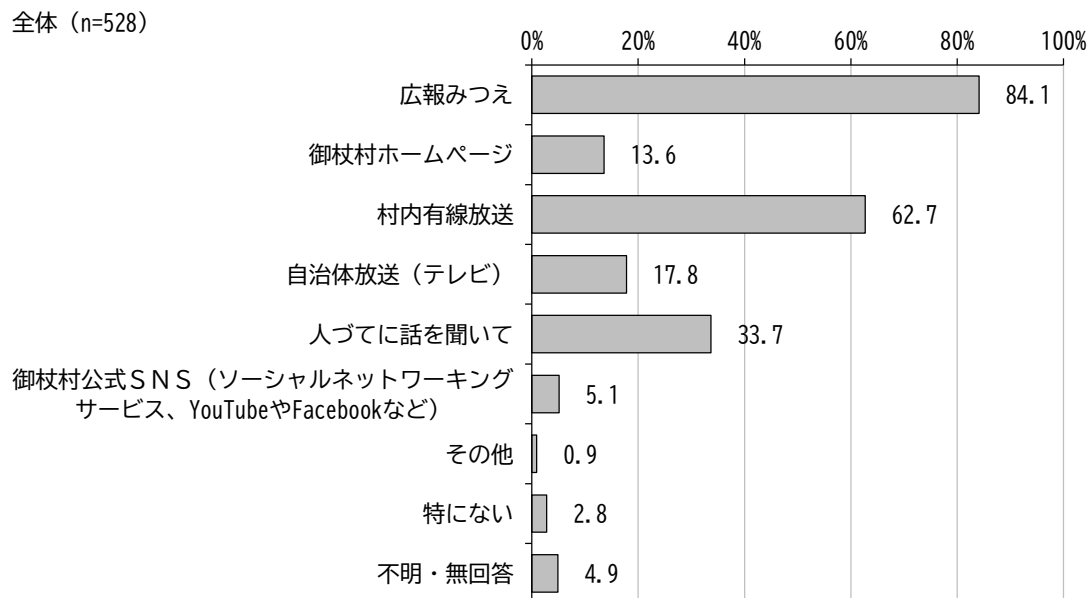
「大まかにならわかる程度」では〔①村が実施する様々な事業の内容や目的〕〔③いざというときの災害対策・避難方法〕が4割台と他の項目より高くなっています。一方、「知らない・初めて聞いた」では〔⑤出産・子育て支援制度〕が2割台と他の項目より高くなっています。



問 32 あなたは、御杖村に関する情報を主にどこから得ていますか。【○は3つまで】

「広報みつえ」が 84.1%と最も高く、次いで「村内有線放送」が 62.7%、「人づてに話を聞いて」が 33.7%となっています。

年代別でみると、10 歳代・20 歳代では「広報みつえ」「人づてに話を聞いて」、その他の年代では「広報みつえ」が最も高くなっています。また、おおむね年代が上がるほど、「村内有線放送」が高くなっています。



#### 【その他回答】

- ・筋トレや脳トレ等に行った時が多いです
- ・仕事
- ・自治体放送を上手に活用してほしい
- ・職場

| 単位: %      |                  | 広報みつえ | 御杖村ホームページ | 村内有線放送 | 自治体放送 (テレビ) | 人づてに話を聞いて | 御杖村公式SNS (ソーシャルネットワーキングサービス、YouTubeやFacebookなど) | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|------------|------------------|-------|-----------|--------|-------------|-----------|-------------------------------------------------|-----|------|--------|
| 全体 (n=528) |                  | 84.1  | 13.6      | 62.7   | 17.8        | 33.7      | 5.1                                             | 0.9 | 2.8  | 4.9    |
| 年代別        | 10歳代・20歳代 (n=21) | 47.6  | 23.8      | 33.3   | 0.0         | 47.6      | 19.0                                            | 0.0 | 4.8  | 4.8    |
|            | 30歳代 (n=27)      | 74.1  | 25.9      | 37.0   | 14.8        | 29.6      | 11.1                                            | 3.7 | 7.4  | 0.0    |
|            | 40歳代 (n=31)      | 77.4  | 38.7      | 41.9   | 3.2         | 41.9      | 22.6                                            | 0.0 | 6.5  | 0.0    |
|            | 50歳代 (n=64)      | 87.5  | 18.8      | 62.5   | 17.2        | 29.7      | 7.8                                             | 0.0 | 3.1  | 1.6    |
|            | 60歳代 (n=115)     | 87.8  | 9.6       | 69.6   | 21.7        | 33.0      | 1.7                                             | 0.9 | 2.6  | 4.3    |
|            | 70歳代 (n=176)     | 89.2  | 11.4      | 66.5   | 18.8        | 34.1      | 2.3                                             | 1.1 | 1.7  | 4.5    |
|            | 80歳以上 (n=86)     | 83.7  | 4.7       | 69.8   | 23.3        | 32.6      | 1.2                                             | 1.2 | 1.2  | 10.5   |

## (8) 自由記述

問 33 今後のむらづくりに関するご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

いただいたご意見を原文のまま、掲載しています。なお、個人が特定されるものや誹謗中傷と思われる内容は削除しています。

| 回 答                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 村長をはじめ役場の方々が本当に村を良くしようと思う考えが全くいつも伝わりません。本当に良くしていこうとお考えなのでしょうか？結果が全てです。何かアクション感動を覚える行動をみなさんが先陣きってください                                                                                                 |
| ・意見とはおこがましいのですが正直気になっていることは毎月心配ごと相談なる催しをやっておられますがあれに実際に来られている方がいるのか？もし来られたらその対応がきちんと出来るのか？です<br>・太郎生の方とお話する機会があったのですが盆踊りや落語会とかをやられていて余りお金を使わない老若男女村外の方も参加出来る様な事も良いのでは？<br>かけがえのない御杖村が良い方向にと心より願っています |
| 野菜作りしてますがシカに野菜食べられるのでやる気なし・・・網は張ってあるが・・・                                                                                                                                                             |
| 保育所を利用するのに、緊急連絡アプリを導入して欲しい。(母子家庭で)仕事中に保育所から電話着信した時、体調不良かと思いきや、野生動物(猿・シカ)が日中現れた為、通常の玄関口と違い職員玄関からの出入りをお願いされただけの電話だったので、正常時間の無駄やし変にストレスでしかない。そういう面も込みで保育者側と保護者内で電話・通話じゃなくてもメールや文通でやり取り出来るシステムを作って欲しい    |
| 高校生・大学生に通学補助をするか、朝ター本ずつ専用のバス(車)を有料で出すのはどうか。学校へ通う時、バスの時刻が合わないことが多い                                                                                                                                    |
| 村内での仕事を増やしてほしい                                                                                                                                                                                       |
| 村民(人口)は減る、事業をする人も減る、役所に勤める人も減る。この先減る一方のこの村をいかに維持して行くか。もっと村民全体で考えて行かないと他人の事をとにかく言っている場合ではない。歳は皆とって行く。それぞれが考えを出し合い、より良い人生を送る為に今出来る行動をとって行くべきだと思う                                                       |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康診断の最終日の受付の対応の仕方が悪かった。他町村からの雇用も仕方のない事です。もう少し教育、人との対応の仕方が大事ではないでしょうか？住宅ばかり造っても若者の働く場所が無い状態。御杖村はどうするのですか？さらに役場の職員の子供達も御杖に帰る事なくなって居る状態で良くなる訳がないでしょう。働く場所が無い状態で御杖が良くなるはずがないでしょう・・・協力隊の期間がすんでからのフォローにも欠けて居るのではないのでしょうか？箱物ばかり建てても無理でしょう。トイレに何億もかけてもっと観光の方に力を入れるべきでしょう。村内、林道、山道を使つての通勤道路の補修も大事ではないのでしょうか？議会だよりでも何年も前からリニューアルの計画がなされて居ますが今だに何も変わっていないとの事の様ですが今、御杖の観光地といえば(株)みつえ、ホテル、半夏生は一時的なもの、もっと村長も考えるべきでは観光かも？観光に対しての目線の違いを感じます。新しいものを造るより今ある御杖の良い所に力を入れるべきでしょう。御杖には三峰山、旅行村、三季館もっとスムーズに仕事をしてほしいです |
| 子育て、教育、学校については何も分かりません                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 無駄な新築施設が多い、住民に直結する住み良い施設に投資して欲しい。村内の入り口に高額な投資したトイレはいらない。日用品が購入できる整備に投資して欲しい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 旧御杖小学校の活用については村営の火葬場を備えた葬祭式場を望みます。村民の経費軽減、遠方まで葬儀に行かなくても良い負担の軽減に寄与するのではないかと考えます                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 頑張ってください                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 観光客や移住者を増やしたり、新しい事業にお金を使わずに、どうせ近い将来消滅する村なのであれば、今住んでいる人が少しでも快適に過ごし、おだやかに最期を迎えられるようにしていただきたい。無駄な抵抗はもう必要ないと思います                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の人口減少について、とても不安である</li> <li>・過疎化・少子高齢化の改善</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 曾爾はわかるが御杖村はわからない村外の人のお話も聞く。観光を含めイベント、農作物等、積極的なPRが必要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◦就労場所の確保と雇用の促進(企業、会社、工場等の誘致)</li> <li>◦食品等の購入手段の充実(商店、コンビニ、移動販売業者の誘致)</li> <li>◦村営葬儀場の設置、または民営葬儀場の誘致</li> <li>◦高齢者の生活支援(昨年度の燃料券の配布はよかった)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 村に期待することは何も無い                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 年々人口が減るのは全国的に見ても一緒ですが、自治体の努力で増やしている所もあります。そういった場所に視察に行き参考にする事も行っているのでしょうか？とにかく移住者を増やすかUターンしてもらえるようにしなければ御杖村が消滅してしまうような気がして心配です                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 若者が高校に行く様になれば、村外に出て行ってそのまま村外で就職や大学へと進むが村内に戻って来る若者が少ない。村内には子供の数も少なく学校も(若者)に帰って村内で暮らしてとは親からは言いづらい。新居住地ばかり建てても古い住居のリフォームやメンテナンスが行き届いてないように思う                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物支援の為にバスの運行(月2回程度)</li> <li>・診療所前の駐車場の増設</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 回 答                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| もっともっと子育て世代に助成をして欲しい。また、子供達が高校に行く際の交通費の助成に期待、そうでなければ、御杖村から若者は出て行くと思う。子供達にアクティビティーができる団体を作って欲しい。移住体験施設を村民にもお金を支払うと使用出来るシステム作って欲しい                                                                                  |
| 交通の便がとても不便なので車が無いと生活することが出来ないで、高齢者にはとても住みにくい村になると感じています。働ける場所があれば・・・と思います                                                                                                                                         |
| 税金の無駄使いだと思われるような金の使い方はしないでほしい。公共施設に常識外れな額を投資しないでほしい                                                                                                                                                               |
| いろいろな問題に対して役場職員が自分の事のように真剣に取り組むべきではないですか。他の自治体のまねをしているようではだめだと思う                                                                                                                                                  |
| トイレも大事ですがお金を使い過ぎです。年寄りばかりですのもう少し元気になる事を大事にして欲しいです。災害の時でもセンターまで行くのは大変です。その時の出来る道のりを考えてください。役場へ行ったり、診療所へ行ったりするのにサービスは良いと思います                                                                                        |
| 災害が起こっても人的移動や物流に障害が起きないようにする事が今一番求められていると思う。特に名張や榛原方面に通勤、通学する際に時間がかかり過ぎている。当村と都市との間に迅速に安全に往復する事ができる高速道路、鉄道の新設を強く望みます                                                                                              |
| お仕事ご苦労様です。村民のために今後もがんばってくださいませ                                                                                                                                                                                    |
| 村内の道路や歩道を整備して欲しい。歩道が歩けない事で事故につながる為                                                                                                                                                                                |
| 曽爾村と比べて観光がまだ充実していないなと感じる。若者が御杖村にとどまるような工夫をすべきだと思う。ひめしの湯も良い所があるのに PR が足りていない。英会話教室など再会して欲しい                                                                                                                        |
| 交通が不便なだけで他は大好き                                                                                                                                                                                                    |
| 国道の草刈りも部分的では無く全場所を美しくして欲しいです                                                                                                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃俣トイレの使用が悪い、金額を低く便利の良い物</li> <li>・旧小学の解体(維持費削減)</li> <li>・陸の孤島・・・</li> <li>・老人の遊び場(元気な年寄りの為)スポーツ以外で会話をして時間を過す所</li> </ul>                                                 |
| 今現在、村外にて仕事をしていて村内の出来事が何も分からないのです。最近、桃俣にトイレが出来て、いくら建設費用がかかったとかの話を聞き???区、郷、の会合の折りに役場の方のお話をお聞き出来る機会を預けたら良き事だと思います。私のように何も知らない者には紙での説明よりもお話をして下さる方が安心出来ます                                                             |
| 医療福祉に係ってくれる職員さんをお願い。高齢者を相手にする時は言葉のやさしさが大事かと思っています。地元の職員の人達は特にやさしくしてくれていますが他町村から支援職員さんにキツイ言葉をかけられる事があります                                                                                                           |
| 森林の裸山が目立つ、後の災害は大丈夫か？                                                                                                                                                                                              |
| 別荘地に移住して来た者です。ご近所にも移住したい方や良く足を運んで来られる方がいますが、電波の問題がネックになる事があります。増幅器などで対応していますが・・・もっと良いアンテナなどの設置が出来れば一と考えています。村外からの人達から見た御杖村の今後の未来に対する想いや意見・考えなどを話せる機会があれば良いのでは一と思っています。私達は御杖が大好きで、この自然を大切に想っています。又、村民の方との交流も望んでいます |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・桃俣に出来た新しいトイレ、神末の単身者用の住居がどれだけ村の活性化に寄与出来ているのか検証が必要</p> <p>・ヨシゴ刈りの時期を検討して欲しい。近年ますます暑さが厳しくなり、参加する人も 60 才以上の人がほとんどで、参加者も減る一方で負担も大きく熱中症のおそれも増している。蛍を守る為ではあるが、もう少し早い時期に出来ないものか検討してほしい</p> <p>・村の方で予算化し、業者にお願いすることも考える必要があるのではないか。村民の村を愛する気持ち善意に頼っていたら、早々河川を守れなくなる</p> <p>・自治体放送での積極的な広報について、地域に子供達がいなくなり、学校での取り組みや子供達の様子など広報で知るくらいである。自治体放送で観られたら放送を観る楽しみも出来る。その他、村のイベントの様子等も流していただけたらと思う</p> |
| <p>①若い人を残さないといつも言っていますが何 1 つ出来てない</p> <p>②村に活気がないので 4 村に桜の花とか植えてほしい</p> <p>③村のお金を無駄に使ってほしくない</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>子供の子育て中、小学校などはサポートも多くとても通いやすいが、高校生になると各家庭の負担(通学手段や金銭面で)がどっと増えてくる問題に直面します。通学バスや費用負担があれば村外に出る事なく子供を育てられるのになと思います</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>ヨシゴ刈の事です。なれない若い人が親が御杖で住んでいる事で、あまり草刈機も使わない人が帰って参加している。もし怪我した時とても心配です。桃俣のトイレ、あの様にお金を使うなら、もう少しこの事もかんがえてほしいです。とっても不安です</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>私達夫婦は共に 80 才を過ぎています。子供は二人ともサラリーマンで自分達の生活でいっぱいです。国民年金のみですがどうにか野菜や稲作をしているのでぎりぎりの生活ですが人様の迷惑にはなるべくならないようにと頑張っています。毎年の川そうじの件ですが、これは毎年、気候も高くなり 85 才を過ぎてとてもキケンです。これはもう業者さんにしてもらって欲しいと毎年想っています。大変、キケンなのでお願いします</p>                                                                                                                                                                              |
| <p>・19 時以降役場の電気をつけないでほしい。節電々と村民に言っても全然職員が節電しないのはどういうことか</p> <p>・もっと職員のレベルを高くして欲しい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>以前に比べて村民の人数が減り、また御杖村全体や区単位での事業が減ったり簡素化されているので、どんな人がいるのか、どんな事が行っているのか分かりにくくなっている様に思う。人づてに聞いたりする物事であったり(「うわさ話」もいい事、悪い事)高齢になるとなおさら孤独感を感じる様に思います。月 1 回の広報の発信では分からない事が多過ぎる。もっと簡単に身近に感じれる様になってほしい</p>                                                                                                                                                                                         |
| <p>国道ばかり修理して、村の道が何十年と修理されてない。あなぼこだらけ、役場は月何回か村道チェックしてるのか？村民の道をきれいにしてほしい。家の所に外灯が少ない</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>大規模災害が発生して R368 R369 美杉白山間の交通が不可能になった場合の御杖村住民のライフラインの確保安全をどうすべきであるか。早急にシミュレーションして検討して下さい。読売新聞のなるほど科学&amp;医療のコラムに掲載されていた。翼が米のクッキーで作られていて翼のエネルギー量は食パン 2 枚分にほぼ相当する(300Kcal)を開発中。実現出来たら孤立被災地で大いに役立つと思われます。今後の参考にして下さい</p>                                                                                                                                                                   |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御杖の観光として半夏生が県内外にも少し有名になっていますが管理(枯れた場所への補植や雑草のかりとり等)にもう少し力を入れると良いと思います。手広く事業、施策を行うより今、現在の御杖村として実施している事にもっと手を入れ進めていただけたらと思います。色々とお世話かけます                                                                                                                                                 |
| 村民一人一人が意識しながらコミュニティーを感じ実践し、又、行政と民間個人が一带となって、村の活性が出来れば                                                                                                                                                                                                                                  |
| 自然林を増やし山の保水力を高め災害の危険性を低減すると共に美しい風景を取り戻し、多くの人が当村に行きたいと思う環境作り                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>●シカ・イノシシ・カラス・サルに農作物を食い荒らされて困っている。対策強化を望む。サルを追う花火はサルが移動するだけで効果を感じにくい。ヤマドリに攻撃されて足をけがしてこわくてしばらく外に出られなかった事がある</p> <p>●役場職員が村外の人が多くなっている。今後は御杖村出身者を多く雇用して若者が村に多く住んでもらえるように望む</p> <p>●福祉サービスで訪問入浴に来てくれる施設がないらしいが村内で対応出来ないのか</p> <p>●近所に空き家が増えてきた。雑草がのびて景観が悪くなっている。どうしたものか</p>             |
| <p>◦国道沿いの山林の枝をきれいに伐採して欲しい</p> <p>◦道路(国道)の穴開き(空き)や傾きのあるところを修復して欲しい</p> <p>◦農業(米他野菜作りなど)への補助金が充実していると思う。ありがたいので継続して欲しい</p> <p>◦ひみこの杖を見せてほしい(年 1 回公開)</p> <p>◦伊勢本街道を歩く人数(年間と毎月ごと)を調べて欲しい。教えてほしい</p> <p>◦牛放牧場、レストランなどの計画は進めていけば良いのでは・・・</p> <p>◦耕地整理を行い町からの耕作者たちの皆さんがやる気の起きる景観を推進して欲しい</p> |
| <p>座して死を待つよりは出て活路を見出さん</p> <p>座して喫えば山も空し</p> <p>村長以下職員の皆様方の奮起に期待しております</p>                                                                                                                                                                                                             |
| 歩く歩道の整備をお願いしたい(運動のため歩きたいが、雑草などで歩けない)                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 今回の R369 土砂崩れ通行止め、迂回路案内を早期に優先で流して欲しかった。知らずにいつもの時間に家を出たため迂回のため職場に遅刻、多くの職員に迷惑をかけました。早朝有線が難しいなら LINE 等で災害通行止め等、必要な情報を早急に得られるシステムを望みます。今後、こう言う情報が得られないとここに住むのは不安しかなく再び村外に出る事を考えます                                                                                                          |
| 観光や移住支援よりも今の住民に対する支援の充実                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 週に 1 回でも移動スーパーが来てもらえたら老人は助かります                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 環境問題であるリサイクルの取り組みが改善されペットボトルや紙・古着回収など行われるようになり嬉しいです。また古着回収日を定めてもらいたいです。卵パックやトレイなどの回収もしていただきたいです。空き家問題、住んでいないが売りに出されず放置されている家が多くあり、空家が売られていてもすぐに住める家では無い。空き家で放置されず活用できるよう先立って手立てを考えると先々良いのではと思います。自由参加のコミュニティーの場合であれば良いと思います。旅行村を村民も行きやすくしてもらえればうれしいです                                  |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前回のアンケート結果は反映されてますか？アンケートの考察は？                                                                                                                                                                                              |
| 旧小学校を木のおもちゃ美術館にしたり、宿泊できる施設などにして欲しい。特に子どもが遊べる公園(遊具がある)が1つもないので、村外からも遊びに来たくなるような公園を作って欲しいです                                                                                                                                   |
| ・村内出身者の意見を集約してみてはどうか？何故、村内で生活していないのか・・・どうしたら帰村するのか・・・                                                                                                                                                                       |
| ・役場職員(村外在住)の意見を集約してみてはどうか？今後働く上で必要な事が見えてくるのでは・・・                                                                                                                                                                            |
| 現在村内に住んでいる人の意見を聞く事も大切であるが転出していった人の意見も聞いてみたい                                                                                                                                                                                 |
| 私が子供時代に住んでいた地域は吉野郡で星がきれいな所なので、村に天体観測所などがありました。御杖村しかない。観光客を呼べる何かを探してみたいです                                                                                                                                                    |
| 広報みつえに有料広告を募集したらいかが？                                                                                                                                                                                                        |
| 年を取ると人助けしてもらふ事が多くなると思うが、それが1つのたよりです。よろしく                                                                                                                                                                                    |
| 農地の後継者の発掘を急ぐ事。空き家バンクなどの住まいの支援を急ぐべき。御杖村のアピールが少し足りないと思います。職員がもっと村のために熱意を持って仕事をして欲しい。頑張れ職員のみなさん                                                                                                                                |
| 今回のアンケートは素晴らしいと思います。村発信ではなく自由に意見出来る様？に村民の気持ちを話せる。誰でも見れる(SNS の様な物)を作ったら新しい御杖村の未来が開けてくるのでは？と思います。すでに有ったらすみません。小さい村(ほめてます)なので大都市に出来ない事が出来る可能性が有ると思います。兎に角若者、子育て世帯の移住者を増やす事が重要なのではと思います。その為にお金を使ったら良い。まずは村内の者へ、次に移住検討者へとお願い致します |
| 職員のスキルアップの為に国政選挙の時の裁判官の是非を問う様に村民に職員の是非を問う様にしたいと思っています。頑張ってる人は評価されるし、仕事に人間的にスキルアップにつながると思っています                                                                                                                               |
| 村長さんはじめ、役場の職員さんの対応が良いと思います。いつもありがとうございます                                                                                                                                                                                    |
| ・村の案内、移住、観光等についてもっと発信していくべきだと思う                                                                                                                                                                                             |
| ・村外からの移住者、通学、通勤(職員含む)の声を長所・短所を積極的に意見を聞く。違った目線で                                                                                                                                                                              |
| 事業所応援等でプレミアム商品券をいただきますが有難く使わせていただいています。村内では至る所で杉の木が大木になり陽当たりも悪く、良くならないでしょうか                                                                                                                                                 |
| 村外へ通勤しています。冬の雪道の対応を何とかして欲しいです。人手がないのは分かりますが、他の市や村より対応が遅く感じます(除雪の時間)子供や高齢者を大切にすることは必要ですが、働き世代への対応をもっと考えて欲しいです。御杖村で住み、外へは出て行っていますが住民です。もっと大切にして欲しいです。御杖村で住み続ける人が少しでも多くなるような方向になれば嬉しいです                                        |
| 今はまだ車に乗りますが、運転が出来なくなった時にはもっとバスの回数を増やしてほしいです                                                                                                                                                                                 |



| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>昨今の目まぐるしい時代の流れと近年の少子高齢化問題、そのせいで増加する村の過疎化と文化の衰退、しかしその事を嘆いていても問題解決には繋がらない。そういった過疎の地を選び永住を目指そうとする者も実際に存在します。先住者と移住者、全てを理解し合う事は出来ずとも譲り合い助け合い共に生きようと努める事は可能だと思います。小さい村だから出来る事、自然の豊かさに日々感謝し互いを活かせる心構えや考え方を未来を生きるこれからの子供達が希望を持てる様に言い伝えようとする事。誰にとって何が大切かを考える場を設ける。出来る事から1つずつ、一歩ずつ</p> |
| <p>ドーム型小学校を有効活用できれば人が集まってくると思うのですが</p>                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>村内に公衆トイレは必要とは思いますが 8000 万円もかけて造る必要があるのでしょうか？造る必要があるのでしょうか？そのお金で河川をいつもきれいにし、見栄えの良い川にしたり、よせごの蒔れてない場所は役場が業者に頼むなりして行ってほしいです。砂がたまって小さな島みたいになっている場所もあります。きれいにしていたら大水が出た時でも災害を最小限に防げるのではないですか？教育面は記入はしていませんが子供の数より先生の方が多いのではないのですか。充分時間をかけて高度の教育ができるのではないのですか</p>                    |
| <p>国道 369 号線山道地区の地滑りにより通行止めとなっておりますが、村長、議会議員を先頭に曾爾村と共に早期に通行できる様、県、国の関係者をお願いしていただきたい。村づくり課は今後 10 年後、20 年後の御杖村の姿をシュミレーションしてみて、そこから色々な方面への政策、対策を立ててみてはどうですか。人口は 10 年後は千人を下廻り、20 年後には 500 人前後かもわかりませんか？御杖村では 3 つの策、政策、施策、対策を柱に！</p>                                                  |
| <p>設問が多くて大変だった。教育の事等は年代的に分からない事がある。60 代でも町の人達は楽しんでる事が多い。公共主体ではなく自ら選んで好きな事ができる(テニス・プール・ジム等)畑仕事等は獣害や天候に左右されて余計な労力が要ると思う。夏祭り等も縮小されて町から帰って来ても楽しめるイベントがない。観光も必要だが村民が楽しく生活出来る村作りをして欲しい</p>                                                                                             |
| <p>ロケーションの良さ、川の美しさをアピールして他府県から釣人が来てくれる様にして活性化していく。美しいアマゴが良く釣れる様に稚魚放流、卵(はつがんらん)の放流を漁協の方々と力を合わせていけば各団体(日釣振)等も協力してくれるので早急に川の整備の調査をして、キャッチアンドリリース区間を設けて若年層の釣人に来て頂き、活性化を目指していきたいです</p>                                                                                                |

## 回 答

村に移住してきて 14 年です。

この村は子育て世代(結局、高校がない為、村外に移住のケースもあり)の移住には少し積極的かもしれませんが、それ以外の年代者に対して友好的でなく支援も少ないと感じます。他府県では年代に関係なく移住者に対する支援で多くあります。人口増加は例えば空気良く電磁波少ないという環境に特化した移住を推進しても良いと考えます(例、福島県南会津では科学物質・電磁波に過敏な人々を迎える避難施設を第 3 セクターとして運営。年間利用室は延べ 3000 人を超えてました。残念ながら東北大震災の影響で閉鎖)現在村内別荘地内には過敏症の人々が 8 組定住、村内にも 3 名います。本当に人口増加を求めているのでしょうか？

～中略～

この村の象徴である道の駅や温泉はもっと力を入れ改革すべきと思います。新聞で特集していた他府県の道の駅はアイデア一杯でした。村の HP だけで道の駅のアピールは全く発信不足です。現在、私も高齢になり配食サービスや「だいじょうぶ」のサポーターの方々の支援を受け、このこと、とても有難く思っております。しかし聞けば、この支援を受けてる高齢者の方少ないとの事。告知不足。支援を知らない方も多い様です。又、配食サービスは近所の目もあり受けにくい…と感じる高齢者もいらっしゃるとのこと。サポーターの方々の報酬はもう少し高くしてサポーターの方々を増やし、現在週 1 回のサポートを週 2~3 回に増やして頂きたいです。元気なお年寄りがお年寄りを支える、高齢者が気兼ねなく利用できる支援にして頂きたいです。又、移住者に関しては都会で 60 才の定年を迎えた方でも移住を歓迎すべきと思います。60 代はまだまだ元気です。定年後、村に移住してお店や商売をして頂き、それに対する村の補助金も出し空家も村がリフォームして貸し出す形にすれば入居者も増えると思います。若者団地や単身者住宅は正にその考えに逆行していると考えます。お惣菜屋さん、天然酵母、国産小麦のパン屋さん、ラーメン屋さん、カフェ、閉店されたピザ屋さん等、村外からも人を呼べる店舗作りを進めれば村も活性化すると考えます。先日、車椅子の 40 代の女性が移住を希望されましたが村にヘルパーさんが 2 名しかいない、又、介護は高齢者の介護しか実績がない等の理由で保健福祉課やケアマネージャーは協力的ではありませんでした。奈良県内 36 市町村の中でも健全財政と言われてますが、もっと有効な予算の使い方を切望します。どんどん高齢者が増える中、村が主となりヘルパーさんを育成し増やすべきです。高額なトイレを作るなど言語道断です。

～中略～

少なくともこの村のトップは村外で仕事をしたことがある人物に就いて頂きたいと願っております。以上

追伸、赤字財政に苦しむ名張市の市町は報酬 1000 万もないと聞き驚きました。この村の村長は約 1000 万の報酬ですよ？果たしてその価値のある村の運営でしょうか？それに対し、村会議員は 200 万と少ない…これでは有能な人は議員にはなりません。「年寄りの小遣い稼ぎ」と揶揄されても仕方ありません。村長も村会議員も、村民がなって欲しいと思う方々を逆指名することであっても良いのでは？と思います。「井の中の蛙」にならぬ様気を引き締めて村の運営に当って下さること切望します。村外から来た多くの移住者はこの村を客観的に見れますが、村民の多くの方々は「村は変わらなくてもいい」と思っている人々あまりに多く失望します。このアンケートも意味あるのでしょうか？ 以上

※個人が特定されるもの、誹謗中傷と思われる記載は削除しております。

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 若い人が 1 人でも多く村に戻れるよう働く場所作りが大切ではないでしょうか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や観光客に犯されない静かな村でよい</li> <li>・活気ある企業の誘致は歓迎する。しかし今まで見た事がない</li> <li>・姫石の湯を活用している時に可能な限り村外の人や観光客と交流して村の活性化に努めているつもりでいる。「村長さんと意見交流」などがあれば楽しい。村の職員や指導者が常時でなくてもよいので裸で交流したり、施設や地域に対する意見を聞く場などを多くすればよいと思う</li> <li>・旅行村(昨年 4 月に値上げをした。値上げをした上に更にサービスが悪くなったと言って来てくれなくなった人は少なくない)などは非常に人気があり喜ばしいことだ。これらの施設温泉を含め活性化を図るために利用者に可能な限りの意見を聞くアンケート調査などを実施するのはどうでしょうか</li> <li>・河川清掃は大事であるが高齢化現象で 1 人に対する負担が増えている。このような活動があるので復帰する若者が多い気がする</li> <li>・シルバー人材に庭草取りを依頼してもらえない</li> </ul> |
| <p>○道路環境の保全</p> <p>車道脇や歩道の草が伸びすぎている事が多々ある。以前と比べて改善されたようには思うが除草作業の回数や施工時期の見直し、又、堆積土砂の撤去をこまめに実施して欲しい。除草後の清掃が雑な事が多く、敷地内に草ゴミを吹き込まれた事もあるので、作業中、作業後の見巡り、適宜指導を行って欲しい</p> <p>○個人事業主への産・育児支援</p> <p>個人事業主は産休・育休も無く又、専門性の高い業職になると仕事を断る、他者・他社へ委託する事が困難な場合もあり、単純な収入源のみではなく、仕事を断る時の取引先への気遣い、断れない時の家庭への気遣いの板挟み、その後の取引への悪影響など、かなりの負担とストレスがかかる。事業形態や、その家庭の状況等、一様でないので公的な支援の内容、実施対象の線引き等が困難であるとは思いますが積極的に検討して欲しい</p>                                                                                                            |
| 広報「みつえ」をよく読んで村に協力したいし、サービスも受けたい。又、最近新しく出来たトイレ設備(約 9 千万)について聞いた。異私感を覚えています。その件についてもう少し丁寧な説明(いきさつ)についてお聞きしたいと思っています                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 村内にコンビニエンスストアがあればいいと思う。(24 時間営業でなくていいので早朝から深夜までの営業とか)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 商業施設や雇用を増やし人の活気ある村になって欲しい                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>毎年この様なアンケートを書くが何の返答も無く解答もないまま一年が過ぎて行く何らかの解答が・・・。</p> <p>先日行われた御杖村の健診、こんな時こそ村内バスを出してもらえれば助かるのに検討して下さる様にお願いします</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 開発センターでいろんな行事があっても車に乗れなくなったら参加できなくなるため村内バスの運行回数を増やして欲しいです。イベントは夜間より昼間の方が出来るだけ望ましいかと思います。河川清掃も高齢者が多いので大変になってきています                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 河川の清掃を村民で実施しているが、高齢者が多くなり危険であるため業者に委託して欲しい。桃の俣のトイレお金がかかりすぎ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 国道 369 号の早期復旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 福祉センター診療所入口にポスト投函出来る様にして欲しい。人に頼むのにも頼みやすいし、誰もが訪れる所ですので便利にして欲しい。ポストのあるところまではすごく遠いので出来たらお願いします                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 皆様で集まり楽しく話し合える場が欲しい(車、その時間に乗れる様に出来れば一日楽しく過ごせると思う)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 花火大会がなくなったのはさみしい。また再開して欲しいです。無理なら納涼大会で盆踊りやいろんな(河内音頭、アニメの音頭、フォークダンスなど)もいいんじゃないかと思います                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 村外の人を移住さす方に力を入れている様だが村内で生まれた人、特に若者が働く所が少ないというのをもっと考え村外へ出て行かない事をもっと考えなければならないと思う。問の 14 でもあった伊勢本街道とかに力を入れて何になるのか？高齢化になり、田畑の譲りもできないのなら、その土地の活用化を考え、若者が働ける所を作り、村からの流出を少しでもなくす事を考えて欲しい                                                                                                                                                                                                                      |
| 50 年近く御杖村に住んでいますが最近は暑さのせいかも知れませんが最行き不安が感じられます。病院や買い物等あと何年 1 人で行けるかとか考える様になってきました                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 村内への違法な物品の持ち込みなど早い時点での対応が必要！！村の安全の為                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 除草作業が雑だと思う。昔はもっとていねいにしていた。山林の適切な伐採管理を。災害時の崩土の可能性大                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 年に何度が帰省致しますが、村政に関する批判の立看板が目立ちます。現況を把握している物としては理解出来ますが、村外の方々にはあまり評判として良くないと思います。例えば何故この建物が必要なのか？建物を建てた業者さんは村内で行い、村内の木材を使い村内での経済(お金)を回した。との説明があれば、誰も文句出ないと思うのですが。以前の田中勝村長時代には若者団地等多くの事業をして頂きましたが、当時は現状の様な事はなかったと思います。新しい取り組み・建物も必要ですが現状にある施設の拡充に注力して行くのもひとつだと思います。若者の流失は仕方の無い事だと思いますが、以前私が車で通勤していた時代には、村外へ通勤していた方々は多くおられました。現状はかなり減って来ています。かと言って安易に村外の方(外国人)などに定住など色々問題があると思います。最後に厳しい時代ですが、村政の為に頑張って下さい |
| 役場の職員さんで村外から通勤している方が多く見られますが、その人達がなぜ村外から通勤するのか(村内移住してくれないのか)を考えてみればどうですか？私は建設関係に携わる仕事をしていますが村の仕事で 50 万以内程の工事ならば村外の業者から見積もりを取らなくても村内の業者に発注してもらえないのでしょうか？このままだと仕事もなくなっていけば御杖村に住み続ける事は出来ないかも？子供にも御杖村に住めとは言えないです。若い人達が御杖村に住んでもらうためには村外への通勤費用の補助してもらえないですか？                                                                                                                                                 |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>村内に葬儀場があれば良いのと思う。わざわざ出越して行かないといけないので勤めている者にすれば大変忙しい。まれに自宅やお寺でされる方もいらっしゃいますが、ほんの一部の方、結局バスで送迎などもして下さいますが費用が重みます。村内に葬儀場を設けて頂けるなら、若い人の仕事場も増えるしシルバーの方も助けて下さると思います。今、空いている建物を活かして無駄のない様、考えて頂きたいです</p>                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>村役場に入っても雰囲気が悪い</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>浄化槽の年一回の汚泥汲み取料について、浄化槽建設当時、浄化槽の大きさは住んでいる人数にかかわらず決められていて補助金も大きさに相当した額でしたが、今日実際に住んでいる人数は私共も含めほとんどの家が独居あるいは年寄りの 2 人の家庭がほとんどとなっているのは当局も御承知の事と存じます。清掃業者様にはこの仕事に対する報酬額は適当と思いますが住民、特に年金生活者にとっては重い負担となっています。そこで上記の事を考慮し、それに対する補助金の対策を切にお願い致します</p>                                                                                                                                                                       |
| <p>児童・生徒の数が激減している中でクラブ活動等が充分に行われていない。その為、潜在的に能力を持つ子たちの芽を少なからずムダにしていると思う。近隣市町村との合併も視野に入れながら多くの学友と共に未来に向けて可能性を伸ばせる教育の在り方をもっと真剣に考えて欲しい</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>○御杖村の問題は単純に行政だけが努力する事で解決出来る話では無いと思っています。勿論アンケートで書いたようにどれもこれも重要な事なのですが何もかも満足出来る状態を作り出す事は恐らく無理な事でしょう。しかし、少なくとも行政の皆様が村や村民の為に必死で頑張ってくれていると感じられたらうれしいと思います。コロナが始まり、多くの集会が無くなり意見交換の場が失われました。葬式でさえもいかに簡単に済ませるかとなり個々の判断で長年の慣習の変化も仕方ないとなりました。世の中の大きな変化を受け入れざるを得ません。議会は皆の意見を代表する人達のはずですが、昔に比べて議員や役職を持つ人が村民の為に真に働いて下さっている実感が持てません。勿論個々の人によって違うと思いますが職員などの人材をいかに育てるのかという指導力を発揮してもらい、意識を高く持って他者の為に全身全霊で働けることが大切であると感じています</p> |
| <p>役場職員がたくさんおられますね。ふれあいバスは乗車人数と回数の採算はとれているのですか？</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◎進む高齢化について</p> <p>・環境の保全の項目にもあったが河川清掃について、今後どのように進めていくのか村としてどう考えているのか示して欲しい</p> <p>・各役職について、村独自のもの県や他団体との関わりでのものなど役職はあるが、改革が必要ではないか。どう思いますか。</p> <p>◎災害時に備えた取り組みについて</p> <p>・7月の広報に曽爾自然の家と「大規模災害時における～使用に関する協定」を締結したと掲載されていたが実際に災害がおこった時に村民としてどう動けばいいのか具体的なマニュアルを示して欲しい</p> <p>・防災訓練を実施しているが道が寸断されたらどうするか緊急時の物資の提供はどうか・・・近所同士で安全確認はどうか、避難の仕方は？等々もっと具体的な訓練が必要ではないか</p> <p>◎デジタル化が進んでいるが、上手に利用出来ない高齢者もいると思う。手立てを考えて欲しい。手立てがあるなら示して欲しい</p> <p>◎アンケート結果を知らせて欲しい。意見についても答弁がほしい</p> <p>・以前に元小学校校舎の活用について村民の意見を聞いたが結果の知らせがない。「どうしてだ」と思っている。広報には応募があったことその結果は載っていたが</p> |
| <p>5つの政策目標、19の施策でなんですか？具体的に達成度等説明願います。村長、村会議員、監査委員の方正しい職責を認識していますか疑問です。意識改革を！村民が不幸です。一例としてこのあいだ新設されたトイレ、一括発注するから施工業者が決まって来る。分離発注すれば地元業者で施工出来る。それが出来ないのは・・・(多々ある)何事もなく事故もなく、ある期間勤めあげればこれぞ又各馬なりと聞いた事がある。<u>何もしないのがいいのでは？</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>御杖村と言えば「これ」と言うようなものがほしいです</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>国道の安全性</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>自治体放送をもっと有効に魅力的に出来ないものでしょうか。形式的な自治体放送に感じます。勿体ないです。議会の内容中継等も含めて！！</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>移住者が永住できるような仕組み、環境を作るよう工夫が必要だと思う。現在はせっかく移住してきても思っていたのとは違った。人間関係が難しい等でまた転出してしまうパターンが多いように感じる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>ガラス張りの村政の運営に期待する。村政の対応が悪い遅い、林道の維持管理が悪い</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>○行政情報(特にインフラ整備等)に関する村民への周知を密接にして欲しい</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>役場職員、村議会議員の報酬を上げないと良い人材が集まらないと思います</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>農業資材(燃料、肥料、農薬等)の高騰により、村内農業が衰退し耕作放棄地が増大すると思われます。至急対策(補助金等)を取って下さい。尚、問28は学校関係者及び家族に小中学生がいる家庭しか答えられません。ということは学校での教育内容について村民に広報不足ということですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>色々な催しなどで多方面から人を集め、御杖村を知ってもらう事から始まると思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・このアンケートについてですが、85 才以上でもご活躍されている方もたくさんおられますので、85 才までと限定する必要はなかったのでは・・・と私の周りでも多くの意見をお聞きしました</p> <p>・旧小学校はせっかく建てられてすばらしい建物だと思いますので取りこわしたりせず、ぜひ観光施設などに活用してほしいです。雨天でも遊べるような施設になれば良いと思います</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が多くなり周囲の荒廃が住民の妨げとなっている</li> <li>・里山まで針葉樹が植林されているので日陰となり田畑に影響すると同時に台風等の倒木の恐れがあるので伐り開ける事の補助事業等対策を考えて村民に呼びかけて欲しい(特に住宅付近は危険である)</li> <li>・高齢化により農地の休耕田が目立つが、きれいな水、空気だからと田の現状推事に務めているが、除草作業(草刈)等、作業員が少ない等。農業の法人化が必要ではないか？</li> <li>・休耕田を利用して、ウナギの養殖等考えては？</li> <li>・村行政に於いては村民への配慮や要望に対して真摯に取り組んでいただき、有り難く感謝です</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |
| <p>人口減少に歯止めがかからず、1000 人を下回るのも数年後に見えています。移住者を迎え入れる施策も大切だと思いますが、今まで村を支えてきた方が安心して住み続けられる施策を中心に 1 人暮らしであっても健康である限り村で住めることを着地点とした計画推進を行ってはと感じます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少期からの連続した体力、健康づくり(子どもから老人まで)</li> <li>・年少期からの夢を持てる教育(学校教育だけでなく、体感出来る教育)</li> <li>・異世代の交流(知恵と郷土愛の育成)</li> <li>・地域コミュニティーの見直しと立て直し(自治体組織・運営・自立と共助)</li> <li>・役場職員の人材育成と人材活用の推進</li> <li>・土日も含める地域医療(診療所)</li> <li>・スマホ、タブレット、PC、操作、DX 推進(住民が自立)</li> </ul> <p>最終、今現在、村で住んでいる方が幸せと安心を感じられる村づくりを推進する計画にしたいと思います。又、職員として今後の村づくりをどのように考えているか別に意見聴取を行ってはと思います</p> |
| <p>御杖村出身の同級生の意見ですが観光にもう少し力を入れて欲しい。例えば半夏生に行く迄の道、観賞の場所を手入れしてほしいとの事です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>このアンケートをどうまとめ、どういかしていくのか、きちんと説明して下さい。よろしくお願いします。</p> <p>・自宅周辺で米作りをされているのが高齢の方ばかりで気になっています。米作りの担い手を育成する必要があると思います。地域おこし協力隊の制度を使って来てもらう方法もあるかと思いますが、なかなか定着しません。先日隣の曾爾村で米作りの講習会がありました。移住者や U ターンの若者などが参加されたと聞いています。御杖村でも実施してはどうでしょうか(私は参加したい)そして、農地を借りる形で米作りを継承していけばいいと思います。</p> <p>・先月、伊賀市名張市がオーガニックビレッジを宣言したと聞きました。宇陀でも有機農業が進められています。農業に興味のある若者は、有機や自然農を選ぶ人が多いです。農水省も「みどりの食糧システム戦略」を策定しています。国からの支援金も活用できると思うので御杖村もオーガニックビレッジになるべきだと思います。</p> <p>・村内に太陽光パネルが増えて怖いです。誰もいないような土地なら問題ないと思いますが家の横にあったり景観を損ねるものも多いです。メガソーラーに関しては県の条例がありますが小規模のものにも対応するために村の条例を作ってください。このままだとパネルだらけの村になります。そんな村に誰も来ません。</p> |
| <p>・むらづくりを進める上で一番の問題は村の人口の減少である。そこで移住者を増やしたり、一度出た人たちの U ターンをうながすための取り組みが求められる。一番必要な事は村で生活出来るということだと思う。そのためには村に企業を誘致する、あるいは農林業を充実させる事が重要であろう。雇用を産みだすことが求められると考える。</p> <p>・村には獅子舞を始めとした伝統芸能が残っている。これらを後世に残すためのアピールが必要だと思う。村としてはこれらの芸能を価値あるものととらえていないが、移住して来た者から見ると、これほど価値のあるものを廃れさせようとしている村の姿勢が理解出来ない。存続の努力を求める。</p> <p>・村内にいくつか太陽光パネルがあるが景観を損ねるだけでなく、火災の際の対応や廃棄の問題がクリアになっているのか不明である。村で太陽光パネルに関する条例を作っていただきたい。</p>                                                                                                                                                                                       |
| <p>公衆トイレばかり作っていないで道を良くしたり、川の砂溜まっているのを出したり木を出しやすくする様に道作る補助したり、昔の様に盆踊り出来る様にしたり、人を呼べる様な事を考える人がたくさん出て来てくれないかなあ。村会の議員の人もこの事が伝われば幸いです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>豊かな自然やささいな水、森林や生物(ホタルなど)などを守ってほしいです。又その為の予算確保や制度作り、教育などを行ってほしいです。</p> <p>・牛のフンを利用したバイオマスエネルギーや有機米、有機野菜作り</p> <p>・有害鳥獣を利用したジビエ料理など御杖の資源をもっと活かせたらと思います</p> <p>・また森林保全や上下水道の整備を行って安心して水を使えるようにしてもらえたらと思います</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>○消防署をヘリポートとの近くに移転し効率を上げる</p> <p>○岡田の半夏生の近くの田畑を借り草花を植え何度もきたくなる。いやしの空間を造る</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>移住者家族が定着する村づくりを望む。特に仕事面、医療面、買物面の充実拡大を望む。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>特になし</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



## 回 答

### 私の意見と妄想

私が感じている現状の日常から 10 年後の御杖村を想像しました。人口は 900 人台で平均年齢は 65 歳以上、税収入が減少、公共サービスなどは交付金頼みとなり思うような事業がままならない状況の限界集落化の入り口に立っているのでは？そこで重要なのが税収 UP(労働人口の増加、村内商業事業者の増加)だと思いますので、その為の施策の早急な立案、実行ではないでしょうか。まずは観光産業を見直し交流人口の UP。人、物、金、情報を効率的に使うようにする。

御杖村の物＝姫石の湯、旧小学校、空家、未耕作農地、広大な山林、間伐材、牧場、野生鹿(害獣)、伊勢本街道

御杖村の人＝経験豊かで元気なお年寄り、協力隊、海外実習生、近隣の労働力

御杖村の金＝国や県の各種補助金や交付金、御杖に魅力を感じる投資家、国家プロジェクトへの提案、参入(大学の研究機関を誘致)

御杖村の情報＝インターネットを活用し全世界に発信、インバウンド需要。奈良県民で御杖村を知っている人は何人いるでしょうか？

次に農業後継者(山林管理者)育成学校の設立、各法人との連携も考慮、卒業後に農地を 5 年間無償貸与、木材の新価値を創造する仕事に関わる。3 番目に交通網の整備、本来であれば名松線が敷津経由で名張迄延伸されればいいのですが現状では無理です。せめて国道 422 号 368 号線の整備を優先して頂きたいと思います。合わせて近隣都市への直行バス(村民優待)国道 370、369、166、368 号線のバイパス道として仮称、南三奈自動車道(松坂～五条)の立案陳情は如何でしょうか。4 番目に計画が中止になった大規模牧場の代わりになる地元と集客の役に立つもの、例えば山林を切り開いて作る御杖野生保護国立公園や付帯施設の計画、立案陳情も実現の可能性があるのではないのでしょうか。私の個人的な提案は、伊勢本街道御杖宿の再現テーマパーク構想、村全体を江戸時代にタイムスリップした間隔を漂わせる宿場街にする。空家を改修した”旅籠、団子屋、そば屋、うどん屋、居酒屋、(江戸時代の商売を再現した各種の店)”従業員も時代に合った衣装、村民も出来ればそういう衣装とし村全体で一体感を出せば話題性も十分だと思います。大手デベロッパーにも参画頂き大型観光宿泊施設の御杖宿テーマパークの開園。寺子屋も作り子供たちの学びの場(体験施設)大人には芝居小屋、富くじ、etc…。将来の事も大変大事なのですが、現状生活において苦勞する事の解決策も重要です。衣食住のうち御杖村には住はあっても整備が必要、衣食に至っては殆どの方は村外へ買い物。消費税が落ちない、高齢者の負担大。移動販売、地元商店はあるものの特定の方が利用しているだけ。スーパーマーケット、コンビニの誘致、村内の事業者が共同で出店するのが良いのでは。村も一般からも出資者を募るのは如何でしょう！旧小学校を箱として使うのもいいと思います。他に、コインランドリー、洗車場、薬局、歯科 etc…。御杖村互助会を法人として出資者を募り利益が出れば配当を！全て連帯責任で！私が 100 才になった頃、御杖村は近隣町村の核となり人口 3000 人越え高速道路開通、観光客年間 10 万人越え。実現できるよう村民一致団結…夢で終わらせない

村外者に対する施策ばかりで期待していません

◎御杖村にコンビニを作ってほしい！！

◎御杖国保診療所の受診時間を 9:00~12:00 と 14:00~18:00(受付 17:30)までにしてほしいです。見て欲しいなと思う時、必ず平日で行けないことが多いため(何かしらの受診も村外に行かないとなので、時間がかかる)

| 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・箱物で使用していない以前の施設の再利用を考え、村の憩いの場として活用する(物置にして、放置しない事)</p> <p>・伊勢本街道がずーと先の代まで残る活動を今からでもやる事が必要。予算をかけてでもいろいろな問題はあると思うが例えば御杖村の街道だけでも桜並木がある場所であるとか・・・</p>                                                                                                                                                         |
| <p>一億の公衆トイレは村民が希望したものか？</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>28 億の予算の村で出来ることは限られてくると考えています。人を集めるという点において、地域おこし協力隊には限界があると考えます。トイレに使った金をうまく使えば御杖村役場職員を雇い増し出来るはずです。協力隊になりたいという人材よりも公務員になりたいという人材が今は求められていると思います。また県の金もおよそ 900 億。国の力や企業の力を借りるべきと思います。以上の事を役所に言ってもお門違いなのは承知していますが、今の村の政治家には民意を吸い上げる力がないです。議員定数を減らし、議員の給与を増やし、財産区の議会も再検討して議員の質の向上がお金を有意義に使える健康な村になると考えます</p> |
| <p>農業の経験のない者でも、稲作や畑ができる支援をしてほしい。貸し手の方の紹介や、一年を通しての田んぼ作りを教えてくれる方など、気軽にできるように情報を発信して頂きたいと感じます。耕作放棄地が目立つのでこのまま放っておくのは、本当にもったいないと思います。今の仕事を続けながら、副業的に参入できるように仕組みづくりをしていただけると大変ありがたいです。田んぼや畑の土地を借りる場合は、役場の農業委員会へ相談すればよいのでしょうか。</p>                                                                                  |